

監 理 要 綱 書

制 定 日	2000年 5月24日
改 定 日	2022年 1月18日
管 理 部 門	I S O 室
配 付 責 任 者	I S O 室
文 書 番 号	TY-18-1

目 次	文書番号	TY-18-3
	主管部署	設 計 室

文書番号	文 書 名
TY-18-1	監理要綱書 表紙
TY-18-2	監理要綱書 改訂履歴〔非配布〕
TY-18-3	目次
TY-18-A1	提出書類関係リスト
TY-18-A2	設計変更及び追加工事に関する誓約書
TY-18-A3	メンテナンスに関する誓約書
TY-18-A4	メンテナンスフリー宣言書
TY-18-A5	式典式次第
TY-18-A6	提出物一覧表
TY-18-A7	協力業者一覧表
TY-18-A8	緊急時連絡表
TY-18-B1	工程会議要領
TY-18-B2	第1回定例議事録〔非配布〕
TY-18-B3	定例議事録・設計変更確認表
TY-18-B4	定例議事録・設計変更確認表(記入例)〔非配布〕
TY-18-B5	週間工程表
TY-18-B6	設計変更合意書
TY-18-B7	テナント工事注意事項
TY-18-B8	構造監理の提出書類について
TY-18-C1	工事報告書作成要領
TY-18-C2	工事報告書 目次
TY-18-C3	作業月報
TY-18-C4	作業人員累計表
TY-18-C5	入場材料一覧表
TY-18-C6	工事写真撮影チェックリスト
TY-18-C7	手直し工事完了報告書

文書番号	文 書 名
TY-18-C8	現場自主検査チェックシート
TY-18-D1	監理チェックリスト
TY-18-D2	メンテナンスフリー項目実施確認書
TY-18-DA1	工事用看板作成要領
TY-18-DB1	配筋写真撮影要領
TY-18-DB2	配筋検査チェックリスト(基礎・地中梁)
TY-18-DB3	配筋検査チェックリスト(柱・壁)
TY-18-DB4	配筋検査チェックリスト(梁・スラブ)
TY-18-DB5	ガス圧接箇所検査報告書
TY-18-DB6	鉄筋・結束線かぶり厚確保の徹底状況確認表
TY-18-DC1	打放しコンクリート設計・施工資料
TY-18-DC2	良品質コンクリートを打設するために
TY-18-DC3	コンクリート打設計画チェックリスト
TY-18-DC4	コンクリート試験報告書
TY-18-DD1	鉄骨加工工事における提出書類・試験・検査チェックシート
TY-18-DE1	水張り試験実施報告書
TY-18-DE2	外壁全面散水試験実施報告書
TY-18-DF1	タイル接着力試験実施報告書
TY-18-DG1	木材含水率検査実施報告書
TY-18-DH1	定礎作成要領
TY-18-E1	竣工検査願
TY-18-E2	竣工検査願(記入例)
TY-18-E3	竣工検査準備品
TY-18-E4	設備の竣工検査要領
TY-18-E5	社内検査記録書(設備-1)
TY-18-E6	社内検査記録書(設備-2)
TY-18-E7	竣工検査記録書

文書番号	文 書 名
TY-18-F1	引渡書類目録及びチェックリスト
TY-18-F2	歩掛表
TY-18-F3	外部仕様一覧表
TY-18-F4	内部仕様一覧表(2枚有り)
TY-18-F5	建物維持管理一覧
TY-18-F6	よくあるお問い合わせ
TY-18-F7	取扱い・保全説明書
TY-18-G1	瑕疵検査記録書
TY-18-G2	空調機切替動作確認報告書

提出書類リスト	文書番号	TY-18-A1
	主管部署	設計室

No	名称	時期	備考
1	請負契約書（正） （建築主用）	契約時	<p>順番は下記の通りとする。（黒表紙金文字とし、同一製本）</p> <p>① 「契約書」 ② 「約款」 ③ 「設計変更の誓約書」（TY-18-A2） ④ 「メンテナンスに関する誓約書」（TY-18-A3） ⑤ 「VE明細書」（VEがあった場合のみ） ⑥ 「質疑回答書」 ⑦ 「見積内訳書」 ⑧ 「設計図書（A4折）」 ⑨ 出精値引のある場合は「設計変更に伴う請負金額増減額の処理精算方法を確認・明記したもの」（様式は自由）を提出すること。</p>
	請負契約書（写） （監理者用）	契約時	<p>同上①～⑦の写しをA4緑色のフラットファイルに綴じ込み1部提出。 また、同上①～⑦のPDFデータおよび見積内訳書のエクセルデータも提出すること。</p>
2	工事着工届	着工時	<p>届出年月日は書類の提出日を原則とする。 ■着工年月日は実際の工事着工日とする。</p>
3	現場代理人承認願 ・現場係員編成届	着工時	<p>経歴書（氏名・本籍地・現住所・電話番号・資格・最終学歴・職歴）添付。 工事担当編成表及び各係員毎の経歴書添付。</p>
4	提出物一覧表 （TY-18-A6）	着工時	<p>該当項目毎に納期、発注時期を確認、承認期間を見込んだ承認予定の一覧表として提出（数回に分けてよい） 第1回定例時にメンテナンスフリー宣言書（TY-18-A4）を提出。</p>
5	全体工程表	着工時	<p>ネットワークに依り、出来高予定も記入の事。 発注条件に合致した工程表である事。</p>
6	工事代金請求予定表	着工時	<p>中間支払いの無い場合は不要。予定日・金額記入</p>
7	協力業者承認願 （メーカー）	着工時	<p>協力業者契約前に提出の事。（変更も有り得る） 建設業法登録月日・番号・工事経歴を記載。 数回に分けて提出、通し番号をつける</p>
8	協力業者一覧表 （メーカー） （TY-18-A7）	着工時	<p>承認済みの業者に限り一覧表に記入し、全ての業者が確定するまで、工事報告書提出時に添付。 （担当者名、連絡先も明記）</p>
9	協力業者変更願 （メーカー）	その都度	<p>変更理由を明記。 契約前に提出の事。（変更も有り得る）</p>

No	名 称	時期	備 考
10	緊急時連絡先表 (TY-18-A8)	着工時	工事中の不時の災害・事故の発生時に連絡できるよう、各現場担当者、又担当者不在時の対応の仕方を明記。
11	竣工図下書用製本	着工時	A1またはA2版の2つ折り製本1部を現場保管し、変更箇所の全てを赤書きで記入、竣工検査前に提出
12	請求書	施工中	契約により中間支払いが定められている場合、その都度提出の上、監理者の承認印受領後、請負業者から発注者に提出。
13	メンテフリー 写真台帳	施工中	メンテフリーCH図面に基づき、写真台帳を作成すること。毎回の定例時に監理者のチェックを受けること。竣工時には監理者へ提出すること。
14	設計変更合意書 (TY-18-B6)	施工中	設計変更が生じた場合、増減精算見積を作成し変更図面等を添付の上、承認後統一様式により1部提出。施工前に提出の事。(事後承諾は認めない) 請負金額に変更の無い場合も提出。
15	試験表・報告書	施工中	主要資材・機械類の主要部分等の法定、及び自主材質試験結果・諸設備の性能試験の試験、表隠蔽された後で性能や外視検査ができないものの試験方法とその結果の報告書。水張り試験(TY-18-DE1)、外壁全面散水試験(TY-18-DE2)は必須
16	施工図・現寸加工図 製作承認図 施工計画図	施工中	納入時期・施工時期より逆算して15日間の承認期日を見込んで提出。設計図からの変更箇所は朱書きにて明示すること。提出要求図は、工事施工注意事項書による。
17	決定材料一覧表	施工中	施主承認した各仕上品番等に基づき、台紙(ベニヤ板等)に使用材料片等を貼り付け、添付して提出。(設計図書に基づく㎡単価、指定材料も記入) 提出承認後、現場事務所に掲示。1部
18	工事報告書	施工中	毎月5日(厳守)迄に前月分を提出(工事が行われた月は原則毎月提出)内容については文書番号TY-18-C1参照
19	竣工検査願い書 (TY-18-E1)	施工中	現場レベルにおいて、完全に施工完了した時点で請負者代表の責により社内検査を実施し、社内検査記録書を添付の上、提出する事。手直し完了時点で竣工検査を実施する。
20	引渡書類目録 (TY-18-F1)	竣工時	別紙モデルをベースに必要事項を追記し、引渡し時に項目順に読み上げ、引渡引受確認をする。
21	工事竣工届	竣工時	竣工年月日は、実際の年月日を記入の事。
22	建築物引渡書・ 引受書	竣工時	一枚形式として、発注者印・請負者印が捺印され、書式として効を発する様式である事。
23	社内検査記録書	竣工 検査時	請負者の社内検査立会い者、指摘事項、手直し完了予定日を明記したもの。(各設備についても同じ)

No	名 称	時期	備 考
24	竣工検査記録書 (TY-18-E7) 念書	竣工時	検査日・検査者・立会者・指摘事項を明記、手直し項目の未完成部分の完成に対する念書を付して（完了予定日明記）、竣工検査の翌日までに提出の事。
25	官公署・事業会社の 許可書類一覧表	竣工時	昇降機・ガス・水道局等、検査済月日・検査番号等の一覧表、及び許可証等添付する。
26	備品引渡書・明細書 受領書	竣工時	フック棒・予備ヒューズ等、備品明細書と照合して一品ずつ確認、受領後発注者より受領書に押印して成立。
27	鍵引渡書・明細書 受領書	竣工時	鍵箱に室名を付した鍵、及び鍵番号と室名を付したキープランを一緒に収納したものを同時に引渡し、引受し、発注者より受領書に押印して成立。
28	取扱説明書・ カタログ	竣工時	各種機械・器具類の取扱説明書とカタログ。 尚、取扱説明に基づいて実際に立会い、稼動、試運転を行うと共に交換品等の取扱方法を確認。
29	維持管理注意事項	竣工時	建築・電気・衛生設備等、維持管理注意事項を明記、熟読・熟知して頂く事により、引渡後のトラブル解消に役立つよう、素人に判り易く明記の事。
30	保証書	竣工時	防水工事、その他特定の保証期限を設けた物件と使用機器の単品保証書のあるものは、その保証書のみを一括して目録に保証期限を記載して提出。 各協力業者と元請業者連名で捺印。
31	緊急時連絡表 (TY-18-A8) 協力業者一覧表 (TY-18-A7)	竣工時	引渡後のメンテナンスについての連絡表、元請業者・担当者・不在時の連絡先を明記 (一次、二次連絡先及び監理担当者連絡先全ての欄を記入のこと) 協力業者の会社名・住所・電話番号・担当者を明記。

【竣工書類】			
No	名 称	時期	備 考
32	竣工写真	竣工時	<p>シルバー表紙黒文字アルバムとし、工事名称・工期・施主名・設計事務所名・施工者名、背表紙には工事名称又それぞれの工事名称の下部に竣工写真と記す。 提出部数は2部とする。 ※作成に当たって次の要領にて作成のこと。</p> <p>①単に建物の形態に留まらず、建物の特徴・建物の周辺との関係・スケール感等意図されたものを表現記録する。</p> <p>②撮影内容 撮影内容を設計事務所に説明し、承認を得る。 外観においては、建物本来の美しさ・機能・周囲との兼ね合いを考え建物の特徴を表現する。</p> <p>③内観は、完成直後の家具・備品等が入っている状態、入っていない状態のどちらの撮影にするかは設計事務所の指示に従い撮影する。</p> <p>③撮影に使用するフィルム原判は、主に4×5判（ポジ）を使用する。記録的な目的の部屋（内観）は、4×5判（ネガ）でも良い。</p> <p>④写真編集・アルバム（A4）作成 主な写真を大中小に分け編集し、A4判デジタル出力（ラミネート加工）してA4アルバムに整理する。 ・アルバムの1頁に工事概要を載せる。 ・各写真には、整理番号・部屋名を入れ、最後の頁に掲載されている写真の一覧表（ネガ・ポジ番号）を入れる。</p> <p>参考業者 アイオイ・プロフォート、インフォマーシャル、Kスタジオ ※上記の中から発注者及び監理者の承認を得ること</p>
33	竣工図	竣工時	<p>工事期間中の変更を、設計変更合意書に基づき、製本を朱書き訂正し、設計事務所の承認後原図を訂正するものとする。（訂正は全て施工者にて行うものとし、変更箇所は赤色にて作図の上カラー出力すること。） 原図訂正後は下記要領で作成し、データ（CAD、PDF共）もCD-ROMにて提出。各図面内右上に「竣工図」と記す。 表紙次ページ以降に確認済証、検査済証（建築、消防、昇降機）の写し、設計変更合意書表紙（施主の押印済み）を添付すること</p> <p>【製本作成要領】</p> <p>① 施主用 1部提出。製本サイズは施主確認の事。 表紙に工事名称、図面名（竣工図）、発注者・設計事務所・施工会社名、背表紙に設計番号と工事名称を記す。</p> <p>② 設計事務所用 1部提出。A3縮小版2つ折製本。 表紙に工事名称、図面名（竣工図）、発注者・設計事務所・施工会社名、背表紙に設計番号と工事名称を記す。</p>

No	名 称	時期	備 考
34	施工図	竣工時	CAD、PDFデータを提出
35	工事費精算書及び 請求書	竣工時	設計変更合意書（TY-18-B6）の最終分の写しを添付し、累計増減金額をもって精算するものとする。 提出要領は、No.12に同じ。
36	歩掛表	竣工時	文書番号TY-18-F2にて提出。 （1部提出）
37	内外仕上げメーカー、 品番一覧表	竣工時	文書番号TY-18-A7、TY-18-F4にて提出。 （1部提出）
38	空調機確認報告書 （文書番号TY-C13-03）	竣工後	引渡し時期より空調機が冷房もしくは暖房の切替を行う時季前に検査の上試験データ共提出。

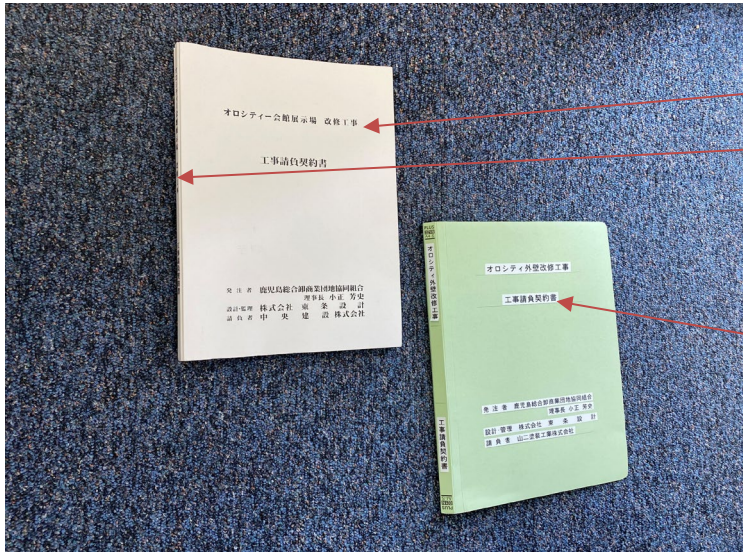
【備考】

1. 上記書類は特記無き限り、全て提出部数は1部。
2. 竣工書類については、施主提出分・東条設計提出分とも東条設計に提出すること。

【行政提出書類】 所定様式に記入し101～104は東条設計に提出 201～202は管轄消防に提出すること

No.	名 称	時期	備 考
101	工事施工者届	着工時	工事施工者欄に会社法人印の押印が必要 決定後速やかに提出
102	施工状況報告書	所定時期	やり方・配筋・コンクリート打設・鉄骨建方の日時を記入
103	コンクリート工事施工結果報告書 （鹿児島県は届出不要）	中間検査前	※ 中間検査対象物件のみ
		完了検査前	プラント名・コンクリート配合成績・技術者等の記入 ※ 中間検査以降の報告書を提出
104	鉄骨工事施工状況報告書 （鹿児島県は届出不要）	建方完了時	※ SRC造を含め 全ての鉄骨造が対象 建築主・監理者・施工者の押印が必要 （建方完了時：最上階スラブ打設若しくは 屋根葺完了時）
201	消防使用開始届	完了検査前	所定様式に記入
202	消防設備設置届	完了検査前	所定様式に記入

工事契約書作成要領



製本

オーナー用正本

- 工事名 工事関係者名 記載
白表紙ネジ綴じこみ製本
- 背表紙は工事名 工事請負契約書

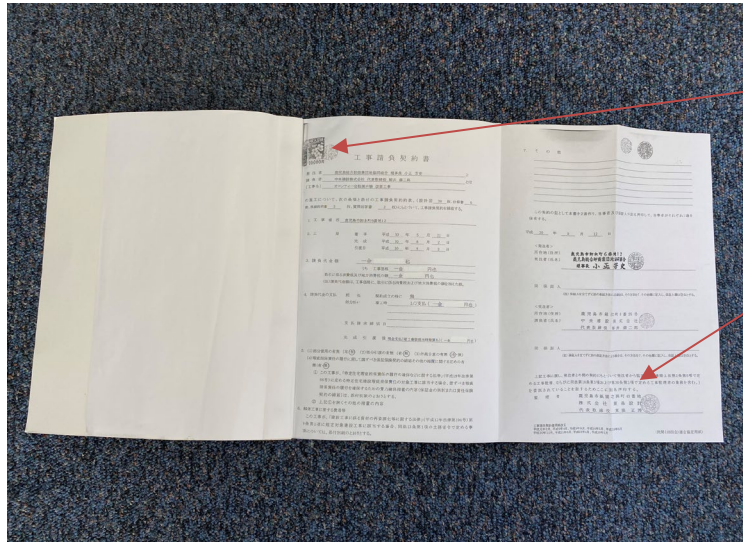
工事請負者用 副本

- 副本は各社任意の様式でよいです

監理者用 控え

- 監理者用
控えは A4緑色紙ファイル綴じ
- 表題ともテプラ打ちで宜しいです

工事請負契約書

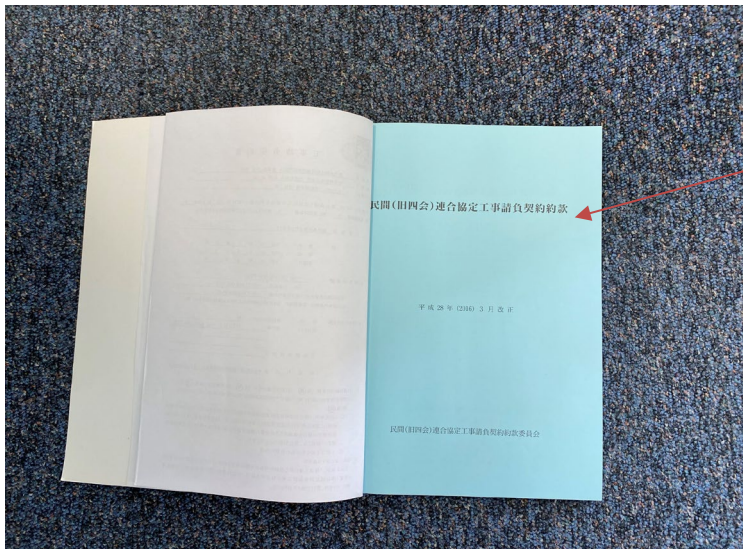


- 請負者の副本には印紙を貼って下さい

- 発注者の正本の印紙は は

- 監理者用は 3者押印終了後
白黒コピーで宜しいです

工事約款

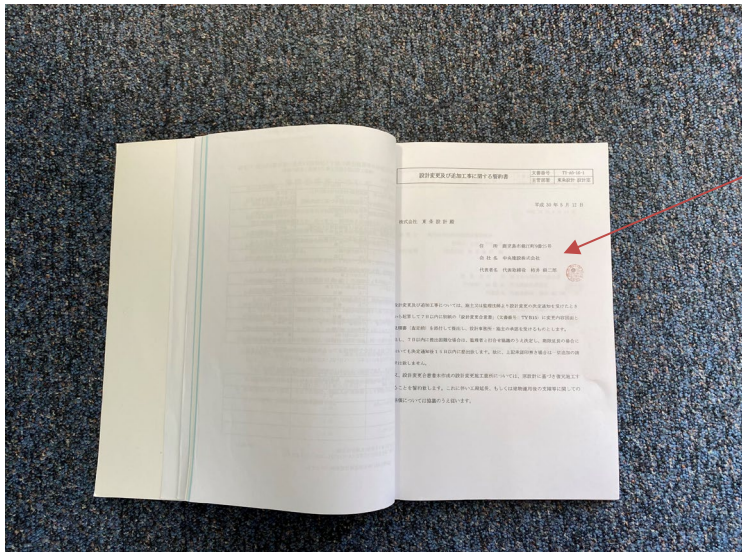


- 旧四会の様式を使用してください



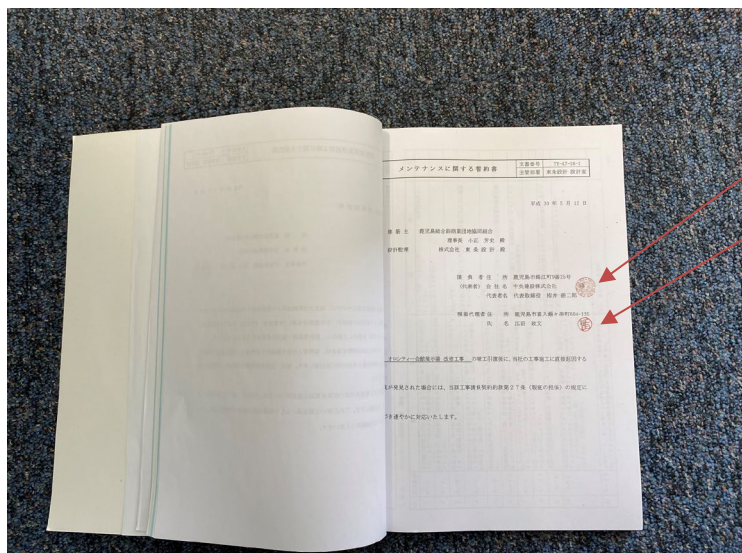
仲裁合意書

□ 保証人を立てる場合は、仲裁合意書の前に添付してください



設計変更及び追加工事に関する誓約書

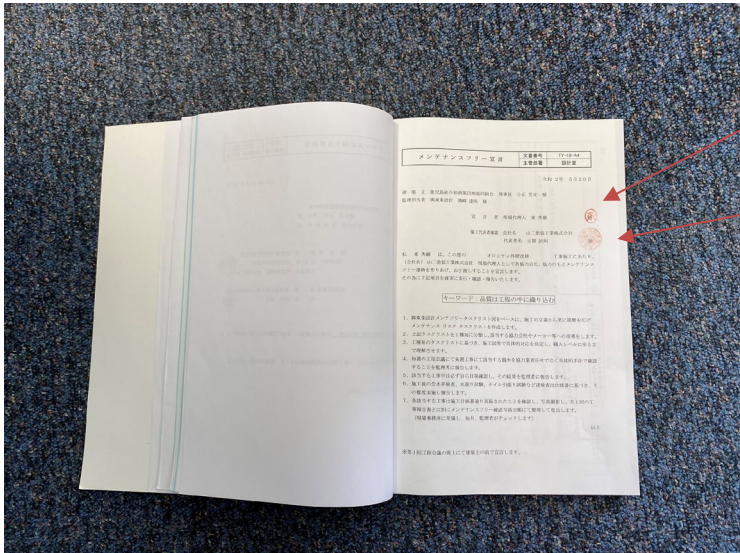
□ 必ず会社印を押印してください



メンテナンスに関する誓約書

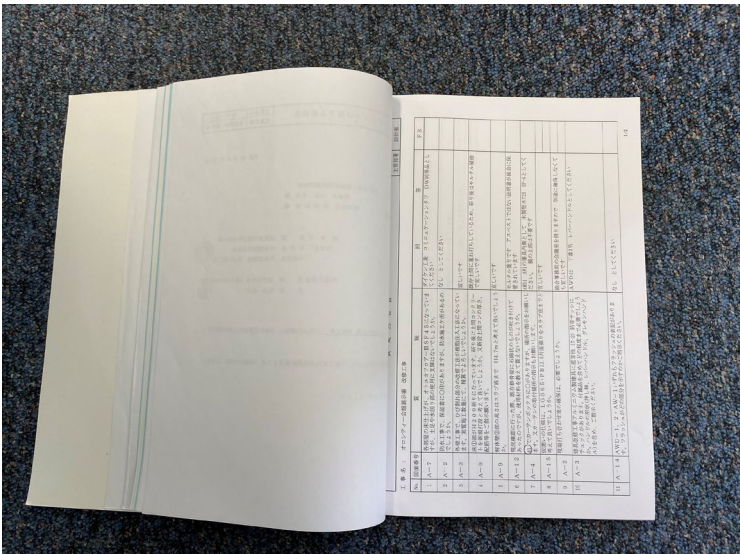
□ 必ず会社印を押印してください

□ 現場担当者の認印を押印して下さい



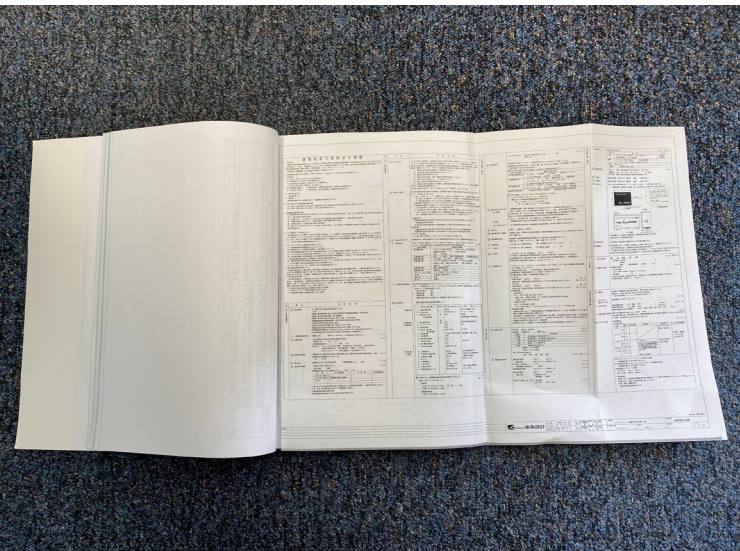
メンテナンスフリー宣言

- 現場担当者の認印を押印して下さい
- 必ず会社印を押印してください



質疑回答書

- 見積期間中の質疑回答書を添付してください



図面

- A-3縮小版を綴じこみ添付して下さい
- 監理者用控え製本には
図面は必要ありません



見積内訳書

- 決定額の見積書を添付してください
- 必ず値引率表を添付してください

設計変更及び追加工事に関する誓約書	文書番号	TY-18-A2
	主管部署	設計室

年 月 日

株式会社 東 条 設 計 殿

住 所

会 社 名

代表者名

印

設計変更及び追加工事については、設計変更確認表（文書番号 TY-18-B3-2）により施主又は監理技師より設計変更の決定通知を受けたときから起算して7日以内に別紙の「設計変更合意書」（文書番号 TY-18-B6）に変更内容図面と見積書（査定前）を添付して提出し、設計事務所・施主の承認を受けるものとします。

但し、7日以内に提出困難な場合は、監理者と打合せ協議のうえ決定し、期限延長の場合においても決定通知後15日以内に提出致します。故に、上記承認印無き場合は一切追加の請求は致しません。

又、設計変更合意書未作成の設計変更施工箇所については、原設計に基づき復元施工することを誓約致します。これに伴い工期延長、もしくは建物運用後の支障等に関する賠償については協議のうえ従います。

設計変更確認表（文書番号TY-18-B3-2）の最終版を竣工図面に綴じ込み製本し、提出します。

メンテナンスに関する誓約書	文書番号	TY-20-A3
	主管部署	設計室

年 月 日

建築主 殿
設計監理 株式会社 東条設計殿

請負者住所
会社名 ⑩
代表者名

現場代理人住所
氏名 ⑩

_____工事の竣工引渡後に、当社の工事施工に直接起因する

契約の内容に適合しないものが発見された場合には、当該工事請負契約約款(甲)第32条

(契約不適合責任)の規定に基づき速やかに対応いたします。

メンテナンスフリー宣言	文書番号	TY-18-A4
	主管部署	設計室

年 月 日

建築主 様
監理担当者 (株)東条設計 様

宣 言 者 現場代理人 (印)

施工代表者確認 会社名 (印)
代表者名

私 (会社名) は、この度の 工事施工にあたり、
現場代理人として各協力会社、協力のもとメンテナンス
フリー建物を作りあげ、お引渡しすることを宣言します。
その為に下記項目を確実に実行・確認・報告いたします。

キーワード：品質は工程の中に織り込む

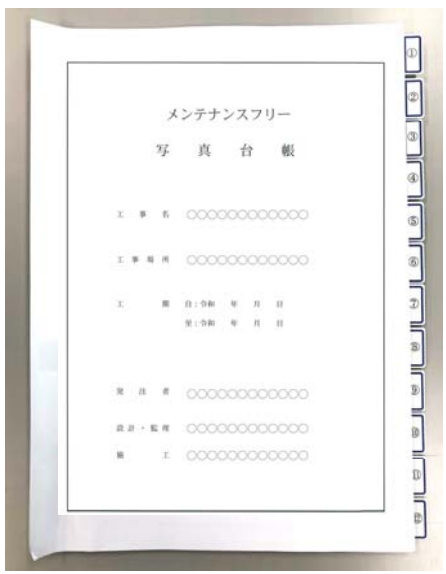
1. (株)東条設計メンテナンスフリー図面をベースに、メンテナンス上のリスクを抱えた
施工箇所について、施工の立場から視野を広げ、「メンテナンスフリー写真台帳」を
作成します。
2. 上記の確認書は工種毎に分類し、該当する協力会社やメーカー等への指導を行います。
3. 工種毎の確認事項に基づき、施工図等で具体的対応を決定し、職人レベルに至る迄、
対応内容とリスクについて理解を徹底します。
4. 定例会議の際に次週工程における該当工事について、協力業者任せでない具体的な
確認手法を監理者に報告します。
5. 該当する工事箇所は必ず自ら目視確認を行い、その結果を監理者に報告します。
6. 施工後の含水率検査、水張り試験、タイル引張り試験などの諸検査は仕様書に基づき、
その都度実施し報告します。
7. 該当する各工事が施工計画書通りに実施されたことを確認し、「メンテナンスフリー写真
台帳」にて該当項目毎に整理して、月一回の工事報告書とは別に監理者に報告します。
(現場事務所に常備した写真台帳は、毎月、監理者が検査します。)

以上

【メンテナンスフリー写真台帳作成手順】

<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>①. コンクリート舗装ヒビ割れ</p> </div>	<p>④メンテ発生予測の項目</p> <p>記載事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスト番号 ・項目名 												
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">  </div> <div style="width: 30%;"> <table border="1" style="font-size: 8px;"> <tr> <td>メンテナンスフリーリスト</td> <td>リスト①(1)コンクリート舗装ヒビ割れ</td> <td>土間コン</td> <td>発生発生状況</td> </tr> <tr> <td>メンテナンスフリーリスト</td> <td>リスト①(1)コンクリート舗装ヒビ割れ</td> <td>土間コン</td> <td>発生発生状況</td> </tr> <tr> <td>メンテナンスフリーリスト</td> <td>リスト①(1)コンクリート舗装ヒビ割れ</td> <td>土間コン</td> <td>発生発生状況</td> </tr> </table> </div> <div style="width: 35%;">  </div> </div>	メンテナンスフリーリスト	リスト①(1)コンクリート舗装ヒビ割れ	土間コン	発生発生状況	メンテナンスフリーリスト	リスト①(1)コンクリート舗装ヒビ割れ	土間コン	発生発生状況	メンテナンスフリーリスト	リスト①(1)コンクリート舗装ヒビ割れ	土間コン	発生発生状況	<p>④工事状況写真・検討図面</p> <p>メンテ発生予測の項目に対しての検討及び対策を行った根拠となる工事状況写真や検討図面を各項目ごとに添付する。</p>
メンテナンスフリーリスト	リスト①(1)コンクリート舗装ヒビ割れ	土間コン	発生発生状況										
メンテナンスフリーリスト	リスト①(1)コンクリート舗装ヒビ割れ	土間コン	発生発生状況										
メンテナンスフリーリスト	リスト①(1)コンクリート舗装ヒビ割れ	土間コン	発生発生状況										
<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> ①表紙 ②メンテナンスフリーリスト ③メンテ発生予測の項目 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;">  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>④工事状況写真・検討図面</p> </div>	<p>成果品イメージ (1)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①表紙 ②メンテナンスフリー宣言書 ③メンテナンスフリーリスト ④メンテ発生予測の項目 ⑤工事状況写真・検討図面の順に綴じる。 <p>※グリーンファイル (A4) に綴じる。</p>												

【メンテナンスフリー写真台帳作成手順】

	<p>成果品イメージ（2）</p> <p>リスト番号毎にインデックスを付ける。</p>
--	---

直会式次第
◎直会(10:30~11:00)

1. 開 式
1. ご神酒拝戴
1. 建築主挨拶
○○○クリニック
院長 ○○ ○○ 殿
1. 来賓挨拶
株式会社 ○○○○
代表取締役 ○○ ○○ 殿
1. 設計監理者挨拶
株式会社 東条設計
代表取締役会長 東條 正博 殿
1. 施工者挨拶
株式会社 ○○建設
代表取締役 ○○ ○○ 殿
1. 乾 杯
1. 閉会の挨拶

工事概要

- 1 工事名称
○○○○クリニック 新築工事
- 2 建設地
鹿児島県○○市○○町103-1
- 3 建築主
○○○クリニック
院長 ○○ ○○ 殿
- 4 設計監理者
株式会社 東条設計
- 5 施工者
株式会社 ○○○○
- 6 概 要
用 途 診療所
延床面積 ○○○.○㎡(○○.○○坪)
階 数 ○階建
構 造 鉄筋コンクリート造
- 7 工 期
着工 : 年 月 日
竣工 : 年 月 日

文書番号	TY-18-A5
主管部署	設計室

○○○クリニック 新築工事

地鎮祭のしおり



設計コンセプト

女性らしさを感じ、親しみの持てるクリニック
明るく清潔で「癒し」を感じるクリニック

1. 平面計画
診療室、処置室を直線上に配置し医師、スタッフ動線の最適化
各諸室の使用頻度、患者、スタッフ動線を考慮した平面計画
診療室は完全個室とし、患者が落ち着ける空間を提供
やすらぎを感じる開放感ある待合いホール
2. 外観計画
交互に設けた縦長の窓は、外部からの視線を遮りながら
待合いホールへ明るい光を取り入れる
白を基調とした清潔感のある外観イメージ
ダークブラウンをアクセントとし、モダンで品のある
外観イメージ

年 月 日 ()
(神事)10:00~10:30
(直会)10:30~11:00
(服装)平服orクールビズ

施 主
設計・監理 株式会社 東条設計
施 工

神事式次第
◎神事(10:00~10:30)

1. 開 式 (一同起立)
1. 修祓之儀 (一同起立)
1. 降神之儀
1. 献饌之儀
1. 祝詞奏上 (一同起立)
1. 清祓之儀
○○神社 ○○○○神官 殿
1. 地鎮之儀
刈初之儀
○○○クリニック
院長 ○○ ○○ 殿
穿初之儀
株式会社 東条設計
取締役社長 ○○ ○○ 殿
杭打之儀
株式会社 ○○○○
代表取締役 ○○ ○○ 殿
1. 玉串奉奠
①○○神社 ○○○○神官殿
②○○○クリニック
建築主関係者 ○○ ○○ 殿
③○○銀行
○○支店支店長 ○○ ○○ 殿
④株式会社 東条設計
代表取締役会長 ○○ ○○ 殿
⑤株式会社 ○○建設
代表取締役 ○○ ○○ 殿

1. 撤饌之儀
1. 昇神之儀
1. 閉 式
集合写真撮影

※注意事項(出力の際消してください)
自席にて同拝の方へ案内を行う
(代表の方の名前を呼んだ後、『関係の皆様は、
自席にてあわせて拝礼お願い致します』)

提出物一覧表	文書番号	TY-18-A6
	主管部署	設計室

工事名	作成日 年 月 日
-----	-----------

	項目	発注締切日	提出予定日	承認希望日	備考
施工計画書	基礎総合図				
	各階躯体総合図				※設備スリーブを明記、監理者承諾を得ること。
	各階仕上げ総合図 (E、M)				
	金属製建具施工計画書				
	木製建具施工計画書				
	造作家具施工計画書				
	外構造成施工計画書				
施工承諾図	施工計画書のもの全て				
	外壁仕上げ材料 (現行品)				
	内部仕上げ材料 (現行品)				
	設備機器				
	エレベータ				
	消防関連設備機器				
	避難関連設備機器				
	外構造成施工承認図				
別途工事	医療機器				
	施主支給品				
	事務備品				
	カーテン、ブラインド				
	厨房機器				

※ 表中記載事項については参考とし、各現場にて該当するものを記入のこと。 ※ 内外仕上サンプル発注時に廃盤予定品が無いか確認すること。

※ 承認期間は原則15日間とし、内外装仕上げ承認については、30日間とする。

協力業者一覧表	文書番号	TY-18-A7
	主管部署	設計室


設計番号		工事名	
------	--	-----	--

	工事名称	会社名	住所	電話	担当者
1	仮設工事				
2	杭工事				
3	土工事				
4	コンクリート工事				
5	型枠工事				
6	鉄筋工事				
7	鉄骨工事				
8	組積工事				
9	防水工事				
10	屋根工事				
11	金物工事				
12	木工事				
13	石工事				
14	タイル工事				
15	左官工事				
16	鋼製建具工事				
17	木製建具工事				
18	硝子工事				
19	塗装工事				
20	外装工事				
21	内装工事				
22	内装工事(クロス)				
23	内装工事(床)				
24	内装工事(畳)				
25	クリーニング工事				
26	エレベーター工事				
27	雑工事(家具)				
28	雑工事(UB)				
29	雑工事(流し)				
30	電気工事				
31	空調設備工事				
32	給排水設備工事				
33	外構工事				
34					
35					
36					

※鉄骨工事において製作工場は全て記載の事。

緊急時連絡表 ()	文書番号	TY-18-A8
	主管部署	設計室

プロジェクトNo. 工 事 名 建 設 地 現場事務所Tel メールアドレス		発注者	氏名 : (代表者) 住所 : Tel : 担当者 : 担当者携帯 :
--	--	-----	--

 株式会社東条設計 TEL : 248-2251	社 長 折田孝一 携帯Tel 090-2583-3551
	技術顧問 鎌田道清 携帯Tel 070-5534-8859 技術顧問 濱崎達郎 携帯Tel 070-5698-1792 担当者 携帯Tel

※担当者

	建築工事	電気設備工事	空調設備工事	給排水設備工事
会 社 名				
所 在 地				
Tel				
担 当 者 名				
携 帯 Tel				

※担当者不在の場合

一次連絡者氏名				
携 帯 Tel				
二次連絡者氏名				
携 帯 Tel				
社 長				
携 帯 Tel				

※書類名称の () 欄は工事期間中、竣工後のいずれかを選択のこと

※提出先：総務室へ（現場竣工時書類のみ）

工 程 会 議 要 領

文書番号

TY-21-B1

主管部署

設計室

1. 工程会議趣旨

工程会議は施工期間中に施主・監理者（設計事務所）・施工者が集まり、定期的に行う会議です。工事工程や現場状況の確認、質疑・検討事項について協議を行います。

（1回目は今後の工程会議を進める上でのルールを確認する場と位置づけます。）

2. 工程会議のルール

- ① 原則として工程会議は定例開催とします。（間隔はプロジェクトにより決定）
- ② 日時は原則、決められた曜日・時間で開催しますが、都度協議の上決定します。
- ③ 出席者は、発注者、設計事務所、元請業者、電気・給排水・空調設備業者の担当者。（代理者は原則不可。常駐の有無を確認し、緊急時連絡表の作成）
- ④ 会場は原則、現場事務所で行います。椅子ほか備品の準備をお願いします。
- ⑤ 議長（議事進行）は元請担当者が行い、下記の議題について協議します。

A) 前回議事録の確認

B) 過去1週間、向こう1週間の工程確認

C) 検討事項、質疑事項に対する回答

D) 建築主からの決定・連絡事項

E) 監理者からの指示・連絡事項

F) 設計変更について確認

G) 立会検査、行政検査等の予定確認

H) 施工計画書、施工図等の提出（承認の必要なもの）

- ⑥ 工程会議他協議記録は元請担当者が作成し、監理者の事前承認を取ってください。

3. 施主、請負業者、東条設計の窓口決定、指示事項の流れ確認

（元請一括である場合は、電気、機械設備まで全てを管理する義務・責任あり）

4. その他

- ① 工事管理と工事監理の違いについて（別紙1）
- ② 仕様書に基づく基本に忠実な仕事。（建築・電気・機械の仕様書・CHシートも常備）
- ③ 提出関係書類に手直しができない様に事前打合せ・準備をお願いします。
- ④ 施工計画・施工図等の承認は2週間以上を要します。余裕を持った提出をお願いします。（仕上材決定期間は1ヶ月を見込んで下さい。）
※確認申請で認定工法を採用している建物は、申請図面と相違がないように作成してください。（認定工法は、完了検査で是正があった場合に時間がかかります。）
- ⑤ 設計図書は最低限確保するグレードです。協力業者に至るまで英知を結集し、品質を高めましょう。設計に関する事もご提言下さい。
- ⑥ 施工図にて早い段取りで設計図書を見返し、工事段取りも含めて検討下さい。
- ⑦ 設備総合図を早期に作成し、各セクションの整合性を確認して下さい。
- ⑧ VEの手法は、積極的に活用します。ご提言ください。
- ⑨ 現場に協力業者の看板を極力設置して下さい。
- ⑩ 毎日作業終了後、電話またはメールにて監理担当者に工事報告して下さい。
- ⑪ 付近住民への広報説明は、誠意を持って対応して下さい。
- ⑫ 着工前に隣接する建物および敷地周辺について調査を行ってください。
- ⑬ 設計変更朱書き用製本を1冊現場に準備してください。

第 回 定 例 会 議						文書番号	TY-18-B3-1					
						主管部署	設計室					
工事名:						会議日付	年 月 日					
						会議時間	開始		終了			
出席者	施主	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	承認印	施主		東条設計		施工者	
	東条設計	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	施工者	<input type="checkbox"/> 建築	<input type="checkbox"/> 電気	<input type="checkbox"/> 機械	<input type="checkbox"/> 空調							
	他関係者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		/	/	/	/	/	
発言者	議題及び指示事項						施主	設計	施工	変更	FB	
	1. 前回議事録確認											
	2. 工程確認											
	※メンテフリー対策該当項目の確認											
	3. 検討、確認事項											
	4. 施主からの連絡事項											
	5. 現場への指示事項(監理より)											
	6. 設計変更項目の確認(別紙、設計変更確認表参照)											
	7. その他											
	8. 次回議題と定例日時の確認											
	9. 現場確認											

※設計変更確認表を毎回作成添付のこと

設計変更確認表

文書番号

TY-18-B3-2

主管部署

設計室

工事名称:

作成日 令和 4年 月 日

No.	変更項目	提案者	変更 起案日	方針 確定日	見積書 提出 予定日	見積書 提出日	見積額 (消費税込)	変更 決定日	決定額 (消費税込)	合意書 提出 予定日	合意書 No.	合意書 建築主 承認日	朱書き 図面 修正日
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													
26													
27													
28													
29													
30													
	決定累計金額								0				

※変更見積書提出は変更方針確定後、7日以内とする

※7日以内提出が困難な場合でも監理者と協議の上、15日以内の提出とする

※見積書提出予定日、変更合意書提出予定日を超過の場合は項目を赤字とする

設 計 変 更 合 意 書	文書番号	TY-18-B6
	主管部署	設計室

工事名称	No.
------	-----

項 目	提 案 者
-----	-------

変更内容	※簡潔に記入すること

設計図書への記録(施工者記入欄 変更項目の朱書き訂正必要図面にチェックを行うこと。)ページ記入のこと。

該当図面	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	特記	概要	仕上	面積	平面	立面	断面	矩計	断詳	階詳	建具	展開	天伏	サイン	外構	構造	電気	給排水	機械	
図面番号																				

チェックリスト(東条設計記入欄)

<input type="checkbox"/>	建 築 基 準 法	<input type="checkbox"/>	機 械 設 備	<input type="checkbox"/>	都 市 計 画 法
<input type="checkbox"/>	消 防 法	<input type="checkbox"/>	民 法	<input type="checkbox"/>	住 宅 瑕 疵 担 保 履 行 法
<input type="checkbox"/>	電 気 設 備	<input type="checkbox"/>	バ リ ア フ リ ー 法	<input type="checkbox"/>	他 関 係 官 庁
<input type="checkbox"/>	給 排 水 衛 生 設 備	<input type="checkbox"/>	医 療 法 ・ 介 護 福 祉 法 ・ 介 護 保 険 法	<input type="checkbox"/>	I S O フ ィ ー ド バ ッ ク

変更金額(施工者記入欄)

変 更 提 案 日	年 月 日	変 更 決 定 日	年 月 日
見 積 額	円	決 定 額	円
前 回 累 計 額	円	今 回 累 計 額	円

設 計 監 理 費	円	累 計 額	円
-----------	---	-------	---

※金額については、全て消費税込みとする。

建築主		東条設計					施工者	
	受領日	社長	担当室長	構造設計室	担当者	受領日		作成日

- ※ 本書→変更前後の図面→変更見積書の順に綴じて提出のこと
- ※ 最新設計変更確認表と承認済み設計変更合意書直前No.の写しを添付こと
- ※ 見積書は税込み金額で作成のこと

テナント工事注意事項	文書番号	TY-18-B7
	主管部署	設計室

1. 内装工事の打合せは、テナント内装業者決定後オーナーを交えて東条設計と打合せを行うこと。
2. テナント内装工事着工前、東条設計に設計図を提出し、消防・市建築指導課と打合せ、法的承認の上、施工のこと。
3. 図面作成に当たっては、東条設計と打合せの上作成のこと。本体工事設計図書記載以外必要部については、テナント工事負担にて施工のこと。
例) 天井点検口 火災報知器 P S 点検口
誘導灯 掃除口 非常用照明
ブレーカー 防火ダンパー等
4. 建築工事とテナント内装工事が並行する場合、設計事務所・建築業者と連絡を密にして主体工事に支障を来さないようにすること。又、相互間の取りまとめは東条設計で行い毎週の工程会議には必ず出席のこと。
5. 各テナント間（隣接テナント及び上下階テナント）の取り合いについては、東条設計でアポイントを取りよく打合せの上、トラブルの発生しないよう注意のこと。又、トラブルについては当事者間で解決のこと。（特に給排水・冷暖房・電気等 設備工事）
6. 水回りについては特に注意し、下階に漏水等起こさないよう防水には注意のこと。防水の水張り試験は必ず行い写真添付の上、東条設計に報告書を提出すること。
7. 建築主体工事に於いて、最小限の配管・スリーブ・消防設備工事等、行われているがテナントで必要と思われる分については各自で行うこと。その際、建築主体工事との取り合いが出でくる分は事前に東条設計・施工業者に連絡の上、支障無きようすること。
8. 業者に対する仮設電力負担費等については、建設業者と当事者間で事前に打合せし、トラブルの無きよう打合せの上、施工のこと。
9. 本体工事の図面が必要な方は申し出て下されば東条設計で渡します。
10. 法的監理（建築基準法・消防法）については、東条設計で行い、監理料としてテナント面積当たり 1,000 円/m²を着工前に支払うこと。

構造監理の提出書類について（第1回定例）	文書番号	TY-18-B8
	主管部署	設計室

1. 構造監理の主な書類、資料は下記になります。（◎印は提出書類です。）
 - ◎TY-18-C6：工事写真撮影チェックリスト
 - ◎TY-18-DB2~4：配筋検査チェックリスト
 - TY-18-DB1：配筋写真撮影要領
 - ◎TY-18-DB5：鉄筋ガス圧接検査報告書
 - ◎TY-18-DC3：コンクリート打設計画チェックリスト
 - ◎TY-18-DC4：コンクリート試験報告書
 - ◎TY-18-DD1：鉄骨加工工事における提出書類・試験・検査チェックリスト
 - ◎TY-18-C7：手直し工事完了報告書
 - ◎TY-18-DB6：鉄筋・結束線かぶり厚確保の徹底状況確認表
 - TY-18-DC1：打放しコンクリート設計・施工資料
 - TY-18-DC2：良品質のコンクリートを打設するために
 - ◎TY-18-D1：監理チェックリスト
2. 地業工事（地盤改良、杭）について
 - a.設計図書を確認して施工計画書を提出してください。施工結果については、工事報告書に添付してください。
2. 地業工事（ラップルコンクリート）について
 - a.支持地盤面を確認して施工を行ってください。
3. 鉄筋、型枠工事の検査等について
 - a.鉄筋加工については加工計画書を提出してください。（スターラップの加工要領参照）
 - b.弊社の配筋検査前にTY-18-DB2~4を使用して社内検査を行ってください。
 - c.行政（中間）完了検査では写真確認があるので、全部材の写真データを保管してください。（TY-18-DB1参照）
 - d.かぶり厚さを確認して、使用するスペーサーについては、事前に承認を受けてください。（弊社の仕様は、公共建築仕様書のかぶり厚さより1cm大きいです。）
 - e.ペン磁石、チャントレル等を使用し、釘・結束線・木片・ゴミ等を確実に除去してください。
 - f.型枠内の木クズ、小さなホコリ等は掃除機で除去してください。高圧洗浄水を使用する場合は、柱脚部に掃除口を設けてゴミを除去してください。
 - g.配筋検査時は、配筋検査チェックリスト・コンクリート打設計画チェックリスト・配筋検査実施部分の施工記録写真（役所検査提出分）をチェックしますので、準備をしてください。また、配筋検査により手直しが生じても対応可能な日程でコンクリート打設日を設定してください。

4. コンクリート工事の検査等について

- a.設計図書を確認し、配合計画書を提出してください。
- b.TY-18-DC1,2により検討を行い、施工計画を行ってください。
- c.TY-18-DC3のP3にあるコンクリート受け入れ検査手順書は工場の試験係に渡して、正確な試験を行い、良質なコンクリートを打設してください。
- d.当社作成の封かん紙を事前に配布しますので、毎回必要事項を記入して圧縮試験用の供試体に入れて、供試体の管理に利用してください。

5. 鉄骨工事の検査等について

- a.設計図書を確認し、鉄骨製作要領書の提出をしてください。
- b.TY-18-DD1により進捗状況にあわせて工場と確認を行いチェックしてください。鉄骨工事完了時に工事報告書に添付してください。
- c.製品検査時に工場での工程写真、社内自主検査記録書、材料納品書を提示してください。

6. 材料試験結果等について

- a.TY-18-DB5,DC4については、毎回各部位ごとに作成し、提出してください。
- b.第三者UT検査（鉄筋、鉄骨）、公的機関試験結果（コンクリート）の報告書は、毎月の工事報告書に添付してください。

7. その他の書類について

- a.TY-18-C7は、配筋（鉄骨）検査で手直しが生じた場合に使用します。その都度、手直し指示事項、処置要領を記入し、写真（是正前・是正後）を貼付して提出してください。
- b.TY-18-DB6は、**鉄筋、型枠工事期間中は現場事務所に掲示をして、各部位の必要かぶり厚さを確保し、メンテナンスフリーに努めてください。毎回定例会議と配筋検査時に弊社が確認しますので提示してください。※最終的には毎月の工事報告書に添付してください。**

工事報告書作成要領	文書番号	TY-18-C1
	主管部署	設計室

No.	名 称	備 考
1	表紙(1頁目) (規定様式無し)	工事名称、施工業者名、何月分を明記。
2	目次 (TY-18-C2)	当月分の工事報告書に該当しない項目は2重線にて削除。 (目次番号変更は不可)
3	作業月報 (TY-18-C3)	当事務所所定用紙に毎日の主だった工事内容、天候を記入。 建築・電気・給排水・空調それぞれ別表に記載。
4	作業人員累計表 (TY-18-C4)	事務所所定用紙に各職種毎の前月・今月累計の出面を記入。
5	入場材料一覧表 (TY-18-C5)	主だった資材等の現場搬入状況が判るように搬入月日を記入。 (例) 1/10 8F生コン 285㎡ 1/12 9F加工鉄筋 1/18 サッシ (1~3F)
6	全体工程表及び週間工程表 (TY-18-B5)	全体工程表に当月までの出来高曲線を赤で記入。 定例会議時に打合せ済みの週間工程表を添付。
7	定例会議議事録 (TY-18-B3)	定例会議打合時の議事録。 ※施主印のある原本。
8	設計変更合意書 (TY-18-B6)	その月に決定済の設計変更合意書表紙の写し。
9	工事写真 (TY-18-C6参照)	A4版の台紙に、工事の状況が第三者に判断できる範囲を撮影。(メモ欄に必ず工事内容を記入) 手直し指示事項については、その旨明記した黒板をバックに撮影する。写真はカラー印刷で提出すること。
10	試験表及び報告書	各種施工要領書 各種実験計画書・材料 試験報告書(鋼材・コンクリート等) 施工報告書(地耐力試験報告書・鉄骨製作結果報告書等) 各種実験報告書(水張り試験(TY-C06-01), 外壁全面散水試験(TYC07-03), タイル接着力試験(TY-C08-01)等) 事故報告書(事故の現状・原因・処置) 配筋検査チェックシート、コンクリート打設計画チェックシート(監理者押印のあるもの)

No.	名 称	備 考
11	協力業者一覧表 (TY-18-A7)	当月までの決定協力業者を記入
12	手直し工事完了 報告書 (TY-18-C7)	当月の手直し完了を確認した報告書
13	チェックシート	<ul style="list-style-type: none"> ・現場自主検査チェックシート (TY-18-C8) を工事進捗に合わせて チェックを行い、そのコピーを工事報告書に添付し 毎月提出すること。 ・公共建築協会発行の工事施工チェックシート 現場受注時に社団法人公共建築協会発行の工事施工チェックシート (建築、電気、設備) を購入の上、現場事務所へ備え付け、工事 進捗に合わせてチェックを行い、そのコピーを工事報告書に添付し 毎月提出すること。(各チェックシートは請負者にて購入のこと) 販売機関：政府刊行物鹿児島サービスステーション 所 在 地：鹿児島市上之園町33番地14 電話番号：(099)-285-0015(代)
14	その他提出書類	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋・結束線かぶり厚確保の徹底状況確認表 (TY-C04-07) ・工期や工費に及ぼす大きな協議事項の報告 ・現場員の編成増強の変更報告等
15	※注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各提出物には、インデックス(番号のみ)を工事報告書目次 (TY-18-C2)に従って付けること。 ・各書類を緑色ファイルA4(コヨ 7-V10 A4S 同等品)に綴じて、<u>1部</u> (施主要望ある場合は2部)提出のこと。 ・<u>ファイルの表紙には、工事名称等の明記は必要ありません。</u> ・提出する工事報告書は毎月ごとにPDFデータとして施工者にて 保管しておくこと。なお、竣工書類提出時にCDデータにて 一式提出すること。<u>(ウイルスチェック必須)</u>

— — 目 次 — —

	インデックス番号
1 作業月報	1
2 作業人員累計表	2
3 入場材料一覧表	3
4 工程表	4
5 定例会議議事録	5
6 設計変更合意書	6
7 工事写真	7
8 試験表及び報告書	8
9 協力業者一覧表	9
10 手直し工事完了報告書	10
11 チェックシート	11
(現場自主検査チェックシートTY-C02-06)	
(公共建築協会工事施工チェックシート)	
12 その他	12
(鉄筋・結束線かぶり厚確保の徹底状況確認表 TY-C04-07)	

作業月報	文書番号	TY-18-C3
	主管部署	設計室

月実施の工事内容は下記のとおりです。			
日	曜日	天候	工 事 内 容
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			

作業人員累計表	文書番号	TY-18-C4
	主管部署	設計室

月 全工事日数 日 着工後日数 日 残日数 日

職名	前月迄の累計	本月	累計	備考
仮設工				
とび				
土工				
杭工				
型枠大工				
鉄筋工				
鉄骨工				
ハツリ工				
A. L. C版工				
組積工				
耐火被覆工				
防水工				
石工				
タイル工				
サッシュ工				
木製建具工				
硝子工				
左官工				
金物工				
造作大工				
塗装工				
内装工				
家具工				
機械・重機オペ				
雑工				
人夫				
小計				
電工				
衛生工				
冷暖房工				
昇降機工				
設備雑工				
合計				

工事写真撮影チェックリスト	文書番号	TY-18-C6
	主管部署	設計室

- a) 各写真とも、撮影箇所及び設計寸法・設計仕上を記入した黒板とスケールを当てて撮影する事。撮影の目的は各工事が仕様書通り適切に施工された記録を伝える事です。
- b) 必要最低限の撮影必要箇所は下記に示しますが、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真の撮り方」を参照のうえ、施工精度向上のため努力致しましょう。
- c) このチェックリストは毎月チェックし、月報の工事写真に添えて提出してください。

撮影写真はCDにし建物引渡し時に提出してください

1. 仮設工事

- ①地縄・やり方・施主立会写真
- ②仮囲いの位置及び構造
- ③材料運搬経路と主な作業動線
- ④仮設物などの配置
- ⑤排水経路及び仮設用電力水道の引込み位置
- ⑥足場・さん橋の位置及び構造
- ⑦揚重機
- ⑧作業員の墜落防止及び落下物の危険防止
- ⑨設計GL、BM(ベンチマーク) 確認

2. 土工事

- ①山留の施工
- ②根切りの施工
(根切り底レベル深さ確認立会)
- ③残土の処理方法
- ④のり面養生方法
- ⑤排水工法、施工
- ⑥埋戻しの施工

3. 地業工事

【既成杭工事】

- ①杭の規格・寸法
- ②施工機械の仕様
- ③試験掘り、試験杭施工
- ④本杭施工
- ⑤杭芯ずれ測定
- ⑥杭頭処理、補強
- ⑦基礎下部にラップルコンクリートを打設する場合
地耐力確認(床掘した基礎ベース底盤で
載荷試験を行い地耐力を確認)

【場所杭工事】

- ①施工機械の仕様
- ②試験杭の材料、施工
- ③本杭の材料、施工
- ④杭の余盛り測定
- ⑤杭頭処理

【砂利地業】

- ①締固め状況
- ②深さ計測
- ③厚さ計測
- ④防蟻処理

【捨コンクリート地業】

- ①型枠寸法測定
- ②施工(打設、こて押え)
- ③出来形計測

【その他】

- ①土間床下防湿層施工(重ね幅)
- ②土間床下断熱材施工

4. 鉄筋工事(全部材を撮影)

(※各階 片壁の型枠が立て込まれた時点で
スペーサーの配置がわかるよう写真撮影)

- ①鉄筋ラベル
- ②搬入鉄筋のロールマーク
- ③各部配筋、定着長さ
- ④重ね継手長さ、位置確認
- ⑤ガス圧接施工 溶接大きさ
- ⑥ガス圧接完了後の試験
- ⑦ガス圧接継手位置確認
- ⑧開口補強筋、スリーブ補強筋
- ⑨各配筋検査
- ⑩ミルト全数確認

5. コンクリート工事		7. コンクリートブロック工事	
①型枠材料	<input type="checkbox"/>	①材質、規格、寸法	<input type="checkbox"/>
②捨て型枠ある場合は、 防腐処理状況写真	<input type="checkbox"/>	②配筋、定着	<input type="checkbox"/>
③墨出し	<input type="checkbox"/>	8. 外装版工事	
④各部型枠建込み、スペーサー	<input type="checkbox"/>	①材料、規格、寸法	<input type="checkbox"/>
⑤支柱サポート	<input type="checkbox"/>	②支持金物の施工	<input type="checkbox"/>
⑥型枠締付け材、取外し後処理	<input type="checkbox"/>	③ジョイント部	<input type="checkbox"/>
⑦打継ぎ部型枠、打継ぎ面の処理	<input type="checkbox"/>	④散水試験状況	<input type="checkbox"/>
⑧コンクリートポンプ車、 ミキサー車のセット	<input type="checkbox"/>	9. 防水工事	
⑨輸送管	<input type="checkbox"/>	①防水下地処理	<input type="checkbox"/>
⑩コンクリート受け入れ検査	<input type="checkbox"/>	②防水施工の各工程	<input type="checkbox"/>
⑪打設前清掃完了状況	<input type="checkbox"/>	③防水立上がり及びブルーフドレイン 取合せ部分	<input type="checkbox"/>
⑫打設状況	<input type="checkbox"/>	④水張り試験	<input type="checkbox"/>
⑬スラブ面タンピング（土間含む）	<input type="checkbox"/>	⑤シーリング材料、施工	<input type="checkbox"/>
⑭こて押え	<input type="checkbox"/>	⑥サッシ廻り散水試験状況	<input type="checkbox"/>
⑮打設後養生（散水・シート養生等）	<input type="checkbox"/>	10. 石工事	
⑯打設不良箇所補修	<input type="checkbox"/>	①石材の形状、寸法	<input type="checkbox"/>
⑰各部出来形	<input type="checkbox"/>	②下地金物、施工	<input type="checkbox"/>
⑱レイタンス除去	<input type="checkbox"/>	③裏込めモルタル施工	<input type="checkbox"/>
⑲テストピース現場水中養生状況 （封かん紙も写す）	<input type="checkbox"/>	11. タイル工事	
⑳テストピース圧縮試験	<input type="checkbox"/>	①材料、規格	<input type="checkbox"/>
6. 鉄骨工事		②下地状況（特に役物部分）	<input type="checkbox"/>
①使用材料	<input type="checkbox"/>	③張付けモルタルの材質・張付け 状況	<input type="checkbox"/>
②材料計測検査	<input type="checkbox"/>	④施工状況	<input type="checkbox"/>
③現寸検査	<input type="checkbox"/>	⑤たたき検査状況	<input type="checkbox"/>
ベースプレート の厚さ	<input type="checkbox"/>	⑥屋外タイル接着力試験状況	<input type="checkbox"/>
④工場施工	<input type="checkbox"/>	12. 木工事	
⑤工場検査	<input type="checkbox"/>	①木材の材質、規格、等級、寸法	<input type="checkbox"/>
⑥第三者非破壊検査	<input type="checkbox"/>	②含水率測定状況	<input type="checkbox"/>
⑦製品検査	<input type="checkbox"/>	③木材の仕上がり及び納り状況	<input type="checkbox"/>
⑧アンカボルトの材料長さ、セット状況	<input type="checkbox"/>	④防蟻、防腐処理	<input type="checkbox"/>
⑨ベースモルタル施工	<input type="checkbox"/>	⑤床組、軸組、天井組	<input type="checkbox"/>
⑩現場材料搬入	<input type="checkbox"/>	13. 屋根及びとい工事	
⑪現場施工（建方）	<input type="checkbox"/>	①といの材質、規格	<input type="checkbox"/>
⑫錆止め塗装補修	<input type="checkbox"/>	②屋根材の材質・施工	<input type="checkbox"/>
⑬耐火被覆材料、施工	<input type="checkbox"/>	③屋根下地及び下葺材	<input type="checkbox"/>
⑭梁ボルト接合時のトルクマーキング	<input type="checkbox"/>		

14. 金属工事		20. 内装工事	
①LGS材料、寸法	<input type="checkbox"/>	①材料の材質、形状、寸法	<input type="checkbox"/>
②LGS施工状況	<input type="checkbox"/>	②下地状況	<input type="checkbox"/>
③アルミ笠木材料、施工	<input type="checkbox"/>	③接着剤の材質、規格（防カビ等）	<input type="checkbox"/>
④手すり材料、施工	<input type="checkbox"/>	④2枚重ね等の場合の施工状況	<input type="checkbox"/>
⑤タラップ材料、施工	<input type="checkbox"/>	⑤防虫処理施工状況	<input type="checkbox"/>
⑥溶接ヶ所目視検査状況	<input type="checkbox"/>	⑥断熱検査状況	<input type="checkbox"/>
⑦防錆処理状況	<input type="checkbox"/>		
15. 左官工事		21. 雑工事	
①材料	<input type="checkbox"/>	①排水管、排水溝の延長、寸法、 勾配の確認	<input type="checkbox"/>
②各部工法、施工状況	<input type="checkbox"/>	②家具の寸法、取付	<input type="checkbox"/>
③塗厚、塗回数の確認	<input type="checkbox"/>		
④施工後測定状況	<input type="checkbox"/>	22. 屋外附帯工事	
⑤施工後補修状況	<input type="checkbox"/>	①排水溜桝の寸法、仕上	<input type="checkbox"/>
		②流末処理	<input type="checkbox"/>
16. 建具工事		③擁壁の寸法、延長、裏込コンク リート	<input type="checkbox"/>
①建具材料及び寸法確認	<input type="checkbox"/>	④フェンスの種別、寸法、養生、 支柱	<input type="checkbox"/>
②建具アンカーの施工	<input type="checkbox"/>	⑤植樹の厚さ、面積の確認	<input type="checkbox"/>
③フラッシュ戸中骨の確認	<input type="checkbox"/>	⑥砂利敷の厚さ、面積の確認	<input type="checkbox"/>
④自動ドア開閉装置の性能試験	<input type="checkbox"/>	⑦アスファルト・コンクリート舗装 の各施工段階	<input type="checkbox"/>
		⑧アスファルト・コンクリート舗装 の切取り検査	<input type="checkbox"/>
17. 硝子工事			
①材料、施工状況	<input type="checkbox"/>		
②バックアップ材施工状況	<input type="checkbox"/>		
③シーリング材施工状況	<input type="checkbox"/>		
18. カーテンウォール工事			
①材料、形状、寸法	<input type="checkbox"/>		
②部材取付け、施工	<input type="checkbox"/>		
③養生	<input type="checkbox"/>		
19. 塗装工事			
①材料の規格	<input type="checkbox"/>		
②素地ごしらえ状況	<input type="checkbox"/>		
③各工程毎施工状況（3回塗り色分 け部分）	<input type="checkbox"/>		
④乾燥期間管理状況	<input type="checkbox"/>		

<p>23. 電気工事</p> <p>①スリーブ貫通部分及び補強筋 <input type="checkbox"/></p> <p>②地中埋設管及び地中梁貫通部分の保護 <input type="checkbox"/></p> <p>③床スラブ、天井スラブ配管 <input type="checkbox"/></p> <p>④スイッチ、コンセントの立下げ、立上げ配管 <input type="checkbox"/></p> <p>⑤ボックス類の位置及び取付方法 <input type="checkbox"/></p> <p>⑥接地工事 <input type="checkbox"/></p> <p>⑦インサート、補強金物（吊ボルト、パイラック、ダフター等） <input type="checkbox"/></p> <p>⑧建柱、及び建柱作業 <input type="checkbox"/></p> <p>⑨ハンドホール施工、配管用スリーブ、防水処理 <input type="checkbox"/></p> <p>⑩アンカーボルト類の支持点の溶接及び結束 <input type="checkbox"/></p> <p>⑪盤類の箱抜き、鉄筋補強、モルタル補修 <input type="checkbox"/></p> <p>⑫防水処理及びコーキング充填作業 <input type="checkbox"/></p> <p>⑬天井裏隠ぺい配管配線ボックス <input type="checkbox"/></p> <p>⑭配管ボックスの塗装、塗装材 <input type="checkbox"/></p> <p>⑮各種測定（接地、絶縁、耐圧、照度、音響、火報他） <input type="checkbox"/></p> <p>⑯各種器具、機器の取付写真 <input type="checkbox"/></p>	<p>⑧エキスパンション廻りの伸縮継手 <input type="checkbox"/></p> <p>⑨汚水マス、排水マスの勾配算出、納め、仕上（番号を全て書き） <input type="checkbox"/></p> <p>⑩各配管の防露及び塗装 <input type="checkbox"/></p> <p>⑪揚水試験（ポンプ室及び高架水槽） <input type="checkbox"/></p> <p>⑫消火ポンプ試験、最遠部の放水圧の測定 <input type="checkbox"/></p> <p>⑬水圧、気密、漏洩テスト（実施ヶ所毎） <input type="checkbox"/></p> <p>⑭プロパンガス集合装置 <input type="checkbox"/></p> <p>⑮材料搬入及び梱包時、荷解き時 <input type="checkbox"/></p> <p>⑯機器及び器具の取付写真（清掃の上） <input type="checkbox"/></p> <p>⑰屋外汚水管路（勾配の判るもの） <input type="checkbox"/></p> <p>⑱屋外の埋設バルブ、メーター、将来用の盲止め位置（目安になる寸法記入） <input type="checkbox"/></p> <p>⑲配管内加圧清掃状況 <input type="checkbox"/></p>
<p>24. 給排水衛生設備工事</p> <p>①スリーブ貫通部及び補強筋、インサート及び芯出し <input type="checkbox"/></p> <p>②地中埋設管及び地中梁貫通部の保護（管枕及び砂締め） <input type="checkbox"/></p> <p>③壁埋め込み、天井吊、床転し、土間、屋上（防水処理）、P. S. 配管 <input type="checkbox"/></p> <p>④器具の取付位置、高さ、据付、固定方法の判るもの <input type="checkbox"/></p> <p>⑤器具の養生状況 <input type="checkbox"/></p> <p>⑥水槽、ポンプ、ボイラー、煙突の搬入据付 <input type="checkbox"/></p> <p>⑦浄化槽、三次処理装置、排水ピットの基礎コンクリート据付 <input type="checkbox"/></p>	<p>25. 空気調和設備</p> <p>①スリーブ貫通部及び補強筋、インサート及び芯出し <input type="checkbox"/></p> <p>②地中埋設管及び地中梁貫通部分の保護 <input type="checkbox"/></p> <p>③壁埋込み、天井吊、床転し、土間屋上（汚水処理）、P. S. 配管 <input type="checkbox"/></p> <p>④機器、器具の取付位置、高さ、据付、固定方法の判るもの <input type="checkbox"/></p> <p>⑤機器類の搬入据付 <input type="checkbox"/></p> <p>⑥各配管ダクトの防露及び塗装 <input type="checkbox"/></p> <p>⑦水圧、気密、漏洩テスト（実施ヶ所毎） <input type="checkbox"/></p> <p>⑧機器及び器具の取付 <input type="checkbox"/></p> <p>⑨材料搬入及び荷解き時 <input type="checkbox"/></p>

手直し工事完了報告書	文書番号	TY-18-C7
	主幹部署	設計室

年 月 日

工事名： _____

上記、工事について指示を受けたものに対し、下記のとおり処置致しましたので報告致します。

指 示 を 受 け た 日	年 月 日	監理者
指 示 事 項	処 置 要 領	確 認

請負業者名

現場代理人

⑩

文書番号

TY-18-C8

主管部署

技術管理室

現場自主検査チェックシート

工事名： _____

工期： _____ 年 月 日 ~ _____ 年 月 日

設計監理：  株式会社 **東条設計**

担当者：

施工会社：

担当者：

項 目	チ ェ ッ ク 内 容	備 考
3. 土工事	<input type="checkbox"/> 以下図書の確認。 <input type="checkbox"/> 土止め施工計画書（排水計画を含む） <input type="checkbox"/> 地中埋設物の処理方法の確認。 <input type="checkbox"/> 根切り時の法面養生の確認。 <input type="checkbox"/> 地下水位の確認をし、排水の必要性の確認。 <input type="checkbox"/> 型枠、木矢板の除去の確認。 不可能な場合は、防虫・防蟻処理、状況写真の確認。 <input type="checkbox"/> 埋め戻し土の仕様を設計図書により確認。 <input type="checkbox"/> 土壌処理の確認。（処理範囲、薬剤、噴霧状況等）	 ※防虫処理済みの スタイロフォーム あり。
4. 地業工事	<input type="checkbox"/> 以下図書の確認。 <input type="checkbox"/> 土工事施工計画書 <input type="checkbox"/> 杭工事施工計画書 <input type="checkbox"/> ボーリングが本工事の場合や認定工法等の採用で杭が変更された場合、杭の設計変更合意書は施工前に確認。 <input type="checkbox"/> 支持層が岩・れきの場合の試験杭による杭長決定は、設計変更とし、設計変更合意書は施工前に確認。 <input type="checkbox"/> 現場打杭のコンクリート受け入れ検査は、コンクリート工事による <input type="checkbox"/> ポリフィルムを重ねしろの確認。	
5. 鉄筋工事	<input type="checkbox"/> 以下図書の確認。 <input type="checkbox"/> 鉄筋工事施工計画書 <input type="checkbox"/> 鉄筋圧接施工計画書 <input type="checkbox"/> 配筋検査前にチェックシートによる自主検査の確認。 <input type="checkbox"/> かぶり厚は、設計図書のとおり計画されているか確認。 <input type="checkbox"/> 鉄筋本数ピッチの確認。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の結束線は内側に折り曲げてあるか確認。 <input type="checkbox"/> 設備スリーブ等、配筋に問題ないか。（計画書提出） <input type="checkbox"/> 型枠内の清掃はされているか確認。 （ドーナツ・サイコロ・ゴミ等落ちていないか） <input type="checkbox"/> サッシュだき部分に配筋されているか <input type="checkbox"/> バルコニースラブ先端に配筋されているか。	
□①. 基礎	<input type="checkbox"/> ベース筋は端部フック付きとなっているか確認。 <input type="checkbox"/> 杭基礎の場合のかぶりは、杭天端からになっているか確認。 <input type="checkbox"/> はかま筋のかぶり厚 7 0 mm	

項 目	チ ェ ッ ク 内 容	備 考
□②. 柱	<input type="checkbox"/> コーナー柱の外部側かぶり厚の確認。 <input type="checkbox"/> 第1フープ忘れがないか確認。 <input type="checkbox"/> フープ結束線かぶり厚不足確認 <input type="checkbox"/> 柱主筋のXY方向の間違いないか確認。 <input type="checkbox"/> 主筋の継手位置の確認。 <input type="checkbox"/> 束ね筋のあきが大きい(1.5d) <input type="checkbox"/> 主筋が重ね継手の場合の出隅部はフック付きの確認。 <input type="checkbox"/> 柱頭主筋の定着不足(3.5dまたは2.5dフック付)がないか確認 <input type="checkbox"/> 電気CD管と柱主筋のあき不足(本数確認必要)がないか確認。 <input type="checkbox"/> 主筋の増筋がある場合の本数不足がないか確認。 <input type="checkbox"/> 差し筋主筋の定着不足がないか確認。 <input type="checkbox"/> 副フープのXY間違い、抜けがないか確認。 <input type="checkbox"/> 鉄骨造の台柱かぶり厚不足(型枠寸法再確認のこと)がないか確認	
□③. 梁及び地中梁、小梁及び片持梁	<input type="checkbox"/> 地中梁のかぶり厚50mm不足(特に下筋は注意)がないか確認。 <input type="checkbox"/> スターラップのフックの位置(スラブ有無と逆ばり注意)の確認。 <input type="checkbox"/> 主筋の継手位置の確認。 <input type="checkbox"/> 主筋の本数不足(自主検査にて確認すること)の確認。 <input type="checkbox"/> 主筋が重ね継手の場合の出隅部はフック付きの確認。 <input type="checkbox"/> 2段筋のあきが大きい(1.5d) <input type="checkbox"/> 副あばら筋の抜けがないか確認。 <input type="checkbox"/> 大梁と小梁の取り合い部のスターラップの抜けがないか確認 <input type="checkbox"/> 梁貫通孔の位置(事前確認必要)の確認。 <input type="checkbox"/> スリーブ補強筋周りのスターラップ乱れがないか確認。 <input type="checkbox"/> スリーブ補強のかぶり不足(特に下側)がないか確認。 <input type="checkbox"/> 電気CD管と梁主筋のあき不足(本数確認必要)がないか確認。 <input type="checkbox"/> 最上階の片持梁の柱内アンカー不足がないか確認。 (上端筋は半数以上、かつ2本以上をアンカーする) <input type="checkbox"/> 最上階大梁の柱内アンカー不足がないか確認。 (上端筋は折り曲げからL1とする)	
□④. 壁	<input type="checkbox"/> 結束線のかぶり厚不足(特に手すりは注意)がないか確認。 <input type="checkbox"/> 横筋の柱内定着不足がないか確認。 <input type="checkbox"/> 縦筋のスラブ内アンカー忘れがないか確認。 <input type="checkbox"/> スリーブ補強筋周りの配筋の乱れがないか確認。	※各階 片壁の型枠が立て込まれた時点でスペーサーの配置がわかるよう写真撮影

項 目	チ ェ ッ ク 内 容	備 考
<p>□⑤. スラブ</p>	<p>□電気CD管と型枠のかぶり不足がないか確認。</p> <p>□開口補強筋の本数間違いがないか確認。</p> <p>□外部側の開口補強筋ワイヤーメッシュのかぶり不足がないか確認。</p> <p>□誘発目地の計画（特に手すりは注意がないか確認。）</p> <p>□構造スリットの仕様確認。</p> <p>□スラブ立ち上がり差し筋忘がないか確認。</p> <p>□結束線のかぶり厚不足（特に下端筋は注意）がないか確認。</p> <p>□スラブ筋のかぶり厚不足（スペーサあるか、結束よいか）がないか確認。</p> <p>□スラブ厚の違いを考慮したスペーサを使用すること。</p> <p>□スリーブ補強筋周りの配筋の乱れ（無理に曲げていないか）がないか確認。</p> <p>□電気CD管と型枠のかぶり不足がないか確認。</p> <p>□電気CD管のあき不足（コンクリート充填できるか）がないか確認。</p> <p>□スラブ段差補強筋のかぶり厚不足がないか確認。（スペーサあるか、結束よいか）</p> <p>□階段いなずま筋のかぶり厚不足がないか確認。</p> <p>□片持ちスラブの主筋は梁中心線を越えて定着とすること。</p> <p>□片持ちスラブの主筋の先端かぶり厚不足がないか確認。</p> <p>□片持ちスラブ厚違いを考慮したスペーサを使用すること。</p> <p>□片持ちスラブ出隅補強は成されているか確認。</p> <p>□片持ちスラブ部避難ハッチ開口の補強筋の乱れがないか確認。</p> <p>□屋根スラブ出隅・入隅補強筋の忘れ（位置の確認必要）がないか確認。</p>	
<p>6. 型枠工事</p>	<p>□下記図書を確認 □型枠工事施工計画書</p>	
<p>7. コンクリート工事</p>	<p>□下記図書を確認 □コンクリート打設計画書 □コンクリート配合計画書</p> <p>□プラントの場所の確認。 （打設時間に問題はないか）</p> <p>□TY-18の内容の確認。</p> <p>□配筋検査時に打設計画書の確認。</p> <p>□誘発目地等は設計図書のとおりになっているか。 （土間・廊下・手摺・外壁位置の確認）</p> <p>□打設継ぎ部の処理の確認。 （面荒し、清掃、レイトランス等の除去）</p> <p>□コンクリートジャンカ・コールドジョイントの補修は、上棟式までに行う。</p>	<p>※打設時間記録書は後日提出となる。</p> <p>クラックタイト目地</p>

項 目	チ ェ ッ ク 内 容	備 考
8. 鉄骨工事	<input type="checkbox"/> 主要構造部の補修は、強度のある材料としたか。(備考) <input type="checkbox"/> 土間の目地の確認。 <input type="checkbox"/> 下記図書の確認 <input type="checkbox"/> 鉄骨製作要領書 <input type="checkbox"/> 鉄骨建て方施工計画書 <input type="checkbox"/> 製品検査日の日程調整を構造担当者で行なう。 <input type="checkbox"/> 鉄骨加工工事における提出書類・試験・検査チェックシート (TY-23) の記入が工程に合わせてなされているか。 <input type="checkbox"/> 亜鉛メッキの範囲の確認。(受け材等) <input type="checkbox"/> 切断面の防錆処理の確認。 (亜鉛メッキ等にて) <input type="checkbox"/> 錆止めの補修の確認。 <input type="checkbox"/> ロックウール吹き付け部の錆除去の確認。	材料：生コン又は、 無収縮モルタル
9. コンクリート ブロック・A LC・成形板 工事	<input type="checkbox"/> 下記図書の確認 <input type="checkbox"/> ALC版施工計画書 <input type="checkbox"/> PC版製作、施工計画書 <input type="checkbox"/> 押出し成形版施工計画書 目地幅縦8mm、横15mm以上の確認 縦張りの場合上下の水切り金物仕様確認	※上棟時まで に 終了させる
10. 防水工事	<input type="checkbox"/> ALC等施工口により割付窓・キャップ位置等の確認。 <input type="checkbox"/> 下記図書の確認 <input type="checkbox"/> 防水工事施工計画書 (アスファルト、シート、塗膜、シール) <input type="checkbox"/> デッキプレートの場合は、シート防水脱気工法となっているか確認。 (※デッキの場合は、上部にしか水分はでない) <input type="checkbox"/> 脱気部分の取り付け位置の確認。 <input type="checkbox"/> メーカーに確認。 <input type="checkbox"/> 防水仕様及び範囲の確認。 <input type="checkbox"/> メーカーに確認。 <input type="checkbox"/> パックアップ材の2面接着の確認。 <input type="checkbox"/> 水勾配の確認。 <input type="checkbox"/> 防水ヶ所は仕上げ工事前に24時間以上の水張り試験を実施、確認 <input type="checkbox"/> 浴室の水勾配は出入り口の逆方向になっているか確認。 (バリアフリー仕様による出入り口の排水はあくまでも補助) <input type="checkbox"/> 浴場・プール等水張り部分は、躯体時と防水施工時にそれぞれ48時間の水張り試験を実施する。	
11. 石工事	<input type="checkbox"/> 下記図書の確認 <input type="checkbox"/> 石工事施工計画書 <input type="checkbox"/> 割付はきれいに収まっているか確認。 (浴室のシャワー水栓・手摺りモコン等によってはそこで一本目地が入ってしまう) <input type="checkbox"/> 汚確認めれ石など汚れやすい場所は、汚れが目立たない色となっているか。 <input type="checkbox"/> 裏面の撥水処理はしてあるか確認。	

項 目	チ ェ ッ ク 内 容	備 考
12. タイル工事	<input type="checkbox"/> 雨掛部など（滑りやすいカ所）の床仕上げの選定に問題はないか。 <input type="checkbox"/> 下記図書の確認 <input type="checkbox"/> タイル工事施工計画書 <input type="checkbox"/> 色については、現在あるもので決定すること。 <input type="checkbox"/> 市内に建築されている建物を通じて施主に確認。 （イメージ確認） <input type="checkbox"/> タイル割付図による確認。 <input type="checkbox"/> タイル引張試験による確認。	
13. 木工事	<input type="checkbox"/> 下記図書の確認 <input type="checkbox"/> 木工事施工計画書 <input type="checkbox"/> 含水率の検査結果の確認。 （黒カビの発生もあるので十分注意が必要） <input type="checkbox"/> サッシの下額縁など漏れやすい・汚れやすい場所の対策。 <input type="checkbox"/> 和室造作材の色目（赤目）の継ぎ目対策は問題ないか。 （集成材によることも可：ばらつき等の配慮） <input type="checkbox"/> バックアップ材の2面接着は確実にこなう事。 <input type="checkbox"/> 施主に板目・正目の確認を行なう。 <input type="checkbox"/> 床部材、原木確認を施主立会にて確認。 <input type="checkbox"/> けた、梁のサイズを現地確認にて確認。 <input type="checkbox"/> 防蟻処理範囲及び仕様書を確認。 <input type="checkbox"/> 化粧材に傷をつけないよう養生シートは徹底すること。 <input type="checkbox"/> 補強金物は、公庫仕様同等以上とすること。 <input type="checkbox"/> 死フシ等ひどい粗悪品使用しない。 <input type="checkbox"/> 畳寄せはH30とすること <input type="checkbox"/> 和室の仕上に使用する木材は、材種、色、木目を合わせる事	※コーナー部の納まりに注意 ※石貼・カルチャーブリック含む
14. 屋根及び樋工事	<input type="checkbox"/> 色については現存するものをベースに決定。 <input type="checkbox"/> 市内に建築されている建物を通じて施主に確認を行なう。 （イメージ確認が必要） <input type="checkbox"/> 樋のメンテは問題ないか確認。（内樋等） <input type="checkbox"/> 樋のルートは、最短距離となるようにする。 <input type="checkbox"/> 樋下タイルは張ってあるか。 <input type="checkbox"/> 克灰→笠木、バラペットの水勾配はディテール図以上にする。 <input type="checkbox"/> 雨漏れ→鉄板葺き(水切りは、十分確保すること。) <input type="checkbox"/> 設備管他のOP塗装は行なわない。（剥がれの問題） <input type="checkbox"/> 屋上、バルコニー等は、躯体時と防水施工時にそれぞれ48時間の水張り試験を実施する。	※駐車場等、場所によりステン管がよい所もある。

項 目	チ ェ ッ ク 内 容	備 考
15. 金属工事	<input type="checkbox"/> 管径及び材質について再確認。 <input type="checkbox"/> 樋のつかみ金物はステンレス製。 樋のつかみ金物の取り付けピッチは確認。 <input type="checkbox"/> 折板葺きの場合軒先の鼻隠しには、水抜孔を設けているか。 <input type="checkbox"/> 設備に至るまで全てステンレス又は、亜鉛メッキ以上。 <input type="checkbox"/> ステンレス使用カ所のもらいサビの処理を行なう事。 <input type="checkbox"/> SUS304（たまにSUS430）の確認 <input type="checkbox"/> ビスもみした場合の下地鉄部の防錆処理はおこなっているか。 <input type="checkbox"/> 鉄クズ等が出た場合は速やかに掃除し、もらいサビの原因を未然処理すること。	
16. 左官工事	<input type="checkbox"/> 下記図書の確認 <input type="checkbox"/> 左官工事施工計画書 <input type="checkbox"/> Vカット目地切の確認。 <input type="checkbox"/> 浴室の水勾配は出入り口の逆方向になっていないか確認。 （バリアフリー仕様による出入り口の排水はあくまでも補助）	
17. 建具工事	<input type="checkbox"/> 下記図書の確認 <input type="checkbox"/> 金属、木製建具工事施工計画書 <input type="checkbox"/> 硝子の区分け一覧、現場へ作成依頼し、施主の承認をもらう事。 <input type="checkbox"/> サッシの納期確認したか。 （特注色のフッ素樹脂焼き付けは時間が必要。） カットサンプルによる施主確認したか。 <input type="checkbox"/> 施工図及び現地にてH・W・形状・開き・引き方向・施錠位置・ノブ高さを施主再確認。 <input type="checkbox"/> 吸気対策（ガラリアンダーカット・塩ビ口）は問題ないか。 <input type="checkbox"/> 硝子の透明・不透明は、室用途に応じて決定されているか。 上棟式後に現場にて施主立会で確認すること。 （風景・便所などに注意） <input type="checkbox"/> サッシビスは締めすぎないように指示したか。 <input type="checkbox"/> サッシ無目に水抜孔が有るか、また検討をしたか。 <input type="checkbox"/> 電動シャッターボックスにチェーン又は手動ハンドルは内蔵されているか。 <input type="checkbox"/> 衝突防止マークは目立つ物としたか <input type="checkbox"/> サッシュ廻りモルタル詰め後に散水試験を実施したか <input type="checkbox"/> 鍵の高さは車椅子利用者の配慮をする場合、適切な高さとしたか。	
18. 塗装工事	<input type="checkbox"/> 下記図書の確認 <input type="checkbox"/> 塗装工事施工計画書 <input type="checkbox"/> ペンキ塗装2回塗りの確認。 <input type="checkbox"/> 木部のOS等浸透する材料は色ムラに注意すること。 <input type="checkbox"/> 色については、現在あるものをベースに決定。（外部・内部） <input type="checkbox"/> 軒天は色味が暗くないか（明るめに決める）	※工事写真に各回数 毎に色を変えて撮 影。 手摺り、ペーパーホルダー

項 目	チ ェ ッ ク 内 容	備 考
19. 内装工事	<p><input type="checkbox"/>材料見本作成依頼の時、ツヤ（ツヤ有り・5分ヅヤ・ツヤ消し等）粒の大きさ（吹付タイル等）まで確認。</p> <p><input type="checkbox"/>下記図書の確認 <input type="checkbox"/>内装仕上工事施工計画書 <input type="checkbox"/>下地は十分な乾燥期間があるか確認。工期が厳しい場合はフィルム施工のクロスはふくれの原因となるので使用しない。</p> <p><input type="checkbox"/>外壁など市内に建築されている建物を通じて施主に確認。 （イメージ確認）</p> <p><input type="checkbox"/>内部の仕上げは、備品等のレイアウト等問題ないか。 （備品等で隠れる部分注意：使用者の視点で現地にて現物で確認）</p> <p><input type="checkbox"/>クロス・継ぎ目処理の確認。（生地の厚みにより決定）</p> <p><input type="checkbox"/>フローリング張りの場合の浮き・きしみがどうか確認。</p> <p><input type="checkbox"/>巾木の浮き、傷はないか確認。</p> <p><input type="checkbox"/>壁・天井同柄の場合は、目透かしは行なわない。</p> <p><input type="checkbox"/>和式便所に手摺り設置されているか確認。</p> <p><input type="checkbox"/>出隅、家具の角等は全て面取りされているか（安全を最優先）確認。</p> <p><input type="checkbox"/>内装の色合い、テクスチャー、模様、テキスタイル、指定品番に問題ないか確認。</p> <p><input type="checkbox"/>掃除具入れ等きたない部分は見せない工夫されているか確認。</p> <p><input type="checkbox"/>床直押えの場合、壁とのとりあい部分に不陸ないか確認。</p> <p><input type="checkbox"/>側溝の勾配は、1／100以上とれているか確認。 （水たまりを作らない：支障ない範囲で最大限勾配とる）</p> <p><input type="checkbox"/>ホルムアルデヒド測定を行ったか確認。 （可能な限り換気の期間をとって検査する事。引渡しに結果が間に合わない場合は、その旨説明する事。）</p> <p><input type="checkbox"/>柄入りクロスの継ぎ目の処理方法の確認。 <input type="checkbox"/>クロス張りにムラがないか確認。</p> <p><input type="checkbox"/>カーテン形状は、腰窓の場合、カーテンホルダー等を用いて束ねる時、束ねた状態での長さを考慮して丈を決定したか。</p> <p><input type="checkbox"/>カウンターと手洗いボールとの間にコーキングされているか。</p> <p><input type="checkbox"/>天井収納はしご枠等天井材と同一色か確認（枠色目立たないようにする）</p> <p><input type="checkbox"/>壁・天井クロス部分の廻り縁は使用しない。</p> <p><input type="checkbox"/>造作家具で引出し・中仕切を設ける場合、引き残し考慮の上決定。 （引き残しの部分、使いづらくないか）</p> <p><input type="checkbox"/>床パターン決定時に、備品レイアウト考慮の上決定。</p> <p><input type="checkbox"/>間接照明を使用する天井の仕上材は映り込みしない材料を選定する。（木目クロス等は注意する）</p> <p><input type="checkbox"/>X線室等、裸になる（服を脱ぐ）場所の色は、暖色系にする。</p> <p><input type="checkbox"/>壁の目透し張りの場合にビニール巾木は採用せず出巾木とする。</p> <p><input type="checkbox"/>梁型の仕上を木調クロスにした場合、天井も木調クロスを使用する。</p> <p><input type="checkbox"/>石膏ボードの表面紙が濡れてないか確認。（濡れている場合は、乾燥するまで施工中止、乾燥後不陸がある場合は取替え）</p>	

項 目	チ ェ ッ ク 内 容	備 考
20. 外構工事	<input type="checkbox"/> 下記図書の確認 <input type="checkbox"/> 外構工事施工計画書（植栽工事） <input type="checkbox"/> グレーチング・コンクリート落とし蓋の区分けは、施主に再確認（車・車椅子の通り道・メンテの問題など） <input type="checkbox"/> 植栽の確認。 <input type="checkbox"/> レベルの確認。 <input type="checkbox"/> コンクリート樹は、車の行き来などがなく荷重がかからないのであればプラスチック製柵が良い。 <input type="checkbox"/> 最終放流先の確認。 <input type="checkbox"/> 敷地内の雨水が隣地へ行くことがないよう確認。 <input type="checkbox"/> 防火区画貫通処理は適切か確認。（縦穴区画、114条区画、令8区画等） <input type="checkbox"/> 水溜まりの可能性のあるヶ所に水抜孔を設けたか（例：大型門扉引戸レール）	
21. その他工事	<input type="checkbox"/> キーシステム <input type="checkbox"/> 耐火被服施工計画書 <input type="checkbox"/> 断熱材吹付計画書 <input type="checkbox"/> 昇降設備施工計画書 <input type="checkbox"/> タオル掛け、ペーパーホルダー等は現場にて取付位置確認したか。 <input type="checkbox"/> EV押しボタンの配置について2列になる場合も下階から順に下から配置したか。 <input type="checkbox"/> ガラスに、貼ってある「省エネ」シールは不要。 <input type="checkbox"/> LGS吊りボルトのピッチ確認。 <input type="checkbox"/> 天井裏LGS下地の錆止め塗装部分完了状況確認。 <input type="checkbox"/> シーリング3面接着部分完了状況確認。 <input type="checkbox"/> 現場ノートのチェック欄は必ず記入すること。 <input type="checkbox"/> 棚板奥は20～30mm程度のゴミ落とし用の隙間をとってあるか。 <input type="checkbox"/> ファイヤータイト、不燃シート、強化ガラス等の表示シールは貼られているか。 <input type="checkbox"/> 新築、改修共に外部足場解体前に、構造担当者（ビルディングDr）の検査をし、オーナーへ報告する。 <input type="checkbox"/> 外部足場解体前に、外部金属がステンレスを使用しているか確認。 <input type="checkbox"/> 下記、備品ほかの取付位置確認。 <input type="checkbox"/> 床掃除口 <input type="checkbox"/> 床下点検口 <input type="checkbox"/> 天井点検口 <input type="checkbox"/> ピクチャーレール <input type="checkbox"/> ペーパーホルダー <input type="checkbox"/> タオル掛け <input type="checkbox"/> ウォッシュレットリモコン <input type="checkbox"/> ナースコール <input type="checkbox"/> エアコンリモコン <input type="checkbox"/> 照明用リモコン <input type="checkbox"/> 掲示板 <input type="checkbox"/> サイン <input type="checkbox"/> 定礎板 <input type="checkbox"/> 物干し金物 <input type="checkbox"/> 旗竿金物 <input type="checkbox"/> 郵便受け <input type="checkbox"/> ブラインド・ロールカーテン操作紐 <input type="checkbox"/> 消火器	

項 目	チ ェ ッ ク 内 容	備 考
22. 電気設備工事	<input type="checkbox"/> 下記図書の確認 <input type="checkbox"/> 総合仮設施工計画書 <input type="checkbox"/> 配管、配線施工要領書 <input type="checkbox"/> 受変電、発電機要領検討書 <input type="checkbox"/> 各種機器性能検討書 <input type="checkbox"/> 照度分布検討書 <input type="checkbox"/> 弱電 各種設備システム検討書 <input type="checkbox"/> 各種機器性能検討書 <input type="checkbox"/> 防火区画貫通処理は適切か確認。 <input type="checkbox"/> ケーブルがダクト等と接触していないか確認。 (ケーブルの支持は適切か。) <input type="checkbox"/> 外壁打ち込みBOXは結露対策(塩ビ製)がなされているか確認。 <input type="checkbox"/> コンセント・弱電(TV・TEL等)共用BOXはセパレーターがあるか確認。 <input type="checkbox"/> 天井点検口取り付け位置上部にケーブル等はないか確認。 <input type="checkbox"/> 浴室(在来工法)天井内の区画はなされているか確認。(湯気等が他の居室に影響しないか。) <input type="checkbox"/> 外壁取付機器用BOX、配管類にはシーリング処理がなされているか確認。 <input type="checkbox"/> 総合プロット図とヒヤリングプロット図を照らし合わせながら施工説明をしたか。 <input type="checkbox"/> 構造フレーム内に配線を行わない。 (増し打ちをしてその中に配線する) ・区画から離れていないか。 ・取り付け忘れはないか。 ・内部取り付けタイプはヒューズ部、ビス、復帰レバーが下部にないか。(漏水の原因) <input type="checkbox"/> 改築で取り外す機器が発生した場合、オーナー確認の上撤去したか。 <input type="checkbox"/> 化粧鏡前の照明は、影にならない位置で考慮されているか。	
23. 給排水設備工事	<input type="checkbox"/> 電話の引込時期の確認、電話帳掲載の有無確認(翌年の掲載が可能かN T Tへ確認) <input type="checkbox"/> 下記図書の確認 <input type="checkbox"/> 総合仮設施工計画書 <input type="checkbox"/> 配管工事施工計画書 <input type="checkbox"/> ポンプ揚程検討書 <input type="checkbox"/> 各種水槽要領検討書 <input type="checkbox"/> 各種機器性能検討書 <input type="checkbox"/> 散水栓ボックスに水抜孔は設けているか。	
24. 空調設備工事	<input type="checkbox"/> 下記図書の確認 <input type="checkbox"/> 総合仮設施工計画書 <input type="checkbox"/> ダクト工事製作、施工計画書 <input type="checkbox"/> 配管工事施工計画書 <input type="checkbox"/> 空調機器容量検討書 <input type="checkbox"/> 自動制御要領書 <input type="checkbox"/> 石綿二層管(トミジ管)の目地は詰めてあるか確認。	

項 目	チ ェ ッ ク 内 容	備 考
	<p><input type="checkbox"/>浴室（在来工法）の天井内に配管等はないか、区画はされているか確認。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天井内配管の保温に防湿シート等で透湿対策は施されているか。 ・貫通箇所²の埋め戻し適切か。（不要スリーブ、隙間はないか。） ・P S部分の塞ぎは完全か。 <p><input type="checkbox"/>配管、ダクトの支持及び間隔等は適切か確認。 （振れ、動きはないか。）</p> <p><input type="checkbox"/>外壁貫通配管、冷媒管の雨じまいは完全か確認。</p> <p><input type="checkbox"/>給気ダクトの保温は施工されているか確認。</p> <p><input type="checkbox"/>天井点検口取り付け位置上部にダクト、配管、冷媒管等はないか確認。</p> <p><input type="checkbox"/>総合プロット図内には掃除口、排水目皿等記入されているか。取付位置の整合性は良いか確認。</p> <p><input type="checkbox"/>ダクトのつぶれ、吊りボルト、配管、ケーブルとの接触はないか確認。</p> <p><input type="checkbox"/>冷媒被服銅管にテープにて制御線を支持している箇所は締めすぎているか確認。</p> <p><input type="checkbox"/>汚水・雑排水、管径100φ以上勾配1/100以上、100φ以下は管径勾配（1/管径）以上とする事。</p> <p><input type="checkbox"/> 台所レンジフードファンの保温は施工されているか確認。</p> <p><input type="checkbox"/> 将来用クーラースリーブは取り付け可能な天井面から450以上下げて設置したか（梁型等要注意）</p>	

メンテナンスフリー項目実施確認書

文書番号

TY-18-D2

主管部署

設計室

※各項目に該当する工事を行う場合は週間工程表に明記し、適合していることが分かる写真を提出すること

番号	項目	図面 番号	提出予定日			監理印	現場印
①							
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
⑭							
⑮							
⑯							
⑰							
⑱							
⑲							
⑳							
㉑							
㉒							
㉓							
㉔							

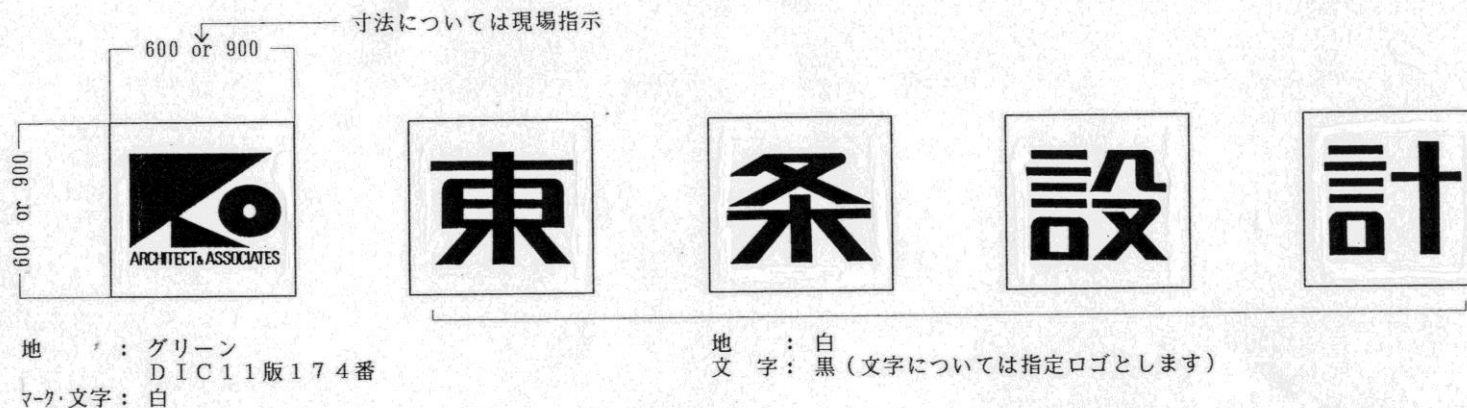
番号	項目	図面 番号	提出予定日			監理印	現場印
②5							
②6							
②7							
②8							
②9							
③0							
③1							
③2							
③3							
③4							
③5							
③6							
③7							
③8							
③9							
④0							
④1							
④2							
④3							
④4							
④5							
④6							
④7							
④8							
④9							
⑤0							

工 事 用 看 板 作 成 要 領

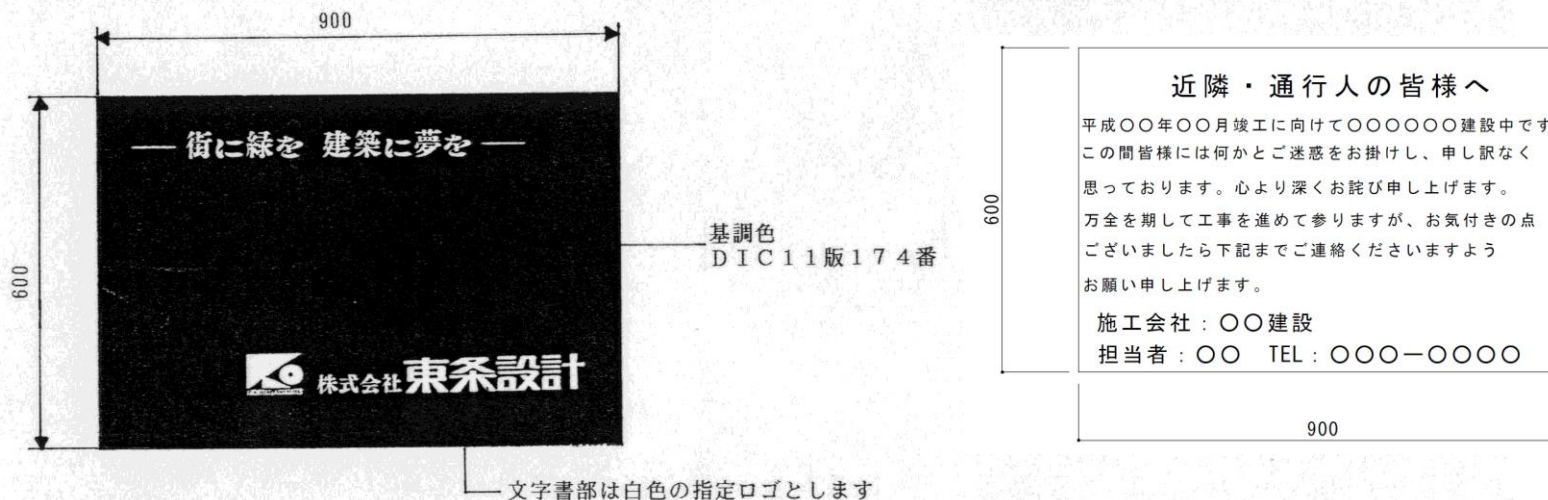
文書番号	TY-18-DA1
主管部署	設計室

1. 原則としてA、B仕様各看板と工事名称・建築業者名看板、近隣・通行人の皆様へ看板を提示して下さい。
A仕様の看板は、外部足場に工事名称・設計事務所名・建築業者名を3段にして同一寸法にて掲載して下さい。
(シート看板にて掲示する場合は、現場状況により打合せの上、形状を決定致します。)
2. 文字看板の大きさ・取付位置・個数については、現場状況により決定します。
3. 製作者は、ブンカ巧芸社 (TEL 099-295-4700) とします。
4. 施設のオープン日や仮施設の地図看板等も本工事に含みます。(監督員に確認のこと)

◆ A仕様



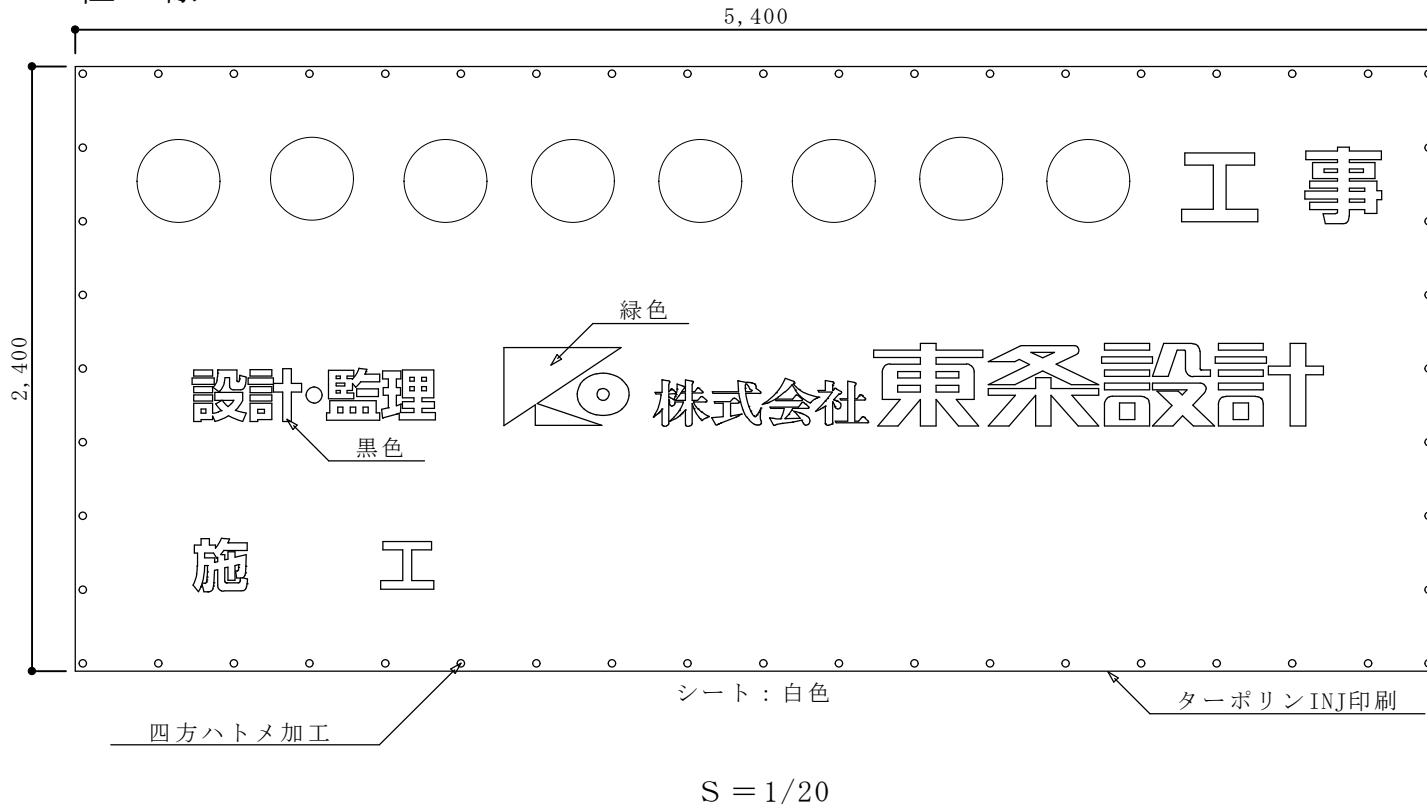
◆ B仕様



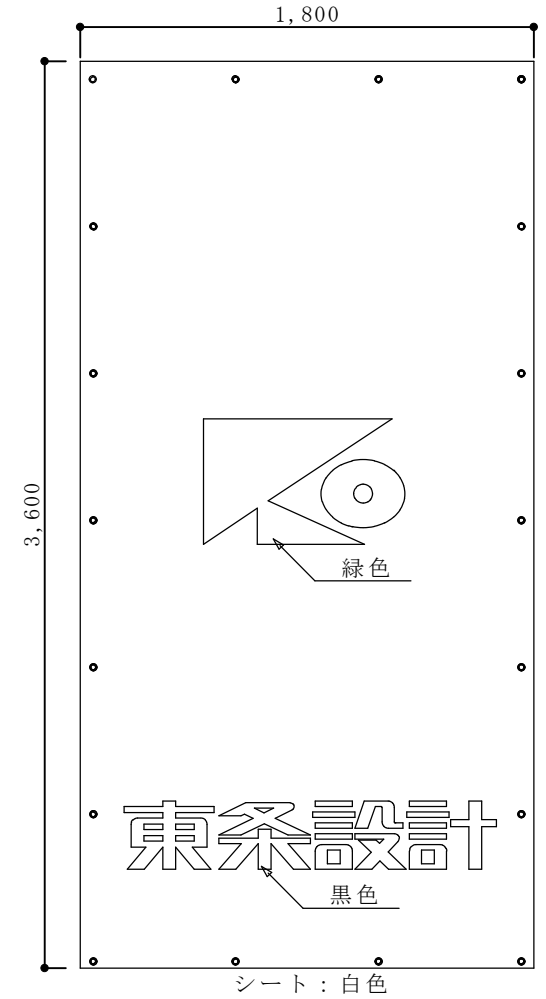
シート看板仕様

※設置箇所数、仕様については、特記仕様書（雑工事表）参照
 ※設置位置については、監理者協議の上決定の事

仕様 A



仕様 B



※工事名称、施工者看板も設置すること。

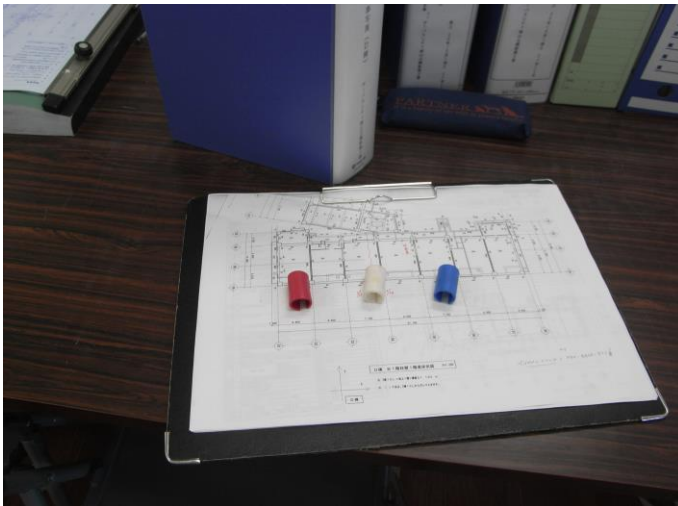
配筋写真撮影要領

文書番号

TY-18-DB1

主管部署

設計室



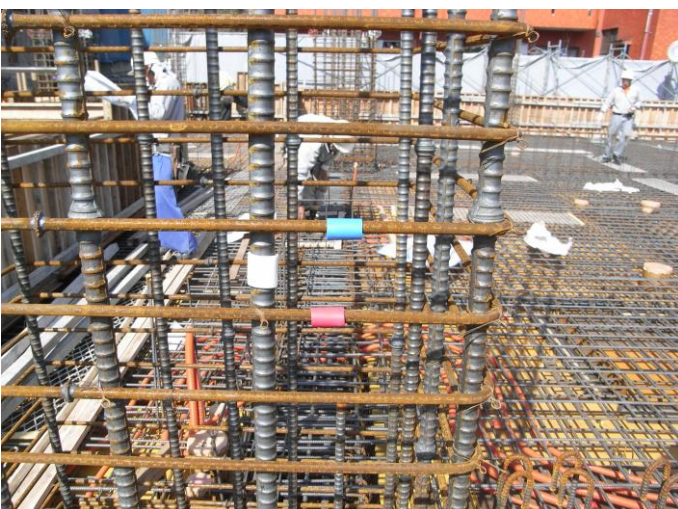
ジャパンメディア

商品名：ハイビスカス

丸井産業


商品名：鉄筋マーカー

※同等品でも可



鉄筋への取り付け状況

配筋検査チェックリスト（基礎・地中梁）	文書番号	TY-18-DB2
	主管部署	設計室

		
構造設計 担当役員	担当者	検査者
/	/	/

工 事 名 : _____ 施工業者名 : _____

施工責任者 : _____ (印) 配筋検査実施日 : _____ 月 _____ 日

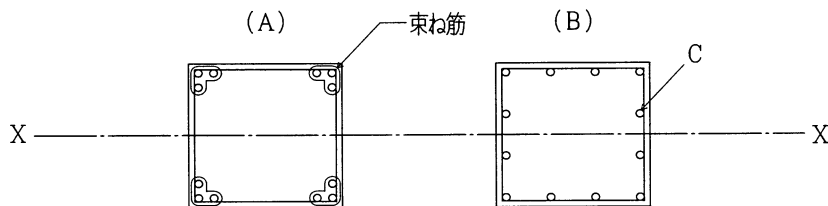
検査部位 : _____ コンクリート打設予定日 : _____ 月 _____ 日

注意事項

- ①配筋については、設計図書・建築工事共通仕様書・鉄筋コンクリート構造配筋要領に準じて施工を行い、設計図書と異なる配筋（中吊り筋本数）を行う場合は事前に承諾を得ること。
- ②配筋検査を行う階の構造伏図に梁・柱の主筋・スターラップ・フープ等を書き込み、元請け業者にてチェックを行い、このチェックリストの後ろに**添付し提出**のこと。
- ③配筋チェックシートの活用にあたっては、各チェック項目をそれぞれの配筋直後にチェックを行い、スラブ筋・差し筋等以外は型枠組立後にならないようにすること。
尚、チェック事項記入については、**朱書き**にてチェックのこと。
- ④原則として、配筋写真撮影要領は別紙（TY-18-DB1）によりマーキングを行い、全部材を撮影し全数データ保管すること。
- ⑤配筋検査を受ける場合、配筋検査チェックリスト・コンクリート打設計画チェックリスト・配筋検査実施部分の施工記録写真（**中間・完了検査提出分**）を準備しチェックを受けること。
- ⑥配筋検査での手直し対応ができるように半日以上とりコンクリート打設を行う工程にすること。

○ **共通** 確認日 _____ : _____ 月 _____ 日

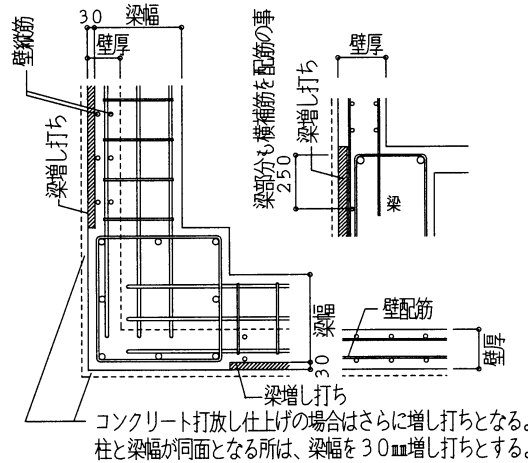
- 1 材料の規格（ロールマーク）の確認 ……………
- 2 鉄筋効果の確認 ……………
 - ① 鉄筋の位置、定着並びに継手長さが適切でない場合は、鉄筋量がいかに正確であってもその効果を期待する事はできない。
(例) スラブの上端筋が所定位置より 10mm下がれば強度は確実に 10%低下する。
 - ② スペーサー・幅止め等の使用状態及び鉄筋の結束の状態をよく確認する事。



(A) 図配筋を (B) 図のごとく配筋した場合、鉄筋量は同じでも柱筋 (C) の x-x 軸に対する効果はなくなる。

- 3 鉄筋・結束線のかぶり厚さの確認
- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 床・耐力壁以外の壁 | 30mm (屋外で仕上げなし40mm) |
| 土に接する壁・柱・梁・スラブ (土間) | 50mm |
| 耐力壁・柱・梁 | 40mm (屋外で仕上げなし50mm) |
| 基礎 (耐圧版) | 70mm |

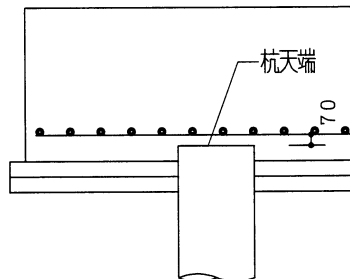
*鉄筋の小口部分のかぶり厚も忘れがちになるので注意する事。
 *打ち放し部は増打20-30mm (仕様書及び設計図書) を加える。



- 4 鉄筋あきの確認
1. 5d以上25mm以上かつ粗骨材の1.25倍以上
- 5 加工形状の確認

○ **基礎** 確認日 : 月 日

- 1 ベースのX・Y軸の方向・大きさ
- 2 G. Lより基礎下端迄の下がり
- 3 ベース筋の径・ピッチ・被り厚 (70mm) ・端部フック
- 4 杭基礎の場合には杭の位置本数の確認
- 5 杭偏心による補強筋の確認
- 6 杭基礎の場合の被り厚さは、杭天端から70mmとする
- 7 杭頭補強筋の定着長さの確認
- 8 その他 (はかま筋等) のかぶり厚さ70mmの確認
- 9 結束線のかぶり確認
- 10 耐圧版の場合、スラブ筋の継手位置・定着長さの確認

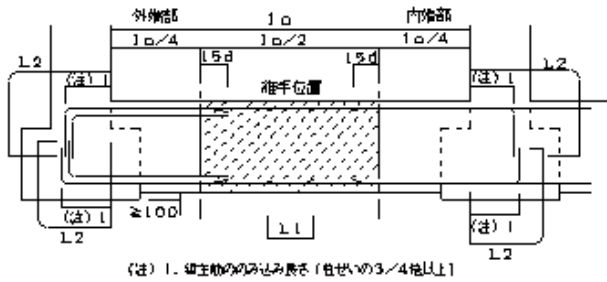




地中梁

確認日： 月 日

(1) 独立基礎、杭基礎の一般的な場合（定着、継手）



- 1 梁の断面・ハンチの長さ
- 2 鉄筋の径・本数・加工寸法・及び定着長さ
- 3 梁主筋の位置（かんざし筋及びスペーサー）の確認
- 4 中吊り筋の位置（上主筋とのあきは1.5dとする）
- 5 トップ筋の位置・長さ
- 6 梁主筋の間隔
- 7 継手の位置及び継手方法
- 重ね継手 重ね長さ（梁出隅及び下端の鉄筋はフックを付ける事）
- ガス圧接 圧接部の外観検査 超音波探傷検査 供試体の抜取り
- 隣合う継手の位置の確認
- 8 鉄筋のピッチ・被り厚さ（結束線も）
- 9 スターラップの径・ピッチ・かけ始めの位置
- 10 腹筋・幅止め筋の径・及びピッチ
- 11 梁筋とスターラップの結束の方法
- 12 大梁と小梁の取り合い部の確認
 （大梁のスターラップが小梁断面内にくる場合も配筋する事）
- 13 梁貫通孔補強の確認（100φを越えるスリーブ補強は既製品を使用の事）
- 14 貫通孔の位置・間隔・勾配の確認
- 15 梁の増打ちの補強筋の確認
- 16 スラブの有無によるスターラップのフックの形状と位置の確認
- 17 Cタイプのスターラップの場合、かぶせ忘れないか確認
- （鉄筋コンクリート標準図-2の7.（4）あばら筋の型参照）

○ 柱 確認日 : 月 日

- 1 主筋の径・本数方向 (X, Y) 軸・長さ (長短千鳥にしてあるか) ・加工寸法 ……
- 2 定着の長さ (ベース内の定着・長さ・方向) ……
- 3 鉄筋の間隔 (2段筋のあき 1.5d) ・被り厚さ (結束線も) ……
- 4 フープの径・ピッチ・かけ始めの位置
(梁筋の上には一段目のフープを入れる事) ……


○ 壁 確認日 : 月 日

- 1 壁符号と差し筋の径・ピッチ・外or内の確認 ……
(コンクリート打設後の差し筋は行ってはならない)
- 2 開口補強等の差し筋の確認 ……
- 3 地下外壁土圧受壁の配筋・径・ピッチ・継手位置・定着の確認

○ 打設 確認日 : 月 日

- 1 打設前の型枠の掃除、破損状態の確認 ……
- 2 打設前のコンクリート打継面の清掃 ……
- 3 コンクリート打継ぎ位置の確認 ……
(打継位置は監理者と打ち合わせの上決定とする)
- 4 打設計画の確認 ……
- 5 セパレータの位置の確認 ……
- 6 打継面のレイタンスの処置・不良コンクリートの除去の確認 ……

配筋検査チェックリスト (柱・壁)	文書番号	TY-18-DB3
	主管部署	設計室

		
構造設計 担当役員	担当者	検査者
/	/	/

工 事 名 : _____ 施工業者名 : _____

施工責任者 : _____ (印) 配筋検査実施日 : _____ 月 _____ 日

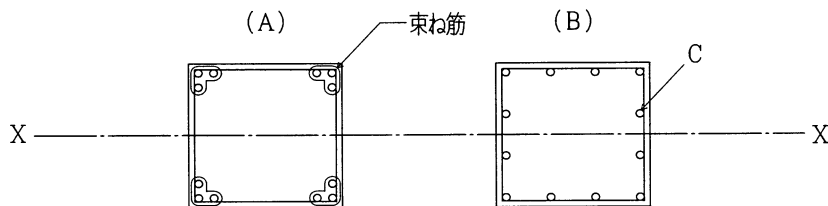
検査部位 : _____ コンクリート打設予定日 : _____ 月 _____ 日

注意事項

- ①配筋については、設計図書・建築工事共通仕様書・鉄筋コンクリート構造配筋要領に準じて施工を行い、設計図書と異なる配筋（中吊り筋本数）を行う場合は事前に承諾を得ること。
- ②配筋検査を行う階の構造伏図に梁・柱の主筋・スターラップ・フープ等を書き込み、元請け業者にてチェックを行い、このチェックリストの後ろに**添付し提出**のこと。
- ③配筋チェックシートの活用にあたっては、各チェック項目をそれぞれの配筋直後にチェックを行い、スラブ筋・差し筋等以外は型枠組立後にならないようにすること。
尚、チェック事項記入については、**朱書き**にてチェックのこと。
- ④原則として、配筋写真撮影要領は別紙 (TY-18-DB1) によりマーキングを行い、全部材を撮影し全数データ保管すること。
- ⑤配筋検査を受ける場合、配筋検査チェックリスト・コンクリート打設計画チェックリスト・配筋検査実施部分の施工記録写真 (中間・完了検査提出分) を準備しチェックを受けること。
- ⑥配筋検査での手直し対応ができるように半日以上とりコンクリート打設を行う工程にすること。

○ **共通** 確認日 _____ : _____ 月 _____ 日

- 1 材料の規格 (ロールマーク) の確認
- 2 鉄筋効果の確認
 - ① 鉄筋の位置、定着並びに継手長さが適切でない場合は、鉄筋量がいかに正確であってもその効果を期待する事はできない。
(例) スラブの上端筋が所定位置より 10mm下がれば強度は確実に 10%低下する。
 - ② スペーサー・幅止め等の使用状態及び鉄筋の結束の状態をよく確認する事。

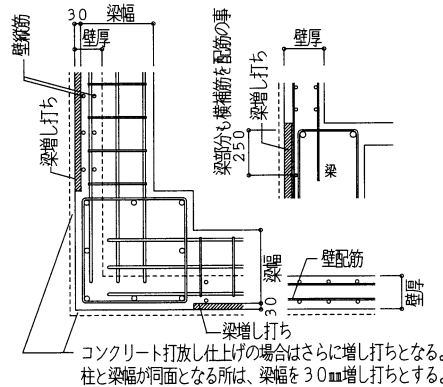


(A) 図配筋を (B) 図のごとく配筋した場合、鉄筋量は同じでも柱筋 (C) の x-x 軸に対する効果はなくなる。

3 鉄筋・結束線のかぶり厚さの確認

- 床・耐力壁以外の壁 30mm (屋外で仕上げなし40mm)
- 土に接する壁・柱・梁・スラブ (土間) 50mm
- 耐力壁・柱・梁 40mm (屋外で仕上げなし50mm)
- 基礎 (耐圧版) 70mm

*鉄筋の小口部分のかぶり厚も忘れがちになるので注意する事。
*打ち放し部は増打20-30mm (仕様書及び設計図書) を加える。

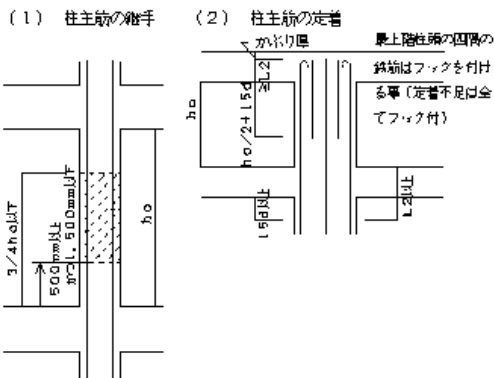


4 鉄筋あきの確認

- 1. 5d以上25mm以上かつ粗骨材の1.25倍以上

5 加工形状の確認

○ 柱 確認日 : 月 日




- 1 主筋の径・本数方向 (X, Y) 軸・長さ (長短千鳥にしてあるか) ・加工寸法
- 2 定着の長さ (梁内の定着・長さ・方向)
- 3 継手の位置及び継手方法
- 重ね継手 重ね長さ (出隅フックとする) 隣合う継手の位置
- ガス圧接 継手位置 圧接部の外観検査 供試体の抜取り
超音波探傷検査

- 4 鉄筋の間隔（2段筋のあき 1.5d）・被り厚さ（結束線も）……………□
- 5 フープの径・ピッチ・かけ始めの位置
（梁筋の上には一段目のフープを入れる事）……………□
- 6 打ち継ぎ部の清掃……………□
- 7 付着コンクリート等の除去……………□

○ **壁** 確認日 : 月 日

- 1 壁の厚さ……………□
- 2 鉄筋の径・ピッチ・位置……………□
- 3 被り厚さの確認（結束線も）……………□
- 4 柱・梁への定着 及び継手長さの確認……………□
- 5 スラブへの定着（定着は左右交互とする）……………□
- 6 差し筋ずれ確認……………□
- 7 開口補強及びスリーブ補強の確認……………□
- 8 幅止めの間隔……………□
- 9 地下外壁土圧受壁の配筋・径・ピッチ・継手位置・定着の確認……………□
- 10 誘発目地の確認……………□
- 11 構造スリットの確認……………□
- 12 打ち継ぎ部の清掃……………□
- 13 付着コンクリート等の除去……………□

配筋検査チェックリスト (梁・スラブ)	文書番号	TY-18-DB4
	主管部署	設計室

		
構造設計 担当役員	担当者	検査者
/	/	/

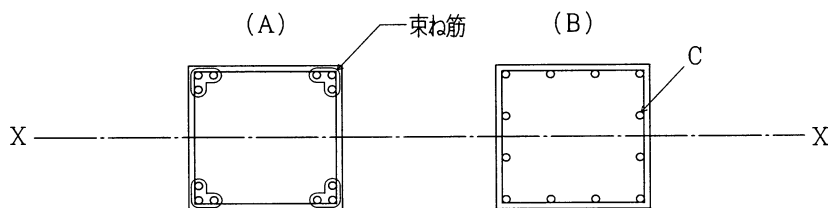
工事名 : _____ 施工業者名 : _____
 施工責任者 : _____ (印) 配筋検査実施日 : _____ 月 _____ 日
 検査部位 : _____ コンクリート打設予定日 : _____ 月 _____ 日

注意事項

- ①配筋については、設計図書・建築工事共通仕様書・鉄筋コンクリート構造配筋要領に準じて施工を行い、設計図書と異なる配筋（中吊り筋本数）を行う場合は事前に承諾を得ること。
- ②配筋検査を行う階の構造伏図に梁・柱の主筋・スターラップ・フープ等を書き込み、元請け業者にてチェックを行い、このチェックリストの後ろに**添付し提出**のこと。
- ③配筋チェックシートの活用にあたっては、各チェック項目をそれぞれの配筋直後にチェックを行い、スラブ筋・差し筋等以外は型枠組立後にならないようにすること。
尚、チェック事項記入については、**朱書き**にてチェックのこと。
- ④原則として、配筋写真撮影要領は別紙 (TY-18-DB1) によりマーキングを行い、全部材を撮影し全数データ保管すること。
- ⑤配筋検査を受ける場合、配筋検査チェックリスト・コンクリート打設計画チェックリスト・配筋検査実施部分の施工記録写真 (中間・完了検査提出分) を準備しチェックを受けること。
- ⑥配筋検査での手直し対応ができるように半日以上とりコンクリート打設を行う工程にすること。

○ **共通** 確認日 : _____ 月 _____ 日

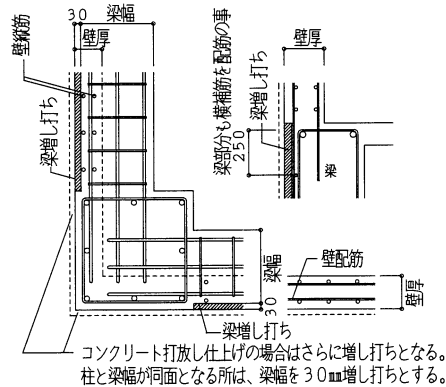
- 1 材料の規格 (ロールマーク) の確認
- 2 鉄筋効果の確認
 - ① 鉄筋の位置、定着並びに継手長さが適切でない場合は、鉄筋量がいかに正確であってもその効果を期待する事はできない。
(例) スラブの上端筋が所定位置より 10mm下がれば強度は確実に 10%低下する。
 - ② スペーサー・幅止め等の使用状態及び鉄筋の結束の状態をよく確認する事。



(A) 図配筋を (B) 図のごとく配筋した場合、鉄筋量は同じでも柱筋 (C) の x-x 軸に対する効果はなくなる。

- 3 鉄筋・結束線のかぶり厚さの確認
- | | |
|---------------------|---------------------|
| 床・耐力壁以外の壁 | 30mm (屋外で仕上げなし40mm) |
| 土に接する壁・柱・梁・スラブ (土間) | 50mm |
| 耐力壁・柱・梁 | 40mm (屋外で仕上げなし50mm) |
| 基礎 (耐圧版) | 70mm |

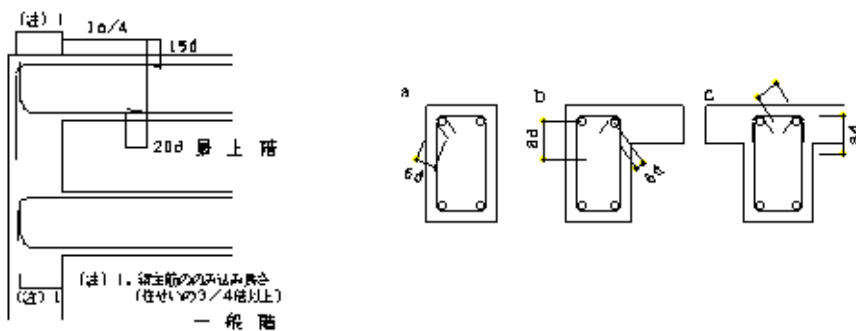
*鉄筋の小口部分のかぶり厚も忘れがちになるので注意する事。
 *打ち放し部は増打20-30mm (仕様書及び設計図書) を加える。



- 4 鉄筋あきの確認
1. 5d以上25mm以上かつ粗骨材の1.25倍以上
- 5 加工形状の確認

○ 梁

確認日 : _____ 月 _____ 日

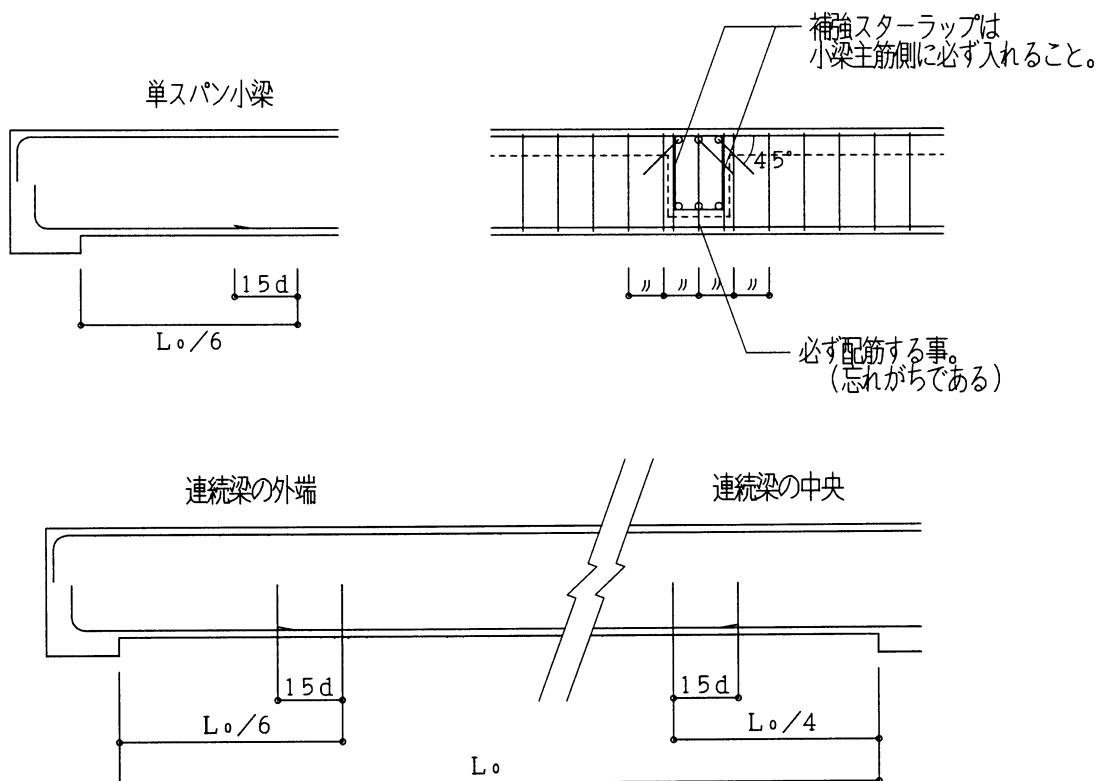


- 1 梁の断面・ハンチの長さ
- 2 鉄筋の径・本数・加工寸法・及び定着長さ
- 3 梁主筋の位置 (かんざし筋及びスペーサー) の確認
- 4 中吊り筋の位置 (上主筋とのあきは1.5dとする)
- 5 トップ筋の位置・長さ
- 6 梁主筋の間隔

- 7 継手の位置及び継手方法
- 重ね継手 重ね長さ (梁出隅及び下端の鉄筋はフックを付ける事)
- ガス圧接 圧接部の外観検査 超音波探傷検査 供試体の抜取り
- 隣合う継手の位置の確認
- 8 鉄筋のピッチ・被り厚さ (結束線も)
- 9 スターラップの径・ピッチ・かけ始めの位置
- 10 腹筋・幅止め筋の径・及びピッチ
- 11 梁筋とスターラップの結束の方法
- 12 大梁と小梁の取り合い部の確認
 (大梁のスターラップが小梁断面内にくる場合も配筋する事)
- 13 梁貫通孔補強の確認 (100φを越えるスリーブ補強は既製品を使用の事)
- 14 貫通孔の位置・間隔・勾配の確認
- 15 梁の増打ちの補強筋の確認
- 16 スラブの有無によるスターラップのフックの形状と位置の確認
- 17 Cタイプのスターラップの場合、かぶせ忘れないか確認
 (鉄筋コンクリート標準図-2の7. (4) あばら筋の型参照)

○ 小梁及び片持梁 確認日 : _____ 月 _____ 日

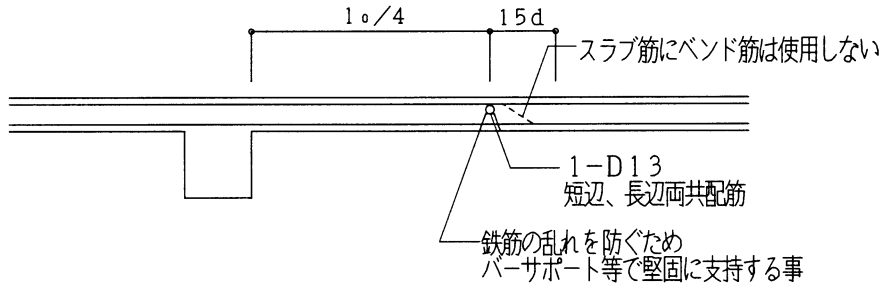
- 1 単独梁及び連続梁の終端部は $L_0/6$ とする
- 2 端筋は 45° 程度に広げてアンカーすることが望ましい
- 3 片持梁の上端筋の定着長さは L_1 とする
- 4 基端と先端で配筋が異なる場合は
 $2/3 \cdot L$ の位置から $15d$ の余長をとるものとする
- 5 片持梁が柱を通して大梁と連続している場合は大梁に定着して良いが
 最上階は上端筋半数以上かつ2本以上柱内にアンカーすること



○ スラブ

確認日 : 月 日

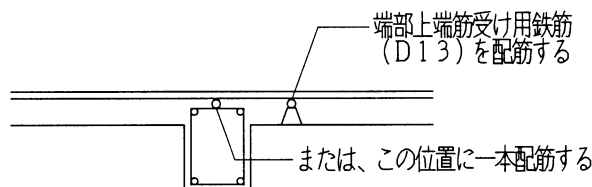
※ スラブの配筋はベンド筋を使用しない事を原則とする。
(ベンド配筋とする場合は承認を得る事)



- 1 スラブ厚
- 2 鉄筋の径・及びピッチ
- 3 主筋・配力筋の方向の確認
- 4 継手位置・長さ
- 5 定着の長さ
- 6 かぶり(結束線も)・及びスペーサーに依る支持状態の確認
 - ・断熱材等に依りスペーサーが転ぶ事の無いよう注意する事
 - ・コンクリート打放し仕上げ部分のスペーサーは打放し用スペーサーを使用する事
- 7 屋根スラブの出隅・入隅部の補強筋の確認
- 8 片持ちスラブの定着長さの確認
- 9 床開口補強筋の確認
 - ・土間コンクリートも行うこと
 - ・スリーブと補強筋のかぶり厚確保すること
- 10 掃除孔・又は掃除孔に変わる開口の確認

(特に桜島の降灰時期には、灰が流れるよう開口の位置、大きさ及びヶ所数を考慮する事)
- 11 天井インサート・及びその他の埋め込み金物の確認
 - インサート
 - 埋め込み金物 ()
 - ()
 - ()
 - ()
 - ()

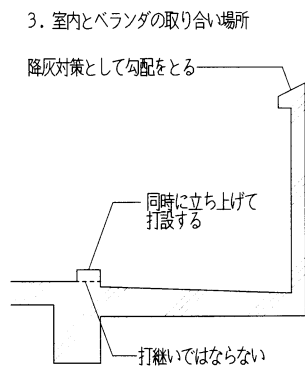
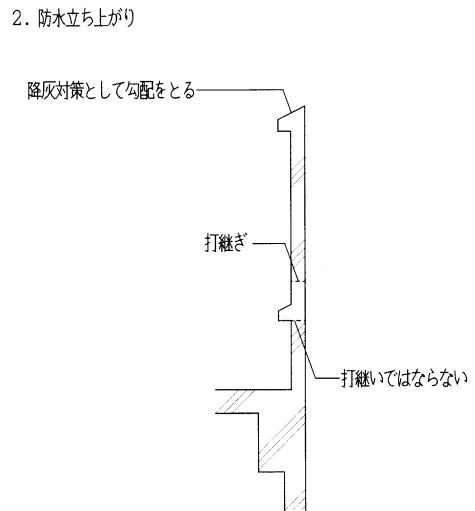
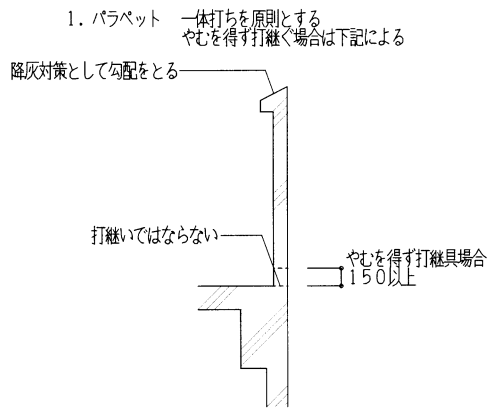
(コンクリート打放し面のスラブ引き等金物の取り付けの釘は、ステンレス釘またはプラスチック釘を使用)
- 12 墨だし用開口状態の確認



○ 打設

確認日 : 月 日

- 1 打設前の型枠の掃除、破損状態の確認
- 2 打設前のコンクリート打継面の清掃
- 3 コンクリート打継ぎ位置の確認
 (打継位置は監理者と打ち合わせの上決定とする)
- 4 打設計画の確認
- 5 誘発目地の確認
- 6 構造スリットの確認
- 7 打込み断熱材の材質・厚さの確認
- 8 セパレータの位置の確認
- 9 柱脚部清掃用掃除口及び水抜き孔の確認
- 10 レイタンスの処置・不良コンクリートの除去の確認



鉄筋ガス圧接検査報告書	文書番号	TY-18-DB5
	主管部署	設計室

_____年 ____月 ____日

工事名： _____

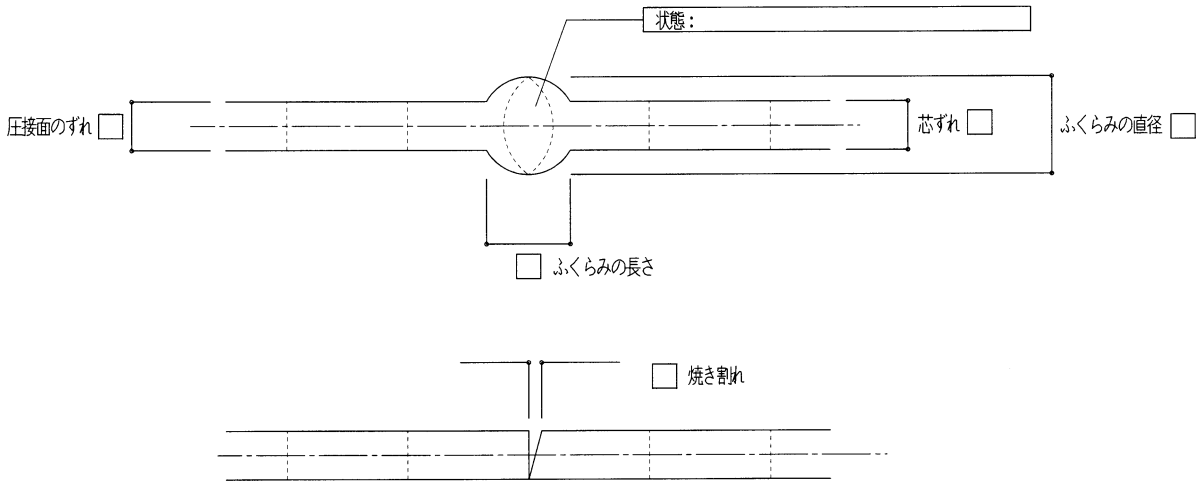
圧接施工箇所： _____ 階 _____ 柱 ・ 梁

施工責任者： _____ ㊟

圧接検査工事担当者名： _____

鉄筋径別の箇所数： D 1 9 - _____ 箇所 , D 2 2 - _____ 箇所 , D 2 5 - _____ 箇所

a) 外観検査 (全数について下記内容を確認し、合否を提出すること)



検査結果 (G ・ NG)

b) 超音波探傷検査 (構造図及び建築工事共通仕様書により検査を行う)

検査機関名, 担当者名： _____ , _____

検査結果 (G ・ NG)

c) 引っ張り試験 (構造図及び建築工事共通仕様書により検査を行う)

検査機関名： _____

検査結果 (G ・ NG)

鉄筋・結束線かぶり厚確保の徹底状況確認表	文書番号	TY-18-DB6
	主管部署	設計室

現場事務所に掲示し、現場確認（かぶり厚測定、スパーサ不足、結束線の曲げ入れなど）行った日の確認者サイン欄に確認者がサインすること。※配筋検査チェックリスト〇共通 3鉄筋・かぶり厚の確認により部位毎に確認すること。この表は、毎回定例会議と配筋検査時に確認しますので、提示してください。また、毎月の工事報告書といっしょに提出をお願いします。

工事名		施工業者名	鉄筋工事業者名	
月			確認者サイン欄	
日	躯体工事工程	確認内容とその状況	施工業者	東条設計
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				

※ かぶり厚不足に依る経年後のメンテナンスが発生しない様に、徹底した管理を行いましょう。特に壁筋、スラブ下筋、階段下筋等は要注意で、後々確認できないところは入念にしまししょう。

※ 配筋検査時に是正があれば速やかに対応していただきます。また、状況によっては協力業者を変更していただくこともあります。

打放しコンクリート設計・施工資料	文書番号	TY-18-DC1
	主管部署	設計室

I. コンクリート

1) セメントのメーカー種類

メーカーの種類によって打ち上がりコンクリート色が違うので、イメージする色に合うメーカーのセメントを選ぶ必要がある。

白色系のコンクリート色を出したい時には、高炉セメントを使用するのも考えられる。しかし、早期強度が出にくいいため夏場はそれほど問題はないが、冬場は養生状況及び養生期間に気を付ける。（冬場の使用は出来るだけさけた方が良い。）また、適当な湿潤状況を保てば長期強度は普通セメントとほとんど同じである。

2) 粗骨材・細骨材の保管状態

使用部位によってコンクリート色が変わるので、骨材の産地・工場の保管状態を吟味のうえ決定する。

3) スランプ

流動性（18cm程度）を持たせる。

流動化剤の使用も考えられるが、施工時軟練りコンクリートのため、分離し易く締め固めが不十分の場合にジャンカを生じ易い。また、打ち継ぎ時間の間隔が大きい場合にコールドジョイントが生じ易い。

4) 空気量

3～4%程度と少なくする。しかし、ワーカーベリチとの兼ね合いも問題があり、一概に言えないので、建物の形状を把握し打ち込み部位、吹き出しの有無等を考慮し調整する。

II. 型枠

1) 塗装合板

ウレタン塗膜塗装合板、工場3回塗り（1回の工程で3回塗るのは表面が垂れるので型枠サンプルを提出のうえ最終決定する。）

パネル寸法 1,800×900×12
1,800×600×12

運搬・加工・組立て時に傷が付かないように慎重に扱う。

傷が付いた場合は、補修塗装を塗布して表面をきれいにする。塗装ベニヤでもアクが出ることがあるので、保管は雨や太陽の直射日光を避けた状態で行う。

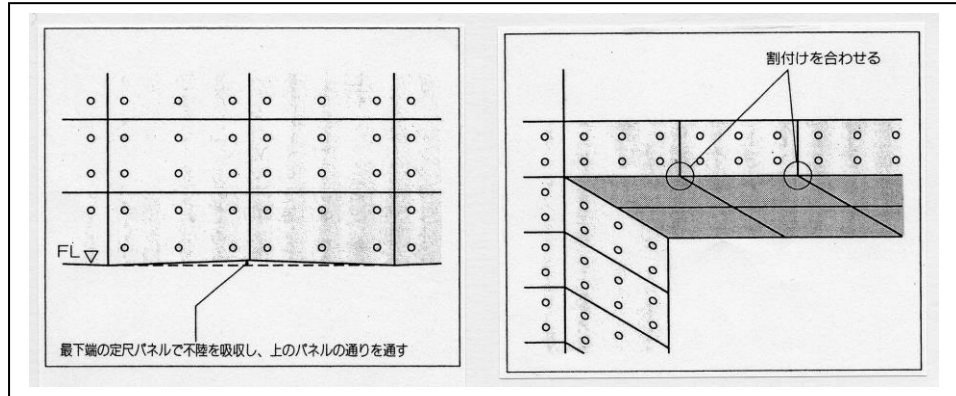
2) 型枠精度

1. 建て込み

地墨に合わせる。水平・垂直の確保

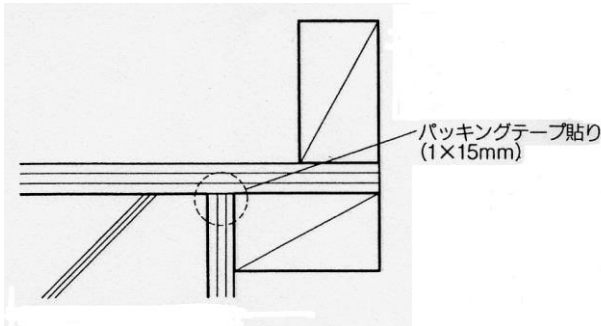
パネル割りと床の不陸調整

壁パネル・天井パネルの割付け合せ



2. 壁端部・出隅部分（ピン角）の処理

ピン角の場合は、せき板が笑わないようにする。水分が流失しセメント分も流失してしまい、ピン角部分が不良コンクリートになってしまう。

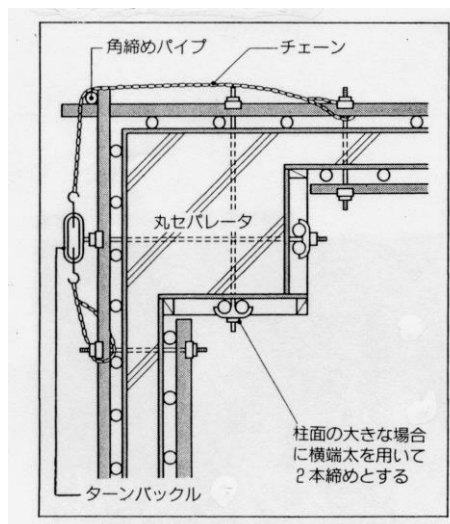


【対策】

ポリフォームの薄いテープをパッキング材として挟み込む方法が望ましい。その他コーキング材を充填・布貼りをする方法がある。

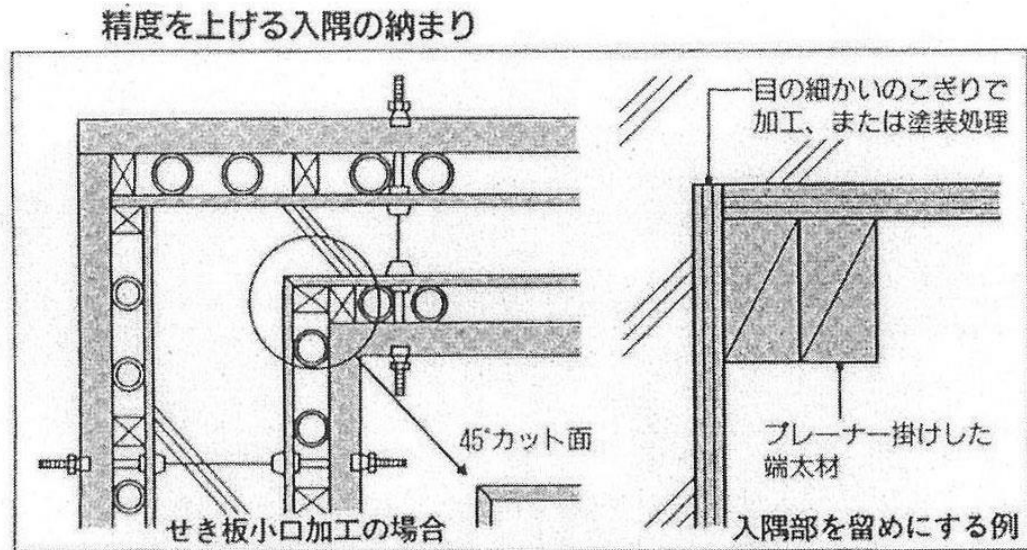
端部締め付け要領は、下図に依る。

その他番線（8 # 以上）・チェーン等で締め付ける。



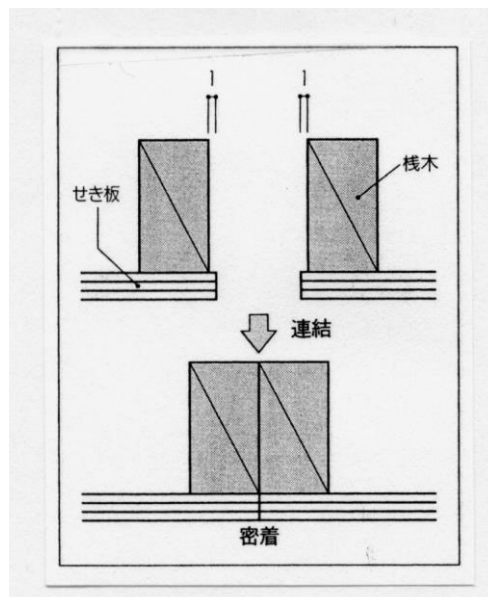
3. 入り隅の処理

コンパネの木口がコンクリートに写ってしまうのが気になるので、木口はカンナをかけ面ぞろえし、平面と同じ塗装を現場塗りする。



4. 型枠の継目部分の処理

継目部分からの水の流出防止、コーキング材を充填し密閉し継目で不陸が起きないようにする。継目はバタ角・材木を使用して目違いのないように組み立てる。

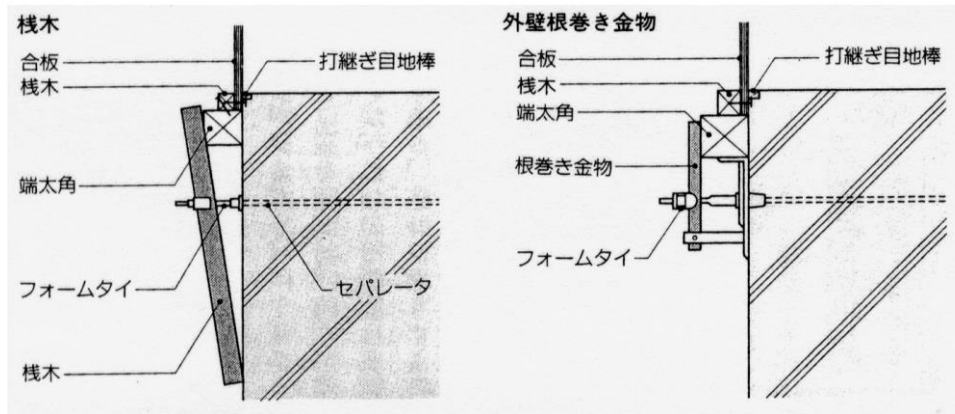


5. 面木・目地

面木・目地棒については、色々種類があるが木製が良い。木製はアクが強く、色違いだけでなく硬化不良を生じる原因となるので、事前にコンパネと同質の塗装、又は剥離材等を塗り準備しておく。

6. 打ち継目地部分

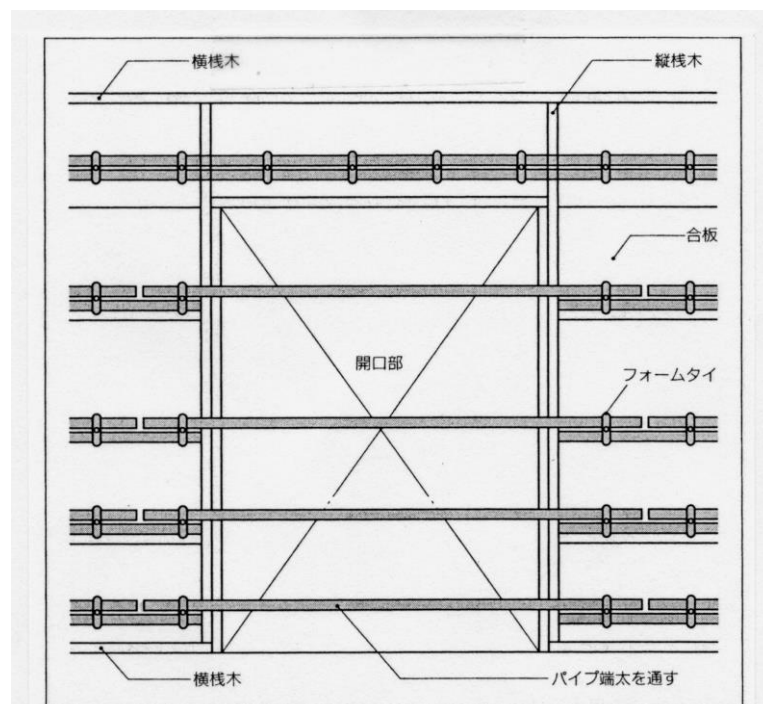
打ち継目地部分のせき板と打設済みコンクリートの間から上階打設等に水が漏れ、下階のコンクリート面を汚してしまう恐れがあるので、養生シート等を挟んでおくのが良い。



III. 開口部型枠の補強

室内も打放しの場合、建具は壁・梁・天井などと直接取り合うことになるため、これらの部材には高い面精度が要求される。従って建具用開口部では、パイプ端太を通して補強するなど支保工の強度・精度を高める工夫が必要となる。

また、フロアヒンジなど躯体に埋め込む金物については、その寸法の確認はもちろんのこと、下階の梁などとの取り合いもチェックしておくことが重要である。



IV. コンクリート打設

打設に先立ち、綿密な打設計画を行う。叩き・突き棒・バイブレーターを適切に配置し、打ち込む側・叩く側の連絡がとれるようにする。

壁・柱部分はコールドジョイントができないよう打ち込みがスムーズに運ぶように、生コン車の配車・打設計画をする。

危険箇所のマーキング

鉄筋・配筋等の多い箇所・開口部・コンセント・分配盤・スリーブなど型枠に凹凸が多い箇所は全て要注意箇所である。しかし、通常現場では打設時の突き・叩き役のうち全体の図面を把握している人は少なく、要注意箇所を知らないで、突き・叩きを行っている場合が多い。全員それを知らせる手段としては、全箇所の型枠面にチョーク等でマーキングをしておき、事前に説明しておく。

叩き役は内壁側と外壁側二手に分かれて、この場合特に内壁側の人間はパイプの林立する暗い穴蔵のような所での作業なので、打設の全体の動きがつかみにくく、監督よりの徹底した指示が必要である。これに天端押さえの左官・型枠を最終チェックする型枠大工・設備工が控え要員である。

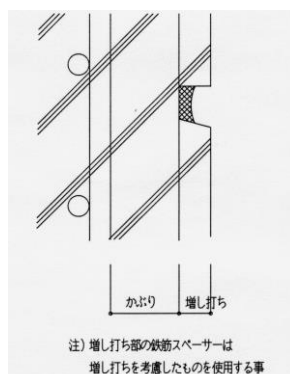
※この作業は、連続的なチームプレイであるから各人員の受持ちを明確にしなくてはならない。打設作業の前に必ず全員ミーティングを実行し、打設位置の順序・回り方など作業内容を徹底的に理解してもらい注意点の再確認等を十分に行う。

1. コールドジョイントを無くす

一気にスラブ迄打ち上げることが理想であるが、加圧負担が大きいため、廻し打ちせざるを得ない。その場合、冬季30分、夏季20分程度が限度である。打ち継ぎに際し、棒バイブレーターや突き棒で表面を攪乱すると良い。又、躯体防水用遅延型減水剤を使用する方法もある。

2. ジャンカを無くす

- (1) ジャンカが出来るのは機械に頼りすぎる事が原因である。基本に返って良く突き・良く叩くことである。その為には、人手を添え計画的に丹念に、叩き不足は叩き過ぎより尚悪いことを念頭におく。
- (2) 階高が高い場合は、骨材の分離によって豆板をつくることがある。この場合、出来る限り筒先を深く入れること。また時としてシュートやトレミー管を使用する方法もよい。
- (3) コンクリート打放し仕上げの面の側は、2～5cm程度のコンクリートを打ち増しているので被覆は鉄筋の発錆を防止し、躯体の耐久性を増大させる他、打ち放し仕上げ面のジャンカの減少にも役立つ。打ち増し部分の配筋は下図のようにする。



3. ピンホールを無くす

- (1) ピンホールは、コンクリートに含まれた空気や型枠面に付着した水滴が打ち込みの際型枠面についたまま浮上しないでコンクリートが、硬化してしまう為に起こる現象で吸水性の悪い金属型枠や樹脂加工した合板等の方が一般型枠よりも多く発生する。
- (2) 壁打ちバイブレーターを下・下・上・上の順に移動させながら追っていく。
根本的な問題は、AE減水剤を混入することもある。本来化粧型枠コンクリートの場合は、混和剤は躯体防水用減水剤等の空気連行性でないものを使用することが望ましい。

4. クラックを無くす

クラックを無くす方法は、いろいろ考えられるが化粧コンクリートの場合理想とされる方法は、収縮率を小さくすることを基本とするものである。
混和剤を膨張剤にすることによって収縮が小さく、亀裂せず、強度や密度が増大し、水や炭酸ガスの透過を防ぐ為に鉄筋の腐食によるコンクリートの亀裂防止にも大きな働きをする。

5. 精度の点検

- (1) 精度は、コンクリートその物を仕上げとする為、誤差がないのが理想であるが出来ないのがコンクリートである。±2mmを目安に努力すべきである。ピアノ線・水糸・下げ振り等でチェックし、コンクリート打設と同時に修正する。
- (2) 型枠大工は、コンクリート打設中に型枠のチェック・修正しながら見回る。

6. コンクリートの色むらや染みを無くす

- (1) 余剰水の流出する水道に当たる部分に、黒い斑点模様が生じるため、水の流出を防ぐ。
- (2) 打ち継ぎの際、先に打設したコンクリートの凝結が始まっている箇所を突き過ぎるとブリージングをおこし、黒い染みのような模様となるのでコールドジョイントと同じく注意する。
- (3) 廻りに飛散したノロが半乾きのまま放置した部分に、新しいコンクリートを投入すると、乾燥速度の誤差により、色むらやあばたを残すものになるため、飛び散ったノロは、早めに拭き取っておかねばならない。

7. 鉄錆・木アクの染みを無くす

- (1) 上階のスラブからの雨水の流れに依って雨水に混ざった錆やアクが下層のコンクリート打ち上がり面に付着して染みとなる。これを防ぐには、雨水が壁面に流れ落ちない対策が必要となる。ただし、上部の型枠建て込み後、降雨により型枠のアクが下層に流れることがあるので、スラブの雨水だけとは限らない。最良の対策としては、打ち継ぎ目地の処理の所で示したような土間用ポリシートを目地下端にガムテープで貼り付け、その上に型枠を建て込むとよい。
コンクリート打設時の余剰水による汚れ防止にもなるので是非検討すること。
- (2) 型枠解体後、撥水剤を塗布することによって汚れを防止する方法もある。

良品質のコンクリートを打設するために	文書番号	TY-18-DC2
	主管部署	設計室

【打設計画の作成】

”打設計画”とは単に設計事務所へ書類を提出することが目的ではなく、実際に現場でのコンクリート打設を前もってシミュレーションし、高品質なコンクリートを打つことを目標に於いて計画すること。

連続してコンクリートを打込むことは、コールドジョイントを発生させずに打設するために欠かせない条件である。

1. 打込む型枠の組立のチェック、水洗いと湿潤、柱、壁下の梁、スラブ上の清掃
2. 打込む生コンの供給と生コンの流動性
3. 打設順序の明確化

「コンクリート打設計画書」に基づいて現場全員が一体となって行動できるよう各担当者を決めその責任を明確にする。

【コンクリートの亀裂を防ぐために必要な施工上の配慮】

設計上の配慮のみによってコンクリートの亀裂を完全に防ぐことは不可能であるが、設計と施工が同じ考えのもと、亀裂の要因を1つずつ無くしていくことが、亀裂を防ぐ事になる。

鉄筋の乱れによる亀裂、特にスラブについては、鉄筋が著しく下っていたり、スラブ厚が不同であったりする例が多い。これを防ぐには、スペーサーを確実に入れる。上端筋の適正な位置の確保、下端筋のかぶり厚さの確保、さらに鉄筋の乱れを防ぐため足場板等に依る作業通路の適切な計画。

コンクリートポンプによる圧送工法が主流となり、圧送時の閉塞の防止やコンクリートの廻りを良くしようと流動性に富み、粘性の小さいコンクリートが要求されるようになってきた。このため、単位セメント量の大きな高スランプのコンクリートで打設することになる。こうするとコンクリートの乾燥収縮率やブリージング率が大きくなり、乾燥収縮亀裂や沈み、亀裂が生じ易くなる。これを防ぐには、可能な限り低いスランプで、単位セメント量や単位水量の少ないコンクリートで打設する。単位水量の減少には、A E減少剤又は、高性能A E減水剤の使用も検討する必要がある。

練り始めから打設までの時間が長いと、コンクリート温度の上昇や、スランプロスが起る。コンクリートの運搬時には、水和熱・外気温などによって温度が上昇する。このことは、打設後の水和熱によるコンクリート温度の上昇を促進させ温度応力によるコンクリート亀裂発生 of 要因となる。

又、温度の高いコンクリートは急激な水分の発散を起こし、初期ひび割れを生じ易い。これを防ぐには、現場までの運搬時間の適正な生コン工場の選定が必要となる。また、現場に到着した後も待機時間が長くなるよう配車計画を行う。また、コンクリートの温度上昇を少なくするために、待機時の生コン車を日影に入れたり、ドラムに散水したりして、コンクリートの温度上昇を防ぐ細かい注意も必要である。

コンクリート打設に当たっては、可能な限り硬練りの（単位水量の少ない）コンクリートを打込み、バイブレーターなどにより、締め固めを行い密実なコンクリートの打設に心掛ける。

バイブレーターはコンクリートの締め固めを目的とするもので決してコンクリートを流すための道具ではない。

スラブや梁のコンクリートは、沈み、亀裂を防ぐため打設後タンピングを行う。タンピングは打設後約1時間半前後を目安とするが、気象条件やコンクリートの性状により違ってくるので、コンクリート表面をよく観察すること。タンピングが早すぎるとその後再び沈み、亀裂ができ、又、遅すぎると直せなくなる。

先に打設されたコンクリートのやや硬化しかかった所に、新しいコンクリートが流れ、その打継ぎ部分の処理が不十分により生じる不良箇所のことをコールドジョイントと言う。

外気温やコンクリート温度が高い場合に発生しやすい。

コールドジョイントを防ぐには各層の打込み間隔を長くしないこと。コンクリート打込み時に前のコンクリートまでバイブレーターを挿入し、再振動を加え、打継ぎ部分の処理を行う。

コンクリート打設は型枠に不均一な応力、変形が生じないように配慮して、打設順序にも注意を払う。又、打設時の型枠面の湿潤は絶対に必要である。打設開始前にすべての型枠内に散水を行う。特に夏場に於いては、乾燥が早いので霧状に噴霧させて型枠面の湿潤を保つ方法も考えられる。

打設後の養生は、重要な要素である。

暑中に於いては、コンクリートの急激な乾燥を避けるため、水が乾いて散水跡が付かなくなったら、直ちに散水を行う。

コンクリートの表面からの水分蒸発量が 1.5 (L/m²/h) を超える場合、クラック発生の危険がある。・・・ 資料 5. 2. 3. k 参照 ・・・

冬季に於いては、型枠内の水分やコンクリート表面の水分が凍結して硬化不足などの初期凍害を受けるので、保温養生を行う必要がある。

養生方法については、シート及びマットにて保温養生を行ったり、ヒーター等の使用による加熱保温養生を行う。

【受け入れ検査】

生コンの品質は、JISの規定よって荷卸時点での品質保証のため、受け入れ側としては、厳しい姿勢で臨まなければならない。また打設される生コンを常時観察し納品される生コンの品質管理を行う。

(規定の試験以外に、スランプの抜き取り試験の実施も、品質管理の上で大切なことである。)

5.2.2 運 搬

a. コンクリートは、分離・漏れおよび品質の変化を最小限にするような方法で速やかに運搬する。

運搬中、製造したコンクリートの品質を変化させないように、すなわちスランプ・空気量の低下や骨材の分離を起こさせないように、できるだけ速やかに運搬する必要がある。そのために、運搬方法はコンクリートの種類・打込み箇所・打込み量・運搬距離および現場の立地条件などを十分考慮して計画しなければならない。

b. コンクリートの練り混ぜから打込み終了までの時間の限度は、外気温が25°C未満の場合は90分、25°C以上の場合は60分を限度とする。

c. コンクリートの運搬は、JASS 5.6.2「コンクリートの運搬」による。

運搬時間が長くなると、その品質が徐々に変化する。これは練り上がったコンクリートの水和反応によって、コンクリートをかくはんしていても凝結が進み発熱を起こすなどのためであるが、以下にその品質変化の主な傾向を示す。

- i) スランプが低下し、ワーカビリティが悪くなる。
- ii) 空気量が低下する。
- iii) 凝結が早くなり、そのため初期ひび割れ発生やコールドジョイントの原因になりやすい。

5.2.3 打込み

a. 打込みは、均質で密実なコンクリートが得られるように、打込み箇所、打込み区画、配筋の状態およびコンクリートの品質を考慮して、各部にわたり十分締固められる人員の配置、打込み方法、打込みに使用する機械器具を用いて行う。

良質な材料を使用し、正しく調合・製造して打込み地点まで良質なコンクリートを運搬しても、打込み方法が不良であれば、構造体コンクリートの品質は不十分となる。したがって、打込み作業は、打込み箇所での打込み方法、配筋や配管、設備器具の状況を判断して、良質なコンクリートが打ち込まれるように、適当な方法によって行うことが重要である。

本指針では、コンクリートのスランプは基礎・梁・床スラブおよび屋根スラブにあっては12 cm以下、柱および壁においては15 cm以下とし、良好なワーカビリティ・均一性が得られる範囲でできるだけ小さい値とすることとし、流動化コンクリートを用いる場合はベースコンクリートのスランプ12 cm以下、流動化後のスランプ18 cm以下とするとしている。これは一般の建築工事に使用するコンクリートと比較すると、かなり硬練りであり、かつ、柱・壁の垂直部材と、梁・スラブの水平部材のスランプの規定が異なるため、その配慮をすることが大切である。特に、垂直部材と水平部材とにスランプの異なる別々のコンクリートを打ち込む場合は、通常のコンクリートの打込みのように垂直部材と水平部材とを同時に打ち込む工法を採用すると、両者のコンクリートが混合するおそれがあり均質で密実なコンクリートが得られなかったり、コンクリートを打分けるための管理が困難になるなどの障害が予想される。

b. 打込みに先立ち、鉄筋のかぶり厚さ、型枠の建込みが許容差内に収まっていること、また、付帯設備・取付け金具および埋設物の位置が正しいことを確認するとともに、コンクリートの充てんに対し支障の有無を点検し、必要ある場合は修正する。

本項は、コンクリートが型枠のすみずみまで打ち込まれ、締固めが十分行われ、でき上がったコンクリートの寸法精度がよく、かつ適切なかぶり厚さを確保するように、配筋・型枠はもちろんのこと、付帯設備・取付け金具および埋設物などが正しく設置されていることを打込み前に確認し、支障があれば修正するように定めたものである。関連する事項として、作業分担の確認、打込みに用いる機械・器具類の点検なども重要である。

コンクリート管理責任技術者は、打込みに先立ち、次の事項を確認し、完了しておく。

- ・所要人員・作業分担および打込み順序などが定められ、関係者一同に周知徹底されていること。
- ・機械器具の整備点検が行われていること。
- ・鉄筋のかぶり厚さおよび型枠の建込みが許容差内に収まっていること。
- ・付帯設備・取付け金具および埋設物の位置が正しいこと。
- ・コンクリートの充てんに対し支障のないことを確認し、必要ある場合は修正されていること。
- ・打込み場所が清掃され、すべての雑物が取り除かれていること。
- ・型枠にセメントペーストまたはモルタルが漏出するような隙間がないこと。
- ・吸水性のある型枠は、コンクリートが凍結するおそれのある場合を除き、湿潤状態にされていること。

c. コンクリートの1回の打込み量は、締固め能力に応じた量とする。

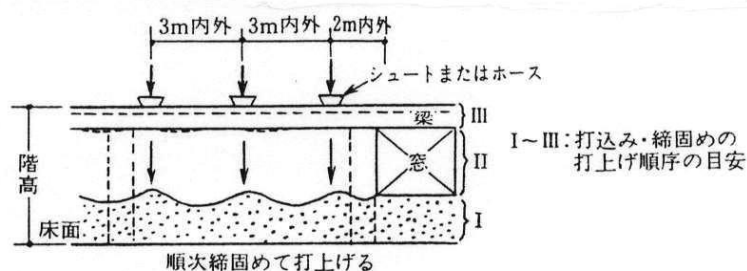
c. コンクリートの1回あるいは1時間当りの打込み量は、コンクリートの運搬量から定めるのではなく、締固め能力に応じて定めなければならない。

締固め能力は、JASS 5によれば、スランプ10～15 cmの普通コンクリートで、公称棒径45 mmの棒形振動機1台につき10～15 m³/hとされている。ポンプの筒先1か所に約2台の棒形振動機を使用するとすれば、ポンプ1台につき20～30 m³/h程度が打込み速度の目安となる。そこで、打設時間を1日8時間程度とすると、ポンプ1台につき240 m³/日が最大打設量と推定される。

- d. 壁などの厚さの薄い部材の打込みは、1回の打ち上げ高さをコンクリートが分離しない範囲とし、締め固めてほぼ水平にならした後、その上層のコンクリートを打ち込む。この際、打込みは打込み区画のすみ・端部より始める。
- e. スラブまたは梁のコンクリートが、壁または柱のコンクリートと連続している場合には、壁または柱のコンクリートを打ち込んだ後、沈みの状態を見計らってから、スラブまたは梁のコンクリートを打ち込む。
- f. コンクリートの打込みに際しては、鉄筋、型枠、スペーサおよびパーサポートの移動などにより、かぶり厚さ不足が生ずることのないようにする。
- g. コンクリートの打込みは、JASS 5.6.6「打込み」による。

d. 一つの打込み区画内の立ち上がり部分のコンクリートは、各部の上端がほぼ同じ高さになるように打ち込む。打込み間隔は、スランプ12 cm のとき 1~2 m とし、スランプ 18 cm のとき 2~3 m とする [解説図 5.4, 解説図 5.5 参照]。

壁などの厚さの薄い部材の打込みは、空洞などの欠陥部が生じないように、1回の打ち上げ高さを約 1 m とし、締め固めてほぼ水平にならした後、その上層のコンクリートを打ち込む。この際、打込みは打込み区画のすみ・端部より始める。



解説図 5.5 垂直部材のコンクリート打込み方法 (スランプ 18 cm の場合)

柱の打込みは、コンクリートが分離しないように必要に応じて中央部に立て形シュートなどを挿入し、つねにコンクリートをすでに打ち込まれたコンクリートの上面近くに落とし、締め固めを行いながら打ち上げる。

上部からコンクリートを打ち込むことが困難な場合には、型枠の側面に投入口を設ける。打込みに際しては、人員および器具の配置が計画どおりであり、かつ打込みが可能であることを確認しながら、打込み区画内の運搬距離の遠い場所から打込み区画が完了するまで連続して打ち込む。

e. 垂直部材と水平部材とを同時に打ち込むと、打込み高さの差に伴いコンクリートの沈み量が異なってくるので、各部材の境界線上で沈みひび割れ [付図 1.11 参照] を生じやすい。本項は、その対策として設けたものである。

f. コンクリート打込み時に、コンクリートを一方向からのみ打ち込むとコンクリートの圧力により鉄筋が移動しやすい。鉄筋が移動すると、かぶり厚さが不足したり、跳ね出しスラブの上端筋が下がったりして、ひび割れの原因となる。そこで、型枠・配筋を移動させないように十分注意してコンクリートを打込む。

- h. 締固めは、鉄筋および埋設物などの周囲や型枠のすみずみまでコンクリートが充填され、密実なコンクリートが得られるように行う。
- i. コンクリートの打ち足しは、下層のコンクリートと上層のコンクリートが一体化し得る時間の限度内に行い、下層コンクリート中に棒形振動機を挿入・加振した後、コンクリートを打ち重ねて再び振動締固めを行う。
- j. 打込み継続中における打継時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は120分、25℃以上の場合は90分とし、先に打ち込まれたコンクリートの再振動可能時間以内とする。ただし、打継部分に欠陥を生じさせないような特別の方法を講じた場合は、前者を150分以内、後者を120分以内の範囲でこの時間の限度を変えることができる。

h. ・締固めは、十分な技量・経験を有する作業員の操作するコンクリート棒形振動機および型枠振動機を主とし、補助として突き棒・たたき・スペーシングなどを使用して、鉄筋および埋設物などの周囲や型枠のすみずみまでコンクリートが充てんされ、密実なコンクリートが得られるように行う。

・コンクリート棒形振動機は、打込み箇所の断面および配筋状態に応じて可能な限り径および能力の大きいものを使用する。

・棒形振動機の挿入間隔は、振動効果が重複する範囲とし、普通コンクリートの場合50cm以下、

軽量コンクリートの場合25cm以下、かつ棒径の約7倍以下とする。振動時間は打ち込まれたコンクリート面がほぼ水平となり、表面にセメントペーストがにじみ出るまでとする。この時間は、通常のコンクリートでは10秒前後と考えてよい。

i. ここでいう打ち足しとは、先に打ち込まれたコンクリートに、多少の時間を経てから新しい次のコンクリートを打ち重ねることである。先に打ったコンクリートはまだ凝結が終結しておらず、振動機を挿入することにより一体化することができる。振動により流動性は回復しない場合には、打継ぎの処理をしなければならない。

j. これは、i.項とともにコンクリート打込み継続中に生ずる打継部（コールドジョイント）の防止を目的とした規定である。コールドジョイントの発生は、一般には、先に打ち込まれたコンクリートの凝結の程度、練り混ぜから打込み終了までの時間、打継時間間隔、コンクリート温度、打継部の締固め方法などにより左右される。打継時間間隔の限度は、コンクリートの運搬時間と関係があるが、ここでは運搬時間が約1時間である場合を基準にしている。特別な方法とは、コンクリートの凝結時間を遅らせる方法や、打継部に対する処置などである。

k. コンクリートのブリージング・沈みおよびプラスチック収縮によるひび割れなどは、コンクリートの凝結前にブリージング水の除去、コンクリート表面のタンピングなどにより処置する。

打ち上がり直後の不具合は、打ち上がりコンクリートの表面をよく観察して直しておく。水平鉄筋などの上に出る、いわゆる沈みひび割れは、コンクリートの表面をタンピングする（たたく）ことにより消去する。この発生時期については、夏期では打込み後1時間、秋期・春期では打込み後2時間、冬期では打込み後3時間を目安とするが、コンクリートの性状や気象条件によって違うので、条件に応じてコンクリート表面をよく観察して、ひび割れが出たら直ちに処置する。

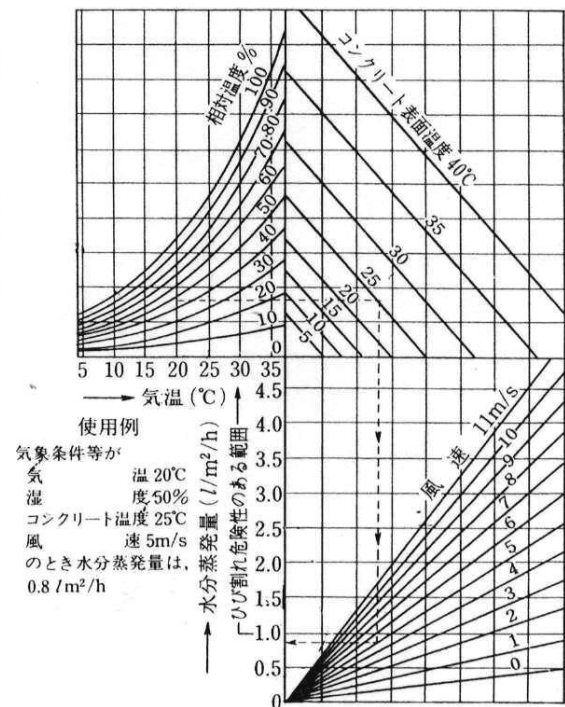
ブリージング水は低いところにたまって、その上面およびその上に打ち足したコンクリートとの界面および上部のコンクリートの品質を悪くするおそれがあるので、状況に応じて除去するとよい。

打ち上がり直後の床スラブ上面に生ずるひび割れは、プラスチック収縮と沈みによって発生することが多い。床スラブの打ち上がり直後は、一般にブリージングに伴って生ずる沈みと、上表面からの水分蒸発によるプラスチック収縮が、両方同時に進行しており、水分蒸発の多い日に、床スラブ上端筋の上にひび割れが生ずる場合が多い。

本指針では、ブリージング量の目標を $0.3 \text{ cm}^3/\text{cm}^2$ 以下と定めており、通常のコンクリートよりもブリージングが少ないことが予想されるので、特にプラスチック収縮によるひび割れに対しては注意が必要である。

図は、A.C.I.などで示している気象条件に

判定するための、フレッシュコンクリートからの水分蒸発量を示したものであり、水分蒸発量が $1.0 \sim 1.5 \text{ l/m}^2/\text{h}$ を超えるときはひび割れ発生の危険性が大きいとしている。



フレッシュコンクリートからの水分蒸発量の計算図表

5.2.4 養生

- a. コンクリートは、打込み終了直後からセメントの水和およびコンクリートの硬化が十分に進行するまでの間、急激な乾燥、過度の高温または低温の影響、急激な温度変化、振動および外力の悪影響を受けないように養生する。
- b. 打込み後のコンクリートは、散水、噴霧、養生マットあるいは水密シートによる被覆、または膜養生剤などにより湿潤に保つ。その期間は、早強ポルトランドセメントを用いる場合は5日間以上、その他のセメントを用いる場合は7日間以上とする。

a. 打込み直後のコンクリートは、日光の直射、風などにより乾燥しないように、シートで覆うかもしくは散水するなどして、湿潤に保たなければならない。特に、コンクリート打込み時あるいは打込み直後の気象条件が下記の場合、コンクリートは、打込み終了後にプラスチックひび割れが発生する可能性があるため、注意が必要である。

- i) 風が強い。
- ii) 空気が乾燥している。
- iii) 外気温に比べてコンクリート温度が高い。

このひび割れは、コンクリート表面が急激に乾燥することによるものである。このため、コンクリート周囲にシートなどを設けて、風、直射日光がコンクリートに当たらないようにするとともに、スプリンクラ・散水器などによる噴霧、散水、あるいは養生マットなどにより、外部から水分を供給しなければならない。

また、プラスチックひび割れが発生した場合には、タンピングなどにより直ちに処置するとともに、上記湿潤養生を速やかに行わなければならない。

b. コンクリートは、打込まれた後の養生によって物性が左右される。ひび割れ発生防止に対しては、乾燥収縮を低減すること、および強度発現の増大によりひび割れ抵抗性を増大することが有効である。打込み後のコンクリートが、その硬化作用を十分に発揮し、乾燥などによるひび割れを生じないようにするためには、打込み後一定期間は十分な湿潤状態に保つことが大切である。できるだけ長期にわたり湿潤に保つことが望ましいが、特に養生の初期にコンクリートを乾燥させないことが重要である。

そのために、湿潤状態に保つ期間を早強ポルトランドセメントを用いる場合は5日間以上、その他のセメントを用いる場合は7日間以上とした。

混和材として膨張材を用いる場合、その効果を確保するためには、水和の初期に十分に膨張を起こさせる必要がある。この膨張反応は水の存在によって生ずるものであるため、少なくとも7日間以上水分の補給を継続しなければならない。

生コンはシットリがいい

スランプや空気量の測定以外にも、生コンの状態を知るよい方法があります。スランプを測定した後に、トントンと下の鉄板を叩いて、崩れ方を見る方法です。この時、こてでならしてみると、そのときの手触りなどで生コンがどんな状態かよくわかります。

① パサパサした生コン

砂およびセメントなどの少ない生コンは粘性に乏しいため、腰がなくてバサッと崩れます。こてでならしてみると、いかにもパサパサとした感じがします(写①)。

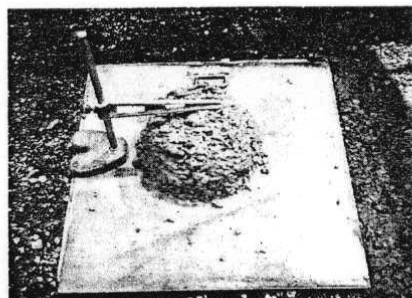
② モッタリした生コン

モッタリした生コンは、トントンと叩いてもなかなか元の形を崩しません。砂およびセメントの多い生コンは粘性が大きくなり、材料分離はしにくくなりますが、一方でこてに着きやすくなるなど作業性は悪くなります(写②)。

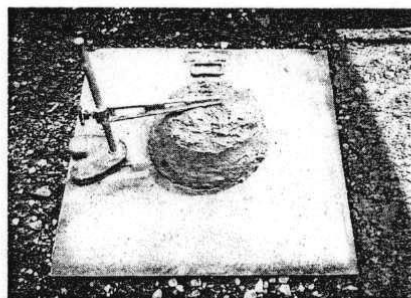
③ シットリした生コン

シットリした生コンは適度な粘性があるので、元の形を保ちながら、ごく自然に裾が広がるようにゆっくりと崩れます(写③)。

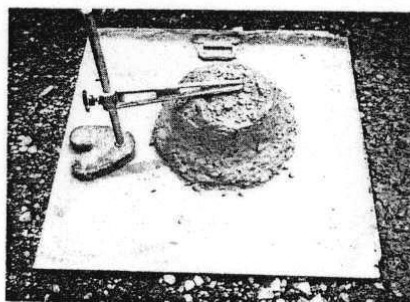
これは材料の混合割合が優れていることを示すもので、生コンはこのシットリ型が理想です。要するに、日頃から愛情をもって接していれば、生コンの健康状態が一目でわかるようになるのです。



①パサパサした生コン



②モッタリした生コン



③シットリした生コン

コンクリートのひびわれの原因と特徴

ひびわれの原因		ひびわれの特徴
A コンクリートの材料的性質に関係するもの	A 1 セメントの異常凝結	幅が大きく、短いひびわれが、比較的早期に不規則に発生
	A 2 セメントの異常膨張	放射型の網状のひびわれ
	A 3 コンクリートの沈下およびブリッジング	打設後1~2時間で、鉄筋の上部や壁と床の境目などに断続的に発生
	A 4 骨材に含まれている泥分	コンクリート表面の乾燥につれて、不規則に網状のひびわれが発生
	A 5 セメントの水和熱	断面の大きいコンクリートで、1~2週間してから直線状のひびわれがほぼ等間隔に規則的に発生。表面だけのものと部材を貫通するものとあり
	A 6 コンクリートの硬化・乾燥収縮	2~3カ月してから発生し、次第に成長。開口部や柱はりにかこまれた隅部には斜めに、細長い床・壁・はりなどにはほぼ等間隔に垂直に発生
	A 7 反応性骨材や風化岩の使用	コンクリート内部からポツポツ爆裂状に発生。多湿な個所に多い
B 施工に関係するもの	B 1 長時間の練りませ	全面に網状のひびわれや長さの短い不規則なひびわれ
	B 2 ポンプ圧送の際のセメント量・水量の増量	A 3やA 6のひびわれが発生し易くなる
	B 3 配筋の乱れ、鉄筋のかぶり厚さの減少	床スラブでは周辺にそってサークル状に発生。配筋・配管の表面にそって発生
	B 4 急速な打込み速度	B 6やA 3のひびわれが発生
	B 5 不均一な打込み・まめ板	各種のひびわれの起点となり易い
	B 6 型わくのはらみ	型わくの動いた方向に平行し、部分的に発生
	B 7 打継ぎ処理の不良	コンクリートの打継ぎ個所やコールドジョイントがひびわれとなる
	B 8 硬化前の振動や載荷	Dの外力によるひびわれと同様
	B 9 初期養生の不良	(急激な乾燥) 打込み直後、表面の各部分に短いひびわれが不規則に発生
	B 10	(初期凍結) こまかいひびわれ。脱型するとコンクリート面が白っぽく、スケーリングする
	B 11 支保工の沈み	床やはりの端部上方および中央部下端などに発生
C 使用・環境条件に関係するもの	C 1 環境温度・湿度の変化	A 6のひびわれに類似。発生したひびわれは温度・湿度変化に応じて変動する
	C 2 コンクリート部材両面の温・湿度差	低温側または低湿側の表面に、曲がり方向と直角に発生
	C 3 凍結・融解の繰返し	表面がスケーリングを起こし、ポロポロになる
	C 4 火災・表面加熱	表面全体にこまかい亀甲状のひびわれが発生
	C 5 内部鉄筋の錆化膨張	鉄筋にそって大きなひびわれが発生。かぶりコンクリートが剥落したり錆が流出したりする
	C 6 酸・塩類の化学作用	コンクリート表面がおかされたり、膨張性物質が形成され全面に発生
D 構造・外力などに関係するもの	D 1 オーバーロード	(曲げ) はりや床の引張側に、垂直にひびわれが発生
	D 2 (地震・積載荷重)	(せん断) 柱・はり・壁などに45°方向にひびわれが発生
	D 3 断面・鉄筋量不足	D 1, D 2と同じ。床やひさしなどではたれ下がる方向に平行する
	D 4 構造物の不同沈下	45°方向に大きなひびわれが発生

15. コンクリート打設人員配置表

	担当業者名	職務	氏名
共通	総指揮：_____ 試験係：_____ 連絡係：_____ 誘導係：_____	コンクリート打設全般指揮・安全管理 試験の立ち会い テストピースの採取 生コンプラント連絡 生コン車・第三者の通行誘導 安全確保	(他名)
スラブ上	打設指揮者：_____ 同 補佐：_____ 職 長：_____ ポンプ：_____ バイブレータ：_____ 清掃・散水：_____ 左 官：_____	打設計画に基づく指示、スランプ コンクリート 性状の看視、鉄筋乱れ直しの指示、乾燥状況の看視 打設順序指示・スラブ上スラブ下への指示 指示に従ったコンクリートの打設 (自分で判断で行動しない) 指示に従ったバイブレーターの使用 使用台数()台 打設前の散水・打設後のコンクリートの清掃 コンクリート均し・表面の仕上げ	(他名)
内部	打設指揮：_____ 同 補佐：_____ 職 長：_____ 叩 き：_____	型枠の異常看視・筒先への連絡・叩き指示 生コンの流れている場所の把握 叩き指示 (ジャンカの出来やすい部分の把握) 叩き	(他名)
外部	打設指揮：_____ 職 長：_____ 叩 き：_____	型枠の異常看視・筒先への連絡・叩き指示 生コンの流れている場所の把握 叩き指示 (ジャンカの出来やすい部分の把握) 叩き	(他名)
相番	型 枠：_____ 鉄 筋：_____ 設 備：_____ 電 気：_____ 空 調：_____	保守・点検 通り・レベル直し 鉄筋の乱れ直し・かぶり点検 保守・点検 打設応援 保守・点検 打設応援 仮設照明 保守・点検 打設応援	(他名)
その他			
合 計			名

【注意事項】

※コンクリート打設の時間管理については、TY-B28 コンクリート試験結果報告書のコンクリート打設管理表に記載し提出すること。

1.6. 普通コンクリート現場受入れ検査手順書

※設計基準強度 $F_c = 36 \text{ N/mm}^2$ 以下の場合とし、 $F_c = 36 \text{ N/mm}^2$ を超える場合は、JASS5 によること。

1. 受入れ検査の可否は、「建築工事共通仕様書」6章コンクリート工事によることとします。
※コンクリート受入れには、請負業者より検査員を配置してください。
※※検査員の主な役割は、伝票の確認、コンクリートの目視確認、打設時間の管理、試験の立会です。
2. 試験及び供試体の採取は、コンクリートの種類、150m³を1ロットとし ①スランプ ②フロー ③空気量 ④外気温度、コンクリート温度 ⑤塩化物量の試験 ⑥供試体の試料採取を、適切な間隔（通常は均等）をおいて選んだ3台の車から採取して行います。
尚、⑤塩化物量の試験は、1ロットの最初の1台目で試験を行います。
70m³未満については、同一の車での試験でよいですが、その場合は担当者の承諾を得ることとします。
※スランプ試験だけは、請負業者による全車両の目視確認により、不具合が予想される場合はその都度試験を行うこととし、結果を監督員に報告する（報告書・写真等にて）。

- ①スランプ試験…生コン車よりコンクリートを採取して、スランプコーンに3層に分けて均等に詰めます。各層とも突き棒の先端が前の層に届く深さで25回一様に突きます。そして、スランプコーンの上端に合わせて天端をならし、中央部に1円玉を置いてスランプコーンを2～3秒の速さで垂直に引き上げ、1円玉の位置で下がり量を0.5cm単位で測定し、これをスランプとします。
スランプコーンにコンクリートを詰め始めてからスランプコーンの引き上げ終了までの時間は3分以内とします。
コンクリートがスランプコーンの中心軸に対して偏ったりして形が不均衡になった場合は、別の試料で再試験します。
※スランプの許容差は±2.5cmとします。
- ②フロー試験…スランプ試験に続けて行い、広がり最大の直径と、その直交する方向の直径を測ります。材料が分離し、広がり不均等になった場合は、別の試料で再試験します。
※シットリした生コンが理想型です。
- ③空気量試験…空気量測定器（エアメーター）の約1/3の深さまで生コンを入れ、ならした後、容器の底を突かないように突き棒で25回均等に突きます。表面に突き穴や大きな泡が見えなくなるように、容器の側面を木づちで10～15回叩きます。以後同様に1/3ずつ行い詰め終わったら定規で天端をかきとってならします。突き棒の突き入れ深さは各層の深さとします。
※空気量の範囲は、普通コンクリートで4.5±1.5%とします。
- ④外気温度…外気温25℃を超える場合はコンクリート練混ぜから打込み終了までの時間を90分（60分）以内とします。通常は120分（90分）以内とします。
コンクリート温度…暑中コンクリートは35℃以下、冬季は、10℃以上とします。
- ⑤塩化物量試験…ロットより採取した試料を3つに取り分ける。圧縮強度試験用の容器を利用してもよいです。
※塩素イオン量は0.3kg/m³以下とします。
- ⑥供試体の試料採取…圧縮強度試験用の容器（シリンダー）へのコンクリート充填は、2層に分けて詰め、各層とも11回以下で突き棒を突きます。
※28日圧縮強度試験用・型枠取外し時期決定用は現場封かん養生とします。
採取した供試体は試験立会写真に入れるようにしてください。
※※供試体全てに東条設計封かん紙を封入してください。（次ページ参照）
封かん紙の部分を入れた圧縮試験状況写真を報告書に添付してください。

3. 上記検査により不合格が生じた場合は全て廃棄処分とします。

◎良質な耐久性のあるコンクリートは、強度だけでなく、施工性がよく、乾燥収縮量を抑えたコンクリートであることを再認識し、受入れ検査と打設に取り組みましょう！

_____年 月 日

工事名: _____

コンクリート打設箇所: _____ コンクリート打設量: _____ m³

コンクリート試験実施者: _____

コンクリートの種類: Fc- _____, _____

コンクリート配合

セメント量: (_____) kg 水: (_____) kg 水セメント比: (_____) %

コンクリートの試験

スランプ: _____ cm フロー: _____ × _____ cm

空気量: _____ % コンクリート温度: _____ °C 外気温 _____ °C

コンクリート中の塩化物量試験

		カンダブの読み	塩素イオン (%)
カ ン ダ ブ 貼 付		(_____)	(_____)
		(_____)	(_____)
		(_____)	(_____)
		塩素イオン平均値 (_____)	

塩化物量 (kg/m³) = $\frac{\text{単位水量 (kg/m}^3\text{)} \times \text{塩素イオン平均値}}{100}$

= $\frac{(\quad) \times (\quad)}{100}$ = (_____) kg/m³


コンクリート打設管理表

工事名：

打設日時： 年 月 日 自 : ~ 至 :

配車	数量	出荷時間	打設開始時間	打設終了時間	経過時間	配車	数量	出荷時間	打設開始時間	打設終了時間	経過時間
1	4.0	:	:	:	:	51	204.0	:	:	:	:
2	8.0	:	:	:	:	52	208.0	:	:	:	:
3	12.0	:	:	:	:	53	212.0	:	:	:	:
4	16.0	:	:	:	:	54	216.0	:	:	:	:
5	20.0	:	:	:	:	55	220.0	:	:	:	:
6	24.0	:	:	:	:	56	224.0	:	:	:	:
7	28.0	:	:	:	:	57	228.0	:	:	:	:
8	32.0	:	:	:	:	58	232.0	:	:	:	:
9	36.0	:	:	:	:	59	236.0	:	:	:	:
10	40.0	:	:	:	:	60	240.0	:	:	:	:
11	44.0	:	:	:	:	61	244.0	:	:	:	:
12	48.0	:	:	:	:	62	248.0	:	:	:	:
13	52.0	:	:	:	:	63	252.0	:	:	:	:
14	54.0	:	:	:	:	64	256.0	:	:	:	:
15	60.0	:	:	:	:	65	260.0	:	:	:	:
16	64.0	:	:	:	:	66	264.0	:	:	:	:
17	68.0	:	:	:	:	67	268.0	:	:	:	:
18	72.0	:	:	:	:	68	272.0	:	:	:	:
19	76.0	:	:	:	:	69	276.0	:	:	:	:
20	80.0	:	:	:	:	70	280.0	:	:	:	:
21	84.0	:	:	:	:	71	284.0	:	:	:	:
22	88.0	:	:	:	:	72	288.0	:	:	:	:
23	92.0	:	:	:	:	73	292.0	:	:	:	:
24	96.0	:	:	:	:	74	296.0	:	:	:	:
25	100.0	:	:	:	:	75	300.0	:	:	:	:
26	104.0	:	:	:	:	76	304.0	:	:	:	:
27	108.0	:	:	:	:	77	308.0	:	:	:	:
28	112.0	:	:	:	:	78	312.0	:	:	:	:
29	116.0	:	:	:	:	79	316.0	:	:	:	:
30	120.0	:	:	:	:	80	320.0	:	:	:	:
31	124.0	:	:	:	:	81	324.0	:	:	:	:
32	128	:	:	:	:	82	328.0	:	:	:	:
33	132.0	:	:	:	:	83	332.0	:	:	:	:
34	136.0	:	:	:	:	84	336.0	:	:	:	:
35	140.0	:	:	:	:	85	340.0	:	:	:	:
36	144.0	:	:	:	:	86	344.0	:	:	:	:
37	148.0	:	:	:	:	87	348.0	:	:	:	:
38	152.0	:	:	:	:	88	352.0	:	:	:	:
39	156.0	:	:	:	:	89	356.0	:	:	:	:
40	160.0	:	:	:	:	90	360.0	:	:	:	:
41	164.0	:	:	:	:	91	364.0	:	:	:	:
42	168.0	:	:	:	:	92	368.0	:	:	:	:
43	172.0	:	:	:	:	93	372.0	:	:	:	:
44	176.0	:	:	:	:	94	376.0	:	:	:	:
45	180.0	:	:	:	:	95	380.0	:	:	:	:
46	184.0	:	:	:	:	96	384.0	:	:	:	:
47	188.0	:	:	:	:	97	388.0	:	:	:	:
48	192.0	:	:	:	:	98	392.0	:	:	:	:
49	196.0	:	:	:	:	99	396.0	:	:	:	:
50	200.0	:	:	:	:	100	400.0	:	:	:	:

鉄骨加工工事における提出書類・ 試験・検査チェックリスト	文書番号	TY-18-DD1
	主管部署	設計室

		
構造設計 担当役員	担当者	検査者

工 事 名 : _____

鉄骨加工工場名 : _____

施工業者名 : _____

施工責任者 : _____ ⑩ _____

- ※ 次に掲げる必要書類の提出や各検査・試験を行った結果（合否）の確認をし、チェック（赤書きにて）すること。
- ※ 原則として、見え隠れ部分は全部材を撮影しデータ保管すること。
- ※ 製品検査は当社による立会を行うので、日程については打ち合わせを行うこと。
（製品検査前に社内検査記録書の提出をすること。）

【鉄骨製作前提出書類の確認】

- 日付
- ①工場製作要領書（記入項目例は別紙参照）－（A）の提出…………… （ / ）
 ※入熱・パス間温度管理方法の確認 …………… （ / ）
 - ②工事現場施工計画書（記入項目例は別紙参照）－（B）の提出…………… （ / ）
 - ③質疑書（納まりの提案等）の提出 …………… （ / ）
 - ④工作図の提出…………… （ / ）
 - ・一般図の確認……………
 （梁伏図、軸組図、柱脚図、アンカープラン、リスト）
 - ・基準図（溶接機準図、柱・梁の継手リスト
 その他の継手リスト〔小梁・ブレースなど〕）の確認……………
 - ・詳細図の確認……………
 （接合部、階段、デッキプレート割付、胴縁図、スリーブ図）
 - ・その他（飾り部材など）の詳細図の確認……………

【製作工場での検査、提出書類の確認】※全部材撮影のこと

日付

- ①現寸検査記録書（写真付）提出……………（ / ）
- ・テープ合わせの確認……………
（工事現場用のテープと現寸用テープの誤差の確認など）
 - ・基本寸法および角度の確認……………
（柱スパン、階高、直角度など）
 - ・接合部の確認……………
（溶接部の開先形状、部材形状、通しプレート方向
スカラップ、鉄筋貫通孔など）
 - ・継手部の確認……………
 - ・複雑な納まり部分の確認……………
 - ・仕上材取合の確認……………
（外装材ファスナー納まり、母屋・胴縁の割付けと取合方法など）
 - ・仮設用ピース取合の確認……………
（建入直しピース、吊りピース、足場取り付けピース、タラップなど）
- ※ 不合格や修正がでた場合、修正図の提出……………（ / ）
- ②材料規格証明書の提出……………（ / ）
- ③材料試験報告書の提出……………（ / ）
- ④社内自主検査報告書（写真付）の提出……………（ / ）
- ・寸法検査の確認……………
 - ・孔あけ加工の検査の確認……………
 - ・開先検査の確認……………
 - ・摩擦接合部の検査の確認……………
 - ・切断面の検査の確認……………
 - ・パス間温度管理状況の確認……………
 - ・組立検査の確認……………
（内ダイヤフラムの写真撮影〔仮組み・溶接前・溶接後の自主検査等〕）
 - ・外観、形状、寸法検査の確認……………
 - ・補修溶接再検査の確認……………
 - ・超音波探傷自主検査（100%）の確認……………
- ⑤製品検査報告書（写真付）の提出……………（ / ）
- ・社内検査、第3者検査の確認……………
 - ・溶接部（突合せ、すみ肉）外観検査の確認……………
 - ・出来高の確認……………
 - ・鋼種の確認（SAM STEEL CHECKER等による）……………
 - ・頭付きスタッド溶接検査の確認……………
 - ・寸法検査（部材寸法、階高、加工後基本寸法）の確認……………
 - ・塗装部検査（厚さ、外観）の確認……………
 - ・取合部検査（設備貫通孔補強含む）の確認……………
- ⑥第3者検査機関による超音波探傷検査報告書の提出……………（ / ）
（検査率については、構造図によるものとする。）

【工事現場での検査、提出書類の確認】※全部材撮影のこと

日付

- ①アンカーボルト据え付け検査（写真付）……………（ / ）
- ・位置、埋め込み精度の確認……………
 - ・ベースモルタルの品質、養生期間（3日以上）、充てん確認……………
 - ・アンカーボルトの養生……………
 - ・ナットの締付け（2重ナット）の確認……………
- ②建方検査（写真付）……………（ / ）
- ・建方精度の確認……………
 - ・安全性の確認（強風対策）……………
 - ・建方順序の確認……………
 - ・運搬方法の確認……………
 - ・仮締め高力ボルトの材料、径、本数等の確認……………
 - ・足場（作業性）の確認……………
- ③高力ボルト締付け検査（写真付）……………（ / ）
- ・材料、締付け機の確認……………
 - ・接合面、すべり係数の確認……………
 - ・締付け状況の確認……………
 - ・溶融亜鉛メッキ高力ボルトの場合有資格者であるかの確認……………
- ④工事現場溶接部検査報告書（写真付）の提出……………（ / ）
- ・技能者と技量資格の確認……………
 - ・外観検査の確認……………
 - ・溶接作業条件の確認……………
 - ・補修溶接再検査の確認……………
 - ・超音波探傷検査（自主検査、第3者検査とも100%）の確認……………
- ⑤工事現場塗装（防せい）検査……………（ / ）
- ・外観検査（乾燥時間、塗膜厚）の確認……………
 - ・塗膜損傷部の補修塗装の確認……………

⑥その他の検査（写真付）

日付

頭付きスタッドボルト検査 (/)

- ・有資格者の確認
- ・ピッチ径・位置の確認
- ・外観試験の確認
- ・打撃曲げ試験の確認

デッキ敷込み検査 (/)

- ・材料の確認
- ・接合部状況の確認
- (仮止め溶接も構造図により行うこと。)
- ・開口補強の確認
- ・段差補強受材取付状況の確認
- ・スラブ厚、配筋状況の確認
- (別に配筋チェックシートの提出有り)

耐火被覆検査 (/)

- ・付着面の確認（浮さび、油、ゴミ）
- ・指定材料工法の確認
- ・かさ比重、厚さの測定検査の確認
- ・再施工、補正結果の再検査の確認

【鉄骨工場製作要領書－（A）の記入項目】

1章 総則

適用範囲

適用図書ならびに準拠規準

（標準仕様書の適用項目あるいは適用除外項目）

変更・疑義・協議（疑義及び変更の処置）

作業者への徹底

2章 一般事項

工事概要（建物概要、工事範囲、製作期間、全重量など）

製作工場（名称、所在地）、認定書（写）、組織図及び業務分担表、技術者経歴、作業系統図、工場案内図及び配置図、設備機器一覧表

3章 材料

鋼材、高力ボルト、ボルト・ナット、溶接材料、スタッド、塗料

（使用材料種別・メーカー名や鋼材の識別方法、材料の保管方法材料試験検査の有無及び方法）

4章 工作図および現寸

工作図（工作図の作成要領）、現寸（現寸検査の内容）

5章 加工

材料きょう正、けがき、切断、開先加工、曲げ加工、逆ひずみ

孔あけ、仕上げ加工、高力ボルト接合摩擦面の処理

（各工程ごとの使用機械器具・加工要領）

6章 組立て

一般事項、組立て溶接、柱の製作順序、梁の製作順序

（組立て溶接の箇所、ビード長さ・ピッチの標準、溶接材料、溶接工の資格）

7章 溶接

一般事項、溶接工（溶接工技量試験）、溶接機、溶接材料の管理、溶接施工、入熱パス間温度管理、仕上げ（スラグ・スパッタの除去、エンドタブの切断など）、き

ょう正、不良溶接部の補修、スタッド溶接

8章 検査

工程検査（中間検査、溶接部検査など）、製品検査、溶接部の非破壊検査、精度標準（上記の項目に対し、検査機関、方法・箇所・個数・時期、検査標準と検査のフロー、報告形式などを記す）

9章 塗装

一般事項、素地調整、塗装（塗装の部位・種類・塗り回数、塗装環境）、工事現場溶接部の防せい塗装、溶融亜鉛メッキ（部位・仕様・施工方法、メッキ部の補修、保管方法）

10章 荷造りおよび輸送

荷造り（方法）、製品記号、搬入順序、輸送（輸送方法・経路・安全管理）

その他

代表的な伏図・軸組図、工程表、溶接工名簿、各種技能者名簿、機械器具のリスト、溶接基準図、製品検査記録書式など

【工事現場施工計画書－（B）の記入項目】

1章 総則

適用範囲

適用図書ならびに準拠規準

（標準仕様書の適用項目あるいは適用除外項目）

変更・疑義・協議（疑義及び変更の処置）

作業者への徹底

2章 工事概要

建築概要（構造概要）、工事範囲、作業工程表、工事現場及び周辺状況

3章 現場組織及び要員計画

工事担当組織、担当技術者、担当員、特殊技能者名簿

4章 製品搬入

場内搬入方法、場内運搬方法、仕分け・集積・地組のための場所

5章 仮設計画

仮設電力及び用水設備、各作業のための足場・仮設ステージ・支保工及び仮囲い、建方用機械のための仮補強など

6章 建方計画

建方用機械の種類及び能力、建方方法および順序、建方養生、建入れ直し、アンカーボルトのすえ付け方法および養生、ベースプレート下面のならし方法

7章 現場接合計画

7. 1 高力ボルト接合

一般事項（接合箇所、施工管理体制）、材料（ボルトの種類・径・長さ）、組み立て（ボルト孔、摩擦面の保護、フィラープレート・勾配座金の使用など）、締付け機器、締付け施工（仮ボルト、締付け順序、トルク管理）

7. 2 工事現場溶接

一般事項（接合箇所、溶接工法と継手形状、施工管理体制）溶接技能者（氏名・技量資格）、溶接機（溶接法と適用鋼種・板厚、専用電源と容量）、溶接材料（種類および管理方法）、溶接施工（溶接順序、天候管理、開先管理、溶接条件、予熱）、不良溶接部の補修

8章 検査

アンカーボルト及び定着部、建方精度、接合部（高力ボルト、工事現場溶接）、塗装、頭付きスタッド、デッキプレート、耐火被覆など
（上記の項目に対し、検査機関、方法・箇所・個数・時期、検査標準と検査フロー、報告形式などを記す）

9章 他工事との関連

地下工事、鉄骨以外の躯体工事、仕上げ工事、外装工事、設備工事、その他との調整

10章 安全管理

安全衛生管理体制、作業主任者、各種業務有資格者名簿、安全衛生委員会、安全衛生教育、危険・健康障害を防止するための措置

その他

水張り試験実施報告書

文書番号

TY-18-DE1

主管部署

設計室

実施日： 年 月 日

(写 真)

満水状況

(写 真)

2 時間後

所見

実施責任者

印

外壁全面散水試験実施要領	文書番号	TY-18-DE2
	主管部署	設計室

重点実施箇所（必ず試験前に事前検査を行う事）

鉄筋コンクリート造

- サッシ廻りのモルタル詰め（特に掃出しの下部廻り）
- サッシ廻りのコーキング

鉄骨造・木造

- コンクリート巾木～水切り取合いコーキング
- 外壁材ジョイント部
- 外壁材の割れ
- パラペット廻り
- コーキング
- 特に端部が切れていないか
- 開口部廻りは隙間なく塞がっているか
- サッシ自体のコーキングは全て完了しているか
- コンクリート巾木と開口部の取合い（掃出しサッシ、配線・配管類）
- 庇と外壁取合い部
- バルコニーと外壁取合い部
- 縦樋掴み金物
- タラップ受け金物貫通部

増改築工事

- 既存建物接続部(既存接続前に既存部分の散水試験を行う)
- エキスパンション・ジョイント

共通部位

- ベントキャップ貫通部
- 外部配線貫通部
- 冷媒、ドレン配管貫通部
- 外壁看板設置部分

実施要領

- ・ 上記部位を1箇所あたり最低**5分間**散水を行う
- ・ 散水はシャワー水栓にて行い、放水器具を固定して行う
- ・ 散水は下部より順に行い、終了後五分間経過した後次の部位を開始する
- ・ メンテフリーチェック項目にある部位はメンテナンスフリー写真台帳にも
写真を掲載すること
- ・ 内部への漏水確認ができるよう散水試験実施後内装工事スタートとする
(当初工程で上記を必ず見込むこと)

外壁全面散水試験実施報告書

文書番号

TY-18-DE3

主管部署

設計室

実施日： 年 月 日

(写 真)

散水状況

(写 真)

内壁状況

所見

実施責任者

印

※ ①高圧洗浄機を使用して、試験をすること。

②既存接続部がある場合は、接続前に既存部分の散水試験を行うこと

通水試験実施報告書

文書番号

TY-18-DE4

主管部署

設計室

実施日： 年 月 日

(写 真)

通水状況

(写 真)

配管状況

所見

実施責任者

印

耐压試験実施報告書

文書番号

TY-18-DE5

主管部署

設計室

実施日： 年 月 日

(写 真)

耐压状況

(写 真)

配管状況

所見

実施責任者

印

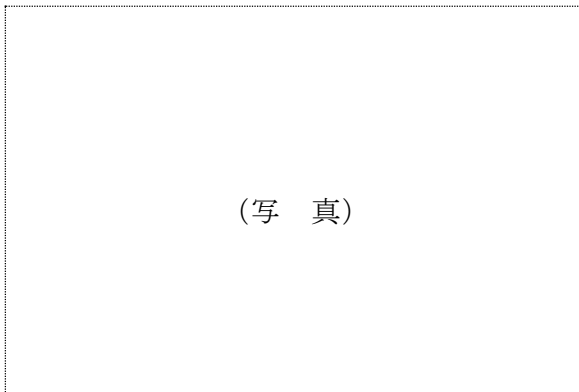
タイル接着力試験実施報告書	文書番号	TY-18-DF1
	主管部署	設計室

実施日： 年 月 日

- ※ 試験ヶ所数は、100㎡ごと及びその端数につき1ヶ所以上、かつ、全体で3ヶ所以上とする。
- ※ 試験ヶ所と試験結果が解る報告書を添付して、提出すること。



検査状況



検査状況

所見

実施責任者

印

木材含水率検査実施報告書	文書番号	TY-18-DG1
	主管部署	設計室

報告日： 年 月 日

- ※ 検査ヶ所数は、各外壁面ごと及び構造材、造作材・下地材それぞれについて、搬入時及び仕上工事前に行い、含水率計の数値が明確に認識できる写真を添付すること。
- ※ 検査ヶ所と試験結果が解る報告書を添付して、提出すること。

構造材（標準仕様書基準：20%以下）

<div style="border: 1px dotted black; padding: 20px; min-height: 150px;"> <p style="font-size: 24px;">（搬入時写真）</p> </div>	<div style="border: 1px dotted black; padding: 20px; min-height: 150px;"> <p style="font-size: 24px;">（仕上工事前写真）</p> </div>
検査日 年 月 日	検査日 年 月 日

造作・下地材（標準仕様書基準：18%以下）

<div style="border: 1px dotted black; padding: 20px; min-height: 150px;"> <p style="font-size: 24px;">（搬入時写真）</p> </div>	<div style="border: 1px dotted black; padding: 20px; min-height: 150px;"> <p style="font-size: 24px;">（仕上工事前写真）</p> </div>
検査日 年 月 日	検査日 年 月 日

所見	

実施責任者 _____ 印

定 礎 作 成 要 領

文書番号

TY-18-DH1

主管部署

設計室

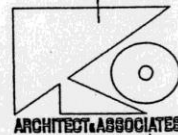
定

(文字：鏡面仕上げ)

礎

1 9 9 5

グリーン・DIC11版174番
(焼付塗装)



(文字：鏡面仕上げ)

設計 監理

株式会社

東条設計

文字：黒 (文字については指定ロゴとします)

施 工

(シルバー梨地仕上)

竣 工 検 査 願 書	文書番号	TY-18-E1
	主管部署	設計室

年 月 日

株式会社 東条設計 殿

施工者

代表取締役

印

下記の通り工事が竣工致しましたので、竣工検査をお願い致します。

記

- | | | |
|---------------------------|---------|---------|
| 1. 設計番号 | 工事名称 | 新築工事 |
| 2. 社内検査 | 年 月 日実施 | 検査記録書添付 |
| ・水質検査 | 年 月 日実施 | 検査報告書添付 |
| ・V O C検査 | 年 月 日実施 | 検査報告書添付 |
| 3. 関係官庁完了検査 | 年 月 日実施 | 検査記録書添付 |
| 4. 消防検査 | 年 月 日実施 | 検査記録書添付 |
| 5. 現場自主検査チェックシート添付 | | |
| 6. 竣工検査日 | 年 月 日 | |
| 7. 建物引渡日 | 年 月 日 | |
| 8. 竣工図書提出予定日 (引渡日より40日以内) | 年 月 日 | |

ISO室	総務室	社長	技術管理	主幹	担当者

竣 工 検 査 願 書 (記入例)	文書番号	TY-18-E2
	主管部署	設計室

2019年 1月 10日

株式会社 東条設計 殿

施工者

〇〇〇市〇〇丁目〇〇番地

〇〇会社 〇〇〇〇

代表取締役 〇〇 〇〇 印

下記の通り工事が竣工致しましたので、竣工検査をお願い致します。

記

1. 設計番号211044 工事名称 〇〇ビル 新築工事

2. 社内検査 2019年 1月 5日実施 検査記録書添付
 - ・水質検査 2019年 1月 6日実施 検査報告書添付
 - ・VOC検査 2019年 1月 9日実施 検査報告書添付

3. 関係官庁完了検査 2019年 1月 8日実施 検査記録書添付

4. 消防検査 2019年 1月 8日実施 検査記録書添付

5. 現場自主検査チェックシート添付

6. 竣工検査日 2019年 1月 15日 午後13:00

7. 建物引渡日 2019年 1月 25日 午前8:00

8. 竣工図書提出予定日 (引渡日より40日以内) 2019年 2月20日

ISO室	総務室	社長	技術管理	主幹	担当者
	/	/	/	/	/

竣 工 検 査 準 備 品	文書番号	TY-18-E3
	主管部署	設計室

項 目	確認
1. ダメ記入表（現場サイドで作成）	
2. 設計図書（縮小平面図を現場用と東条設計用、計2部準備）	
3. コンセント通電試験器（音が出るタイプ）	
4. 掃除孔	
5. 懐中電灯	
6. 設計変更書類	
7. 監理要綱書	
8. 2M程度のスケール	
9. 社内検査 記録書	
10. 換気扇すい込検査器	
11. 脚立	
12. マグネット	
13. 手カガミ	
14. 矩尺	
15. フセン（通し番号を事前に記入）	
16. 水の入ったペットボトル	
他) 1. 主要下請の責任者（できれば社長）の立会い。 2. 引渡し書のチェックを行う。 3. 洗面、浴室等は事前に水張りしておく。（給湯ヶ所はお湯張り） 4. 空調の設定温度、吹き出し温度は事前に調査の上提出のこと。 5. 竣工検査記録書は手直し検査までにワープロ化しておくこと。	

社内検査記録書（設備－１）	文書番号	TY-18-E5
	主管部署	設計室

本建築物の設備工事において、該当する項目を下記のとおり確認しました。

【給排水設備】

部 位	項 目	確認欄
1. 洗濯パン廻り	洗濯パンは事前に取外し、洗濯水栓にビニルホース約2mを取付け、トラップに入れておく	<input type="checkbox"/>
	洗濯水栓を手で動かしてがたつきがないことを確認	<input type="checkbox"/>
	床開口から排水管及びフレキ接続部の漏水有無を小型懐中電灯にて確認（勾配も目視にて確認）	<input type="checkbox"/>
	浴槽満水から排水して、逆流・破封がないことを確認	<input type="checkbox"/>
	石綿二層管の目地詰めが評定工法通りに施工されているか確認	<input type="checkbox"/>
	床点検口内の清掃状況の確認	<input type="checkbox"/>
	水栓、コンセント位置の統一性の確認	<input type="checkbox"/>
	水栓廻りのボード、クロス状況確認	<input type="checkbox"/>
2. 流し台廻り	事前に背板点検口を取外しておく	<input type="checkbox"/>
	背板裏建築床開口が空けてあり、及び清掃状況の確認	<input type="checkbox"/>
	小型勾配計にて排水管勾配（流し台内部、背板裏配管）の確認	<input type="checkbox"/>
	排水管の支持がレベルバンド等ではがたつくことなく、支持されているのか確認	<input type="checkbox"/>
	石綿二層管の目地詰めが評定工法通りに施工されているかの確認	<input type="checkbox"/>
	給水管、給湯管に止水栓が取付けてあり、止水栓下部近辺で適正に支持（がたつきがない）されているかの確認	<input type="checkbox"/>
	水栓の既製管がきれいに“ハ”の字型になっているかの確認	<input type="checkbox"/>
	食器洗浄機の排水20Aは、耐熱塩ビ管が使用され、適正に支持されていることを確認	<input type="checkbox"/>
	ガス配管が電気ケーブルに接触していないことを確認	<input type="checkbox"/>
	各配管の接続部、排水トラップの漏水有無を素手で確認	<input type="checkbox"/>
	流し台内部の配管貫通部のシーリングプレート及びワン座取付状況確認	<input type="checkbox"/>
	給湯リモコンスイッチの動作及び取付状況の確認	<input type="checkbox"/>
	ガスコンロの着火、燃焼の確認	<input type="checkbox"/>
カウンターと洗面ボールとの間のコーキングされているか。	<input type="checkbox"/>	

部 位	項 目	確認欄
3. ユニットバス廻り	<p>追焚管の施工（浴槽本体への支持等）が適正に行われていることの確認 <input type="checkbox"/></p> <p>排水目皿廻りの清掃状況の確認 <input type="checkbox"/></p> <p>浴槽本体から排水目皿までのUB工事の排水既製管からの漏水有無の確認 <input type="checkbox"/></p> <p>各水栓の接続部からの漏水有無を素手で確認 <input type="checkbox"/></p> <p>シャワー圧力を目視にて確認 <input type="checkbox"/></p> <p>自動湯張り、追焚等がリモコン操作で正常作動するかの確認 <input type="checkbox"/></p> <p>水栓から湯が出るかの確認 <input type="checkbox"/></p> <p>浴槽満水からの排水でUB洗い場及び洗濯パンへの逆流、破封がないかの確認 <input type="checkbox"/></p> <p>UB天板部の清掃状況の確認及び上階の漏水の確認 <input type="checkbox"/></p> <p>■ サヤ管ヘッダーが天井内に設置されている場合</p> <p>1. サヤ管の行先表示の確認 <input type="checkbox"/></p> <p>2. 給水ヘッダーの保温状況の確認 <input type="checkbox"/></p> <p>3. ヘッダーの固定状況及び、漏水有無の確認 <input type="checkbox"/></p> <p>4. 樹脂管が見えないようにサヤ管が適正に施工されているかの確認 <input type="checkbox"/></p> <p>5. サヤ管の支持ピッチが適正に施工されているかの確認 <input type="checkbox"/></p> <p>6. サヤ管、電気BOX、ケーブル等の整理状況の確認 <input type="checkbox"/></p>	
4. 洗面化粧台	<p>点検口内の清掃状況の確認 <input type="checkbox"/></p> <p>給水管、給湯管の接続部が底板より上で納めてあることの確認 <input type="checkbox"/></p> <p>排水Sトラップの接続が排水アダプター接続になっているかの確認 <input type="checkbox"/></p> <p>石綿二層管の目地詰めが評定工法通りに施工されているかの確認 <input type="checkbox"/></p> <p>給水管、給湯管に止水栓が取り付けてあり、手で動かしてがたつきがないことの確認 <input type="checkbox"/></p> <p>床開口かまら配管の漏水の有無を小型懐中電灯、鏡を使って確認 <input type="checkbox"/></p> <p>配管接続部、排水トラップの漏水有無を素手で確認 <input type="checkbox"/></p> <p>配管貫通部のシーリングプレート、ワン座等の取付状況の確認 <input type="checkbox"/></p> <p>■ サヤ管ヘッダーが設置されている場合</p> <p>1. サヤ管の行先表示の確認 <input type="checkbox"/></p> <p>2. 給水ヘッダーの保温状況の確認 <input type="checkbox"/></p> <p>3. ヘッダーの固定状況及び、漏水有無の確認 <input type="checkbox"/></p> <p>4. 樹脂管が見えないようにサヤ管が適正に施工されているかの確認 <input type="checkbox"/></p> <p>タオル掛けの取付状況（がたつき）の確認 <input type="checkbox"/></p> <p>従来工法の給水管、給湯管の樹脂サドルに水流音防止ゴムシートが施工させているかの確認（床点検口より） <input type="checkbox"/></p>	

部 位	項 目	確認欄
5. 便器	給水管接続部からの漏水有無を素手で確認	<input type="checkbox"/>
	給水配管貫通部のワン座等の取付状況の確認	<input type="checkbox"/>
	大便器の排水状況、吐水量状況の確認	<input type="checkbox"/>
	サニタリ管接続部の漏水有無を素手で確認	<input type="checkbox"/>
	最下階以外の直床設置の場合の防振シートの取付状況の確認	<input type="checkbox"/>
	便器、蓋裏、ペーパーホルダー、シールはがしの清掃状況の確認	<input type="checkbox"/>
	ペーパーホルダー、タオル掛けの取付状況(がたつき)の確認	<input type="checkbox"/>
	大便器排水管の漏水状況を点検口(床、壁)から目視にて確認	<input type="checkbox"/>
	大便器取付状況確認；締め付けが堅固になされているか？	<input type="checkbox"/>
6. その他	掃除口のキャップ、ボルトの締め付け状況の確認	<input type="checkbox"/>
	石綿二層管の目地詰めが評定工法通りに施工されているかの確認	<input type="checkbox"/>
	金属管の保温状況の確認	<input type="checkbox"/>
	伸頂通気を天井内配管している場合、先上がり勾配になっているかの確認	<input type="checkbox"/>
	バルコニー設置湯沸器の外壁配管貫通部の雨水処理対策状況の確認	<input type="checkbox"/>

【空調設備】

部 位	項 目	確認欄
1. バス乾燥機、浴室天井扇	UB本体との隙間のパッキン又は、アルミテープ処理状況の確認	<input type="checkbox"/>
	排気ダクト、フレキの勾配確認	<input type="checkbox"/>
	ダクトとケーブルが接触していないことの確認	<input type="checkbox"/>
	■バス乾燥機、浴室天井扇の取付状況確認 1. 躯体より適正に支持されているかの確認	<input type="checkbox"/>
	リモコン作動及び振動、異音の確認	<input type="checkbox"/>
	中間ダクトファンの場合、ドレン配管をUB本体まで施工されているかの確認	<input type="checkbox"/>
2. 天井扇	ティッシュペーパー等で作動状況、振動、異音の確認	<input type="checkbox"/>
	パネルの曲りの確認	<input type="checkbox"/>
	天井面の汚れ、隙間の確認	<input type="checkbox"/>

部 位	項 目	確認欄
3. 空調機	ドレン配管が適正に施工されているかの確認 1時間以上作動させて作動状況、ドレン状況の確認 架台及び固定方法の確認	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
4. ベンドキャップ	壁面との隙間処理状況の確認 150φ以上FD付になっているか確認 レンジフード用給気口150φの有無、FD付の確認 妻側及び雨線外取り付けの内外コーキング状況の確認	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
5. MB	貫通部の穴埋め状況、清掃状況の確認 床仕上がり外勾配になっていることの確認 配管の漏水有無、配管支持、保温状況の確認 サヤ管の支持、整理状況の確認 給湯器接続口までサヤ管で施工されているかの確認 設備配管が邪魔になって電気BOX及び盤が点検できないようになっていないかの確認 ガス管とケーブルが接触していないことの確認 配管、保温材にモルタル付着有無の確認 バルブ開閉表示札の取付けの確認	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
6. 外構	■排水勾配の確認 1. 1/配管口径の2サイズダウン～1/配管口径に入っているかの確認 2. 事前に排水管レベル（雨水含む）を測量し、測定したデータを外構図に表にて記入し、柵間勾配計算も記入し、提出 3. 柵内での流入、排水管底差は、汚水では30mm以内を原則とする（流入管が複数あっても同じ） 柵内のインバート、目地詰め仕上げ、マンホール蓋の鎖固定等が適正に施工されていることの確認 ピンポン玉などの通水試験 1. 最上階の大便器、流し台より各1ケづつ流し、敷地内第一柵までに到着する時間を測定する。 2. 自主検査は、すべての器具から試験したデータを検査員に提出する。 排水管が途中で折れていないか棒付検査鏡で確認	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

部 位	項 目	確認欄
	マンホール、枳内の清掃状況の確認 ドロップ枳、トラップ枳の施工状況の確認	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
7. 排水ポンプ	実際にビニルホースで釜場に水を張って、実際の作動（単独運転、同時運転）が正常に動作するかの確認 同時運転の主配管への接続が45° 接続になっているかの確認 汚水ポンプ・雨水ポンプは必ず、槽内に入らずにポンプが引上げられるかの確認及びバルブ操作がマンホールより操作できるかの確認 湧水釜場内で満水警報が出るかの確認 底盤より30mm以上カサ上げした上にポンプが設置されているかの確認	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
8. 受水槽	水槽本体廻りにすべてフレキが使用されているかの確認 ポンプ吸込管へのフレキは、PT2山を使用しているかの確認 ■ オーバーフロー試験 2槽式のうち1槽を使って試験する（連通弁は、全閉、電極切替含） 1. ボールタップでの定水位停止レベルを測定 2. ボールタップを手で下げて、満水発報レベルを測定 3. ボールタップをさらに下げてオーバーフローするレベルを測定 4. オーバーフローの水が、排水ポンプで完全に排水できることを確認 ■ 渴水試験 1. 連通弁を全閉にして、2槽式のうち1槽を排水弁を全開にして渴水発報レベルを測定する（電極切替含） 2. 渴水発報時に給水ポンプが停止することを確認 3. 受水槽給水口より給水ポンプサクション管レベルが低く、エア一溜りがないことを確認 測定結果より受水槽有効容量を算出し、設計図通りの有効容量が確保されていることを確認 配管接続部の漏水有無の確認 バルブ表示札の取付状況の確認	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

部 位	項 目	確認欄
	湯沸器設置がある場合、電源・リモコン配管工事（金属製プリカ管）の経路・支持を確認（ガスメーター検針に支障ない経路となっているか確認）	<input type="checkbox"/>
	自動火災報知設備の中継試験器・TV盤・端子盤が設置されている場合、点検スペースが十分な状況か確認	<input type="checkbox"/>
	■分電盤 盤の電流制限器・主開閉器（漏電遮断器）の容量・回路構成数、及び最大容量、表示の確認	<input type="checkbox"/>
	消防設備上のインターホン回路にロックストッパー取付の確認 通常操作で遮断しない主旨の表示を貼付する（赤文字）	<input type="checkbox"/>
	物入れ内に設置の場合は、扉との隙間を小さくしてあるか、且つ物を置かれない措置として、注意表示を貼付している状況を確認	<input type="checkbox"/>
	回路名称・注意事項は、タイプ打ち、ワープロ又はテプラに記入	<input type="checkbox"/>
	絶縁抵抗測定を容易にできるように端子台を設けてあるか、措置対応できる状況を確認	<input type="checkbox"/>
	漏電遮断器の動作試験テストボタンをテストとし、動作状況の確認、及びアース付コンセントによる短絡試験を実施	<input type="checkbox"/>
	盤内へ接地線の取付状況を確認	<input type="checkbox"/>
	各分岐ブレーカーにて共ばさみは不可、及び配線で銅の素線が見えているものは不可とする	<input type="checkbox"/>
	■照明点灯試験・電圧極性の確認（回路チェックを含む） 検査に使用するために、次の機器を準備する ①テスター ②コンテスター ③チェッカー ④確認灯	<input type="checkbox"/>
	分電盤の主開閉器を投入し、電圧の確認	<input type="checkbox"/>
	分岐回路の表示を確認し、1分岐回路を投入し照明器具の点滅状況・極性・電圧を確認	<input type="checkbox"/>
	スイッチの点滅配列・パイロットランプ付（オンピカ・ホテル）・3路スイッチ・ネームスイッチのネームの確認	<input type="checkbox"/>
	台所用換気ファン・便所換気ファンの作動状況の確認	<input type="checkbox"/>
	ガス給湯器・給湯リモコンの電源表示及び回路の確認	<input type="checkbox"/>
	浴室乾燥機がある場合も電源表示・回路・操作状況の確認	<input type="checkbox"/>
	引掛シーリングは、確認灯又はチェッカーにて点滅点灯を確認	<input type="checkbox"/>
	照明器具のランプ仕様・器具取付・固定状況の確認	<input type="checkbox"/>
	■コンセント設備 情報用コンセントは、コンセント・TV端子・電話の並びを確認、及びボックス内に取り付けるセパレーターの有無を確認	<input type="checkbox"/>
	コンセントの電圧・極性をコンテスター又はテスターにて確認	<input type="checkbox"/>

部 位	項 目	確認欄
	エアコン用コンセントの仕様とフラット型アース付きかを確認し、電圧・極性の確認	<input type="checkbox"/>
	バルコニー設置の防水型コンセント・湯沸器用電源・リモコン線引出プレートの周囲のシーリングの確認	<input type="checkbox"/>
	食器洗い器・電子レンジ付きガスコンベクション用のフラットアース付コンセントには、点検口に表示貼付の確認、及び電源ケーブルとガス管との離隔が確保されているかの確認	<input type="checkbox"/>
	■ ガス漏れ警報器 1. ガス漏れ警報器は、ガスの種類(都市ガス・LPG)により、取付高さが異なるため取付高さの確認 2. ガス漏れ警報器の有効期限記載確認 3. ガス漏れ警報器は、インターホンに接続され親機とドアホン子機の警報を確認	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	レンジフード用コンセントはアース付コンセントを使用し、堅固に固定されているかを確認	<input type="checkbox"/>
	レンジフードダクト、及び本体とFケーブルとが接触していないかを確認	<input type="checkbox"/>
	アース端子付コンセントはコンテスターによりアースがされているかどうか確認し、さらに+極とアース間の短絡試験により分電盤ELBが作動するか確認	<input type="checkbox"/>
	■ ユニットバス天井点検口よりの確認 配線状態が整線されているか確認	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	スラブに不用なインサートクギが切断され防せい処理がなされているか確認	<input type="checkbox"/>
	仮設ケーブルがスラブ根本から切断撤去されているか確認	<input type="checkbox"/>
	弱電ケーブル、ダクト、換気扇、及びバス乾とFケーブルが接触していないか確認	<input type="checkbox"/>
	ジョイントボックス、及びケーブルがスラブより支持されているか確認	<input type="checkbox"/>
	テレビ分配器に接続された同軸ケーブルに行先表示があるか確認	<input type="checkbox"/>
	■ 共用設備 電灯分電盤の回路構成数・回路表示・主管ブレーカーがMCBであることを確認	<input type="checkbox"/>
	屋外照明器具・共用屋外コンセント・エアコン用回路・外廊下照明・屋外階段照明と湿潤箇所への漏電遮断器の取付、及び作動状況の確認	<input type="checkbox"/>
	電灯コンセント回路で電線互長が長くなる電源の電線・ケーブルサイズの確認	<input type="checkbox"/>
	1. 電圧降下を考慮し、電源側の互長40m以上の時は、5.5mm ² 以上のサイズにしてあるか確認	<input type="checkbox"/>
	玄関ホール・廊下・メールコーナー等の自動点滅・タイマー作動試験を確認	<input type="checkbox"/>
	1. タイマー回路の自動・手動・切の操作・作動状況の確認	<input type="checkbox"/>

部 位	項 目	確認欄
	受水槽・消火水槽の満水・減水警報 1. 水槽の給水ポンプを開放にして満水条件にし、警報確認 2. 水槽の排水ポンプを開放にて減水条件にし、警報確認 機械駐車場制御盤の故障警報を注出し、警報確認 消防設備ポンプ類・運転制御を注出し、警報確認	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
6. 避雷針設備	接地抵抗測定用端子箱の銘板刻印（測定日時・接地極仕様・測定結果）を確認 接地抵抗試験を実施し、10Ω以下であることを確認 端子盤内の確認 1. 測定端子箱、中継端子箱内の電線接続状況と接続箱の通線口のシールの確認 突針と支持管の接続は确实強固に行っているか、素手にて振動を与え確認 支持管の仕様確認（納入仕様書にて確認 STK管・SGP管・黄銅管） 避雷針、棟上げ導体、又は避雷導体と1.5m以内にある金属体の接地工事 1. 金属体とはタラップ、通気口、水槽架台・配管材等 2. 金属体との接地は、14mm ² 以上の電線使用 コンクリート基礎とベースの隙間には弾性シール材施工、及びアンカボルトのナット（ダブルナット）部は防水シールを施し、ビニールキャップを装着する 突針2本以上のときは相互間を鬼より線2.0mm×13本以上（又は銅棒）を露出配線とし、支持間隔1m以内とし垂れ下がりのない支持かを確認 自立型ベースの避雷針は、支持管長により風圧対策として4方向支持を確認する 特に測定用補助接地極が施工されているか、施工図と比べて確認する	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

検査項目		試験方法	実施するものにch	備考
検査対象				
電	5. 避雷針設備	接地抵抗試験	<input type="checkbox"/>	
	6. テレビ共同受信設備	受信レベル試験	<input type="checkbox"/>	
		画質評価試験	<input type="checkbox"/>	
ゴースト評価試験		<input type="checkbox"/>		
7. 中央監視設備	作動試験	<input type="checkbox"/>		
8. 消防設備	自動火災報知設備他	<input type="checkbox"/>		
	オートロックシステムの火報連動試験	<input type="checkbox"/>		
気	9. インターホン設備	作動試験	<input type="checkbox"/>	
		テレビモニター作動試験	<input type="checkbox"/>	
		絶縁抵抗試験	<input type="checkbox"/>	
10. 電話設備	導通試験	<input type="checkbox"/>		

【空調・換気設備】

検査項目		試験方法	実施するものにch	備考	
検査対象					
空調設備	1. 配管	漏洩	冷媒管空圧試験	<input type="checkbox"/>	
			ドレン管通水試験	<input type="checkbox"/>	
	2. 空調機	作動	作動試験	<input type="checkbox"/>	
換気設備	送排風機	風量	天井扇、バス乾燥機、レンジフードの風速	<input type="checkbox"/>	
			同上作動試験	<input type="checkbox"/>	
			吹出口、吸込口の風速	<input type="checkbox"/>	
			レンジフードチャッキダンプ開閉	<input type="checkbox"/>	

検査対象		検査項目	試験方法	実施するものにch	備考
自動制御設備	1. 温度制御	作動	温度設定	<input type="checkbox"/>	
			作動試験	<input type="checkbox"/>	
	2. 湿度制御	作動	湿度設定	<input type="checkbox"/>	
			作動試験	<input type="checkbox"/>	

【衛生設備】

検査対象		検査項目	試験方法	実施するものにch	備考	
給水設備	1. 給水引込管	給水引込量	量水器の読み	<input type="checkbox"/>		
			受水タンクの増水量	<input type="checkbox"/>		
		水質	水質検査	<input type="checkbox"/>		試験所書式
	2. 受水槽	漏洩	満水試験、減水試験	<input type="checkbox"/>		
			溢水排水能力	オーバーフロー試験		<input type="checkbox"/>
	3. 高架水槽	漏洩	満水試験、減水試験	<input type="checkbox"/>		
			溢水排水能力	オーバーフロー試験		<input type="checkbox"/>
	4. 給水ポンプ	揚水量	量水器の読み	<input type="checkbox"/>		
			受水(高架)タンクの減(増)水量	<input type="checkbox"/>		
			揚程	<input type="checkbox"/>		
			電流値	<input type="checkbox"/>		
			ポンプ作動試験	<input type="checkbox"/>		
			給水負荷試験	<input type="checkbox"/>		
	5. 給水管	漏洩	水圧試験 (必ずメーター設置後に行う事)	<input type="checkbox"/>		
			高架タンクによる満水試験	<input type="checkbox"/>		
		給水圧力	各メーターの一次側水圧	<input type="checkbox"/>		
		ウォーターハンマー	シングルレバーの入切試験	<input type="checkbox"/>		

検査対象		検査項目	試験方法	実施するものにch	備考
給湯設備	1. 給湯管	漏洩	水圧試験	<input type="checkbox"/>	
		給湯圧力	水圧	<input type="checkbox"/>	勾配・水圧試験他チェック表
		給湯量	シャワーの給湯量	<input type="checkbox"/>	
		給湯温度	温度	<input type="checkbox"/>	
	2. 湯沸器	機能	メーカー点検調整	<input type="checkbox"/>	メーカー標準
			沸き上がり時間	<input type="checkbox"/>	
			リモコン作動試験	<input type="checkbox"/>	
ガス設備	ガス管	耐圧	耐圧試験	<input type="checkbox"/>	ガス会社標準
		漏洩	気密試験	<input type="checkbox"/>	
		エア抜き	着火試験	<input type="checkbox"/>	
消火設備		機能	外観試験	<input type="checkbox"/>	消防法による
排水・通気設備	1. 排(汚)水ポンプ	排水量	排水槽の減水量	<input type="checkbox"/>	
			受水槽オーバーフロー量と排水量との比較試験	<input type="checkbox"/>	
			電流値(動力の場合)	<input type="checkbox"/>	
	2. 排(汚)水管及び通気管	排水及び通気状況	流水観察	<input type="checkbox"/>	
			ピンポン玉等試験	<input type="checkbox"/>	
			勾配	<input type="checkbox"/>	
	漏洩	満水試験	<input type="checkbox"/>	施工中のチェック表	
		通水試験	<input type="checkbox"/>		
	3. 屋外排(汚)水管	流水状況	流水観察	<input type="checkbox"/>	
			会所柵の流水観察	<input type="checkbox"/>	
勾配・詰り		ピンポン玉等試験	<input type="checkbox"/>		
		鏡試験	<input type="checkbox"/>		
管底深さ	<input type="checkbox"/>	施工図に実測値記入			

竣 工 検 査 記 録 書	文書番号	TY-18-E7
	主管部署	設計室

手 直 し 検 査 最 終 確 認				竣工検査立会者(敬称略)	
発注者	社長	技術管理者	担当者	施 主： 監理者： 施工者：	
/	/	/	/		

No. 1

設 計 番 号		検 査 日	年 月 日
工 事 名		再 検 査 日	年 月 日

No.	室名	箇所	指 摘 事 項			チェック		
						1	2	FB
1			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
21			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
22			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
23			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
24			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
25			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
26			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
27			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
28			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
29			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
30			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(注意) 手直し検査最終確認欄の押印は手直し終了後とする。
 チェックについては東条設計が行うものとする。
 押印後のものを竣工書類に添付すること。

No.	室名	箇所	指摘事項			チェック		
						1	2	FB
31			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
32			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
33			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
34			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
35			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
36			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
37			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
38			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
39			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
40			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
41			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
42			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
43			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
44			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
45			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
46			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
47			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
48			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
49			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
50			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
51			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
52			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
53			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
54			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
55			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
56			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
57			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
58			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
59			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
60			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
61			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
62			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
63			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
64			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
65			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
66			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
67			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
68			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
69			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				
70			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール				

No.	室名	箇所	指摘事項			チェック		
						1	2	FB
71			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
72			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
73			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
74			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
75			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
76			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
77			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
78			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
79			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
80			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
81			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
82			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
83			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
84			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
85			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
86			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
87			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
88			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
89			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
90			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
91			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
92			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
93			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
94			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
95			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
96			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
97			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
98			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
99			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
100			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
101			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
102			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
103			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
104			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
105			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
106			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
107			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
108			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
109			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
110			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

No.	室名	箇所	指摘事項			チェック		
						1	2	FB
111			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
112			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
113			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
114			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
115			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
116			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
117			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
118			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
119			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
120			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
121			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
122			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
123			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
124			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
125			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
126			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
127			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
128			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
129			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
130			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
131			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
132			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
133			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
134			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
135			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
136			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
137			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
138			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
139			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
140			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
141			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
142			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
143			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
144			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
145			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
146			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
147			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
148			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
149			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
150			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

No.	室名	箇所	指摘事項			チェック		
						1	2	FB
151			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
152			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
153			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
154			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
155			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
156			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
157			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
158			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
159			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
160			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
161			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
162			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
163			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
164			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
165			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
166			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
167			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
168			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
169			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
170			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
171			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
172			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
173			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
174			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
175			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
176			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
177			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
178			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
179			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
180			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
181			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
182			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
183			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
184			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
185			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
186			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
187			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
188			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
189			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
190			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

No.	室名	箇所	指摘事項			チェック		
						1	2	FB
191			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
192			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
193			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
194			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
195			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
196			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
197			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
198			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
199			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
200			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
201			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
202			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
203			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
204			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
205			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
206			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
207			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
208			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
209			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
210			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
211			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
212			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
213			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
214			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
215			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
216			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
217			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
218			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
219			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
220			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
221			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
222			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
223			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
224			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
225			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
226			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
227			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
228			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
229			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
230			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

No.	室名	箇所	指摘事項			チェック		
						1	2	FB
231			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
232			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
233			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
234			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
235			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
236			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
237			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
238			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
239			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
240			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
241			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
242			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
243			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
244			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
245			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
246			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
247			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
248			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
249			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
250			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
251			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
252			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
253			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
254			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
255			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
256			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
257			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
258			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
259			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
260			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
261			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
262			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
263			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
264			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
265			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
266			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
267			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
268			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
269			<input type="checkbox"/> キズ・補修	<input type="checkbox"/> 調整	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
270			<input type="checkbox"/> クリーニング	<input type="checkbox"/> シール	<input type="checkbox"/> 共通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

引渡書類目録及びチェックリスト	文書番号	TY-18-F1
	主管部署	設計室

【お施主様用】（提出は東条設計とする。）

- 1. 工事竣工届 □
- 2. 建築物引渡書・引受書 □
- 3. 竣工検査記録書・念書（原本） □
- 4. 官公署・事業会社の許可書類一覧表 □
 - ①確認済証 □
 - ②検査済証 □
 - ③消防検査済証 □
 - イ. 消火器 □
 - ロ. 非常放送 □
 - ハ. 自火報 □
 - ニ. 誘導灯 □
 - ホ. 連結送水管 □
 - ヘ. 消火 □
 - ト. 避難器具 □
 - チ. ガスモレ警報 □
 - リ. ネオン □
 - ヌ. 避難ハシゴ □
 - ル. 非常ベル □
 - ④ELV検査済証 □
 - ⑤保健所 〃 □
 - ⑥水道局 〃 □
 - ⑦九 電 〃 □
 - ⑧高压ガス □
 - ⑨他当現場に該当するもの □
- 5. 備品引渡書・明細書・受領書 □
 - ①フック棒 □
 - ②ST操作棒 □
 - ③排煙サッシュ棒 □
 - ④散水キー □
 - ⑤掃除孔開閉キー □
 - ⑥マンホールフック □
 - ⑦ボンテン（排水のつまりを直す器具） □
 - ⑧ヒューズ □
 - ⑨他当現場に該当するもの □
- 6. 鍵引渡書・明細書・受領書 □

（※鍵番号/個数一覧表、キープランを添付すること。引渡時に施主と確認）

7. 取扱説明書・カタログ □
- | | | | |
|-------------|------|--------------|-------|
| ①湯沸し器 | ・・・□ | ⑪避難器具 | ・・・□ |
| ②換気扇・レンジフード | ・・・□ | ⑫浄化槽 | ・・・□ |
| ③エアコン | ・・・□ | ⑬堀ゴタツ | ・・・□ |
| ④ポンプ | ・・・□ | ⑭乾燥機 | ・・・□ |
| ⑤ユニットバス・トイレ | ・・・□ | ⑮太陽光発電設備 | ・・・□ |
| ⑥コンロ | ・・・□ | ⑯インターホン | ・・・□ |
| ⑦電話 | ・・・□ | ⑰他当現場に該当するもの | ・・・□ |
| ⑧エレベーター | ・・・□ | 【 | 】・・・□ |
| ⑨リフト・ダムウェータ | ・・・□ | 【 | 】・・・□ |
| ⑩太陽熱温水器 | ・・・□ | 【 | 】・・・□ |

* 引渡時にオーナーに取り扱い説明する場合の注意事項

- ① 実際に使用する関係者にも同時に説明して 説明後にその場で練習して頂くようにして下さい
- ② 使用にあたり 作動時間など制限がある機器については 注意事項・手順書を記載した別紙を作成して 機器の近くに貼ってください

8. 維持管理注意事項 □

- | | | | |
|-------------|---|------------------|---|
| ①シロアリ | □ | ⑰リモコンシャッター内電池交換 | □ |
| ②防水 | □ | ⑱他当現場に該当するもの | □ |
| ③ユニットバス・トイレ | □ | ⑲植込み | □ |
| ④エアコン | □ | ⑳浄化槽 | □ |
| ⑤湯沸し器 | □ | ㉑堀ゴタツ | □ |
| ⑥コンロ | □ | ㉒自動ドアタッチスイッチ電池交換 | □ |
| ⑦太陽熱温水器 | □ | | |
| ⑧エレベーター | □ | | |
| ⑨換気扇、レンジフード | □ | | |
| ⑩ポンプ | □ | | |
| ⑪電話 | □ | | |
| ⑫リフト・ダムウェータ | □ | | |

9. 保証書 □

*シロアリの保証期間を建築主に示し シロアリ駆除施工業者にも更新時期には葉書のみならず、電話連絡をし、更新の確認をするように指示を御願います

- | | |
|-----------------------------|------|
| 10. 緊急時連絡表（竣工後） | ・・・□ |
| 11. 協力会社一覧表 | ・・・□ |
| 12. 竣工写真 | ・・・□ |
| 13. 竣工図 | ・・・□ |
| 14. 工事費精算書及び請求書 | ・・・□ |
| 15. 建物等登記に必要な書類 | ・・・□ |
| 16. 設計変更合意書（原本） | ・・・□ |
| 17. 内外仕上げのメーカー、品番一覧表 | □ |
| 18. 空気汚染物質測定報告書（ISO14000原本） | □ |

【東条設計用】

No	提出書類	提出形態						CH
		紙	PDF	エクセル	ワード	JPEG	JWW	
1	緊急時連絡表（竣工後）	●	●		●			<input type="checkbox"/>
2	協力業者一覧表	●	●		●			<input type="checkbox"/>
3	竣工写真（データ共）	●				●		<input type="checkbox"/>
4	竣工図（データ共）	●	●				●	<input type="checkbox"/>
5	各工事施工チェックシート		●					<input type="checkbox"/>
6	歩掛表	●		●				<input type="checkbox"/>
7	施工図（データのみ）		●				●	<input type="checkbox"/>
8	設計変更合意書（表紙の写し）		●					<input type="checkbox"/>
9	内外仕上げのメーカー、品番一覧表	●	●		●			<input type="checkbox"/>
10	官公署・事業会社の許可書類一覧表		●					<input type="checkbox"/>
	①確認済証	●	●					<input type="checkbox"/>
	②検査済証	●	●					<input type="checkbox"/>
	③消防検査済証	●	●					<input type="checkbox"/>
	イ. 消火器	●	●					<input type="checkbox"/>
	ロ. 非常放送	●	●					<input type="checkbox"/>
	ハ. 自動火災報知設備	●	●					<input type="checkbox"/>
	ニ. 誘導灯、誘導標識	●	●					<input type="checkbox"/>
	ホ. 連結送水管	●	●					<input type="checkbox"/>
	ヘ. スプリンクラー設備	●	●					<input type="checkbox"/>
	ト. 避難器具	●	●					<input type="checkbox"/>
	チ. ガス漏れ警報	●	●					<input type="checkbox"/>
	リ. 屋内消火栓	●	●					<input type="checkbox"/>
	ヌ. 避難ハシゴ	●	●					<input type="checkbox"/>
	ル. 非常ベル	●	●					<input type="checkbox"/>
11	住宅瑕疵担保保険関係書類	●	●					<input type="checkbox"/>
12	工事報告書（全月分）		●					<input type="checkbox"/>
13	メンテナンスフリー宣言書（写し）	●						<input type="checkbox"/>
14	メンテナンスに関する誓約書（写し）	●						<input type="checkbox"/>
15	設計変更および追加工事に関する誓約書（写し）	●						<input type="checkbox"/>
16	メンテナンスフリー写真台帳	●	●					<input type="checkbox"/>

引き渡し書類形式

- ・ 施主用・・・ファイルに綴じる事。（1部提出）
 ※表紙に物件名、設計監理者名、施工者名を表示すること
 （コクヨ・チューブファイルA4Sタイプ・色 ブルー）
- ・ 東条設計用・・・クリップ留めにて提出（ファイリングは不要）

注意事項 ※ 引渡し書類は、施主用とも東条設計に提出のこと

※ 「5 各工事施工チェックシート」は原本を提出のこと

※ データはCD-RWにて設計番号、物件名を記入のうえ納品のこと（CD-Rは不可）

歩 掛 表	文書番号	TY-18-F2
	主管部署	設計室

設計番号		担当者		工事名称	
発注者名			工事場所		
選定方式			施工業者名		担当者
請負金額	一金	円也	当初見積金額		低減率
工事期間			建物用途		
建物構造			階数 地下階・地上階・塔屋階		
建物形状			建築面積	m ²	坪
法定延床面積	m ²		坪	施工延床面積	m ² 坪

*計算には、施工延床面積の数量を採用すること。

総 括 表							
No.	名 称	金 額	比 率	m ² 単価 (円/m ²)	坪単価 (円/坪)	人工数 (人)	人工比率 (人工/坪)
A	共通仮設費						
B	建築主体工事						
C	電気設備工事						
D	給排水・衛生設備工事						
E	冷暖房・換気設備工事						
F	浄化槽設備工事						
G	昇降機設備工事						
H	解体工事						
I	外構工事						
J	諸 経 費						
	合 計						

軀 体 数 量 歩 掛							
名 称	単 位	金 額	数 量	数量単価 (円/数量)	m ² 歩掛 (数量/m ²)	坪歩掛 (数量/坪)	備 考
根 切 体 積	m3						建築面積歩掛
杭 本 数	本						
地 盤 改 良 面 積	m2						
コ ン ク リ ー ト 体 積	m3						
型 枠 面 積	m2						
鉄 筋 重 量	t						
鉄 骨 重 量	t						

*備考欄に基礎・埋階の数量を入力して下さい。

特 殊 要 因 ・ そ の 他	
・特殊要因は、特殊建物形状・突貫工事・アーケード内・工事時間規制・がけ地・軟弱地盤等を記入。 ・共同住宅等は、タイプ別に戸数を記入。・宿泊施設等は、タイプ別に室数と食堂・宴会場等の収容人員を記入。 ・観覧施設等は、収容人員等を記入。体育館等は、主要コートの面数及び最高高さ等を記入。	

B 建 築 主 体 工 事							
No.	名 称	金 額	比 率	m ² 単価 (円/m ²)	坪単価 (円/坪)	人工数 (人)	人工比率 (人工/坪)
1	仮 設 工 事						
2	土 工 事						
3	地 業 工 事						
4	コ ン ク リ ー ト 工 事						
5	型 枠 工 事						
6	鉄 筋 工 事						
7	鉄 骨 工 事						
8	既 製 コ ン ク リ ー ト 工 事						
9	防 水 工 事						
10	石 工 事						
11	タ イ ル 工 事						
12	木 工 事						
13	屋 根 及 び と い 工 事						
14	金 属 工 事						
15	左 官 工 事						
16	金 属 製 建 具 工 事						
17	木 製 建 具 工 事						
18	ガ ラ ス 工 事						
19	塗 装 工 事						
20	外 装 工 事						
21	内 装 工 事						
22	雑 工 事						
23	合 計						

軀 体 ・ 仕 上 歩 掛							
I	軀体工事(1～7)						
II	仕上工事(8～23)						

仕 上 数 量 歩 掛							
*備考欄に、代表的な仕上材名を記入して下さい。							
名 称	単 位	金 額	数 量	数量単価 (円/数量)	m ² 歩掛 (数量/m ²)	坪歩掛 (数量/坪)	備 考
屋 根 仕 上	m2						
外 部 壁 仕 上	m2						
外 部 天 井 仕 上	m2						
外 部 金 属 製 建 具	m2						
内 部 床 仕 上	m2						
内 部 壁 仕 上	m2						
内 部 天 井 仕 上	m2						
内 部 木 製 建 具	m2						
内 部 金 属 製 建 具	m2						

内部仕様一覧表												文書番号	TY-18-F4
												主管部署	設計室

設計番号		工事名	
------	--	-----	--

階	室名	床			巾 木			腰 壁			壁			天 井			備考
		使用材	メーカー	品番	使用材	メーカー	品番	使用材	メーカー	品番	使用材	メーカー	品番	使用材	メーカー	品番	

※仕上げ選定時に品番を除く項目を全て記入の上提出のこと（対象外部分は斜線引きとする）

内 装 共 通 事 項

階	部 位	場 所	使 用 材	品 番	備 考
	木 製 建 具				
	鋼 製 建 具				
	造 作 家 具				

※仕上げ選定時に品番を除く項目を全て記入の上提出のこと（対象外部分は斜線引きとする）

建 物 維 持 管 理 一 覧

文書番号	TY-18-F5
主管部署	設計室

対象物	メンテ必要年	義務・任意	概算	費用算定	注意点	
一般共通	水道メーター	8年	義務	戸数規模による	設備設計時に算定	
	定期報告建築		義務	用途、規模による	見積書を依頼する	※設計事務所に調査報告費用を算出依頼
	定期報告設備		義務	用途、規模による	見積書を依頼する	↑
	定期報告省エネ		義務	用途、規模による	見積書を依頼する	↑
	エレベータ（乗用・貨物）	法定期点検 1回/年	義務	規模による	意匠設計時に算定	※メーカー点検費用を算出依頼
	エレベータ（乗用・貨物）	任意点検 不都合時	任意	部品交換の程度による	意匠設計時に算定	↑
	住宅用エレベータ	法定期点検 無し		50,000円程度/1回	意匠設計時に算定	任意点検をお勧め ダメージが大きくならないうちに要事前点検
消防設備定期報告 (建築の定期報告が不要な建物)	1回/年 (地域により異なる)	義務	規模、設備種類による	消防設備点検の資格を持つ業者（設置した業者）の見積りによる		
消防設備法定点検						
自火報（防火対象物）	法定点検 2回/年	義務	約5万/回×2回＝約10万/年	施工中に数社見積	施工会社に依頼し見積徴収の上、施主に決定して頂く	
※消防設備は用途規模で各種あるため工事期間中に必要設備を確認する						
シロアリ	契約による 更新5年/10年	任意	規模による	工事業者に依頼	当初契約期間を確認し、更新が必要	

	対象物	メンテ必要年	義務・任意	概算	費用算定	注意点
建築	オーバーサイトドア		任意	大きさ規模、使用頻度によるバネが壊れると概ね50万		開け閉めに支障がでたら、被害が大きくなならないうちにメカメンテ
	排煙窓のオペレーター					排煙窓は、非常用に製作しています、頻繁に使用すると、ワイヤーが伸びたり、切れたりすることがあります。
	外壁コーキングやりかえ	10～15年	任意	規模、建具種類にもよる		
	サッシ廻りコーキング	10～15年	任意	規模、建具種類にもよる		
	自動ドア 軽量電動シャッター	10年程度	任意 任意	出張費約10,000円／1回+部品代 電池代 100円程度 (施主が取り替える場合)		センサー基盤が劣化し、開閉誤作動が発生する 使用頻度によりシャッター内の電池が切れる
大規模改修	外壁改修一年、 屋上防水一保証期限以降	任意	用途、規模による	工事業者に依頼	外壁・防水改修とも概ね10年～15年 ただし、防水は10年保証があるため10年以内に改修することが良い	
水圧解放装置付き電動重量シャッター	約15年でバッテリー能力がなくなる		取替費用 概ね20万円	シャッターメーカーのサービスに依頼	作動回数にも依るが、シャッター作動時に内蔵電池切れの場合は、警告音が発生する 挟み込み防止座板感知用電池 機器の種類によるが概ね10年毎に総点検	
電気設備	キュービクル点検 設備機器	耐用年数	任意			
機械設備	コンプレッサー	20,000時間を目処に点検	任意	出張費約10,000円／1回+部品代	工事業者に依頼	水洗いクリーニング／劣化した場合取り替え
	エアコンプレフィルター	適時目視確認	任意	大きさに依る 3,000円／900角	↑	取り替え
	エアコンヘパフィルター	適時ゲージ目視確認	任意	大きさに依る 50,000円／900角	↑	取り替え
	除塩フィルター	1回／年以上	任意	大きさに依る 30,000円／900角	↑	共同住宅は特に安心安全を入居者に広報する必要がある
	受水槽		任意	規模による	↑	
	浄化槽 自動水栓不作動		義務 任意	規模による 個数による	↑ ↑	コンセント・ブレーカーが落ちていないか、汚れが付着していないか確認

よくあるお問い合わせ

文書番号

TY-18-F6

主管部署

設計室

	対象物	機器名	確認場所	確認方法	注 意 点
1. 建 築	自動ドア	タッチ式スイッチ	スイッチ内	内蔵電池 切れ	使用時間にもよりますが、概ね1年ごとに交換。日本製電池を使用する。
	軽量リモコンシャッター	シャッター	シャッター内	内蔵電池 切れ	使用時間にもよりますが、概ね1年ごとに交換。日本製電池を使用する。
2. 電気設備	電気を使用する機器	照明器具	ブレーカー	ブレーカーが落ちていないか	ラビット式 40Wツイン富士山蛍光灯の場合 どちらか1方がダメでも両方とも不点灯となる センサー部分が汚れていないか
		電化製品	コンセント	コンセントに充分接続されているか	
		洗面・WC自動水栓	ブレーカー	ブレーカーが落ちていないか	
3. 機械設備	トイレリモコン不作動 トイレからの汚臭	操作リモコン 便器	リモコン内 便器内封水（溜まり水）	電池入れ替え 封水量が減っているか	使用頻度にもよりますが、概ね1年ごとに交換。日本製電池を使用する。 節水型の便器に大量のトイレットペーパーを流すと管につまるため、数回「大」の水量で流してみる

文書番号：TY-18-F7

主管部署：設計室

取扱い・保全説明書



2014年6月26日改訂

取扱い・保全説明書《建築編》

目次

1. 屋根・屋上

屋上陸屋根（押え工法）	P. 1
屋上陸屋根（露出工法）	P. 2
葺き屋根（金属板）	P. 3
葺き屋根（瓦・スレート）	P. 4

2. 外装

コンクリート打放し	P. 5
塗装（吹付け）仕上げ	P. 6
タイル張り	P. 7
石張り	P. 8
カーテンウォール・金属パネル張り	P. 9
PCカーテンウォール（タイル打込み）	P. 10
PCカーテンウォール（石打込み）	P. 11
PCカーテンウォール（塗装仕上げ）	P. 12
金物類	P. 13

3. 建具

窓	P. 14
扉	P. 15
自動扉	P. 16
シャッター	P. 17
ガラス	P. 18

4. 内装

内部床（タイルカーペット・じゅうたん）	P. 19
内部床（ビニールタイル・シート）	P. 20
内部床（石張り）	P. 21
内部床（タイル張り）	P. 22
内部床（木製床）	P. 23
内部床（合成樹脂塗床）	P. 24
内壁（塗り壁）	P. 25
内壁（石・タイル・レンガ）	P. 26
内壁（可動間仕切）	P. 27
内壁・内部天井（塗装・吹付け）	P. 28
内壁・内部天井（布・ビニールクロス・紙布）	P. 29
内壁・内部天井（化粧合板・化粧石膏ボード等）	P. 30

1.〔屋根・屋上〕屋上陸屋根（押え工法）

この屋上は、防水層保護のためにコンクリートの層を設けてありますので、屋上に人が出入りして歩行することが可能です。

★ご注意事項

- 屋上には重量制限があります。当初の計画になかった重量物を設置したり、移動する場合は事前に保全担当者に相談して下さい。
- 屋上に機器固定用のアンカーボルトを取り付ける時などで床に穴をあける際は、防水層を傷つけて漏水の原因となりますので事前に保全担当者に相談して下さい。
- パラペットなどには外壁清掃用に丸環が付いています。使用の際には、安全性を考慮して2個以上の丸環をワイヤーで繋いで一緒に使って下さい。他の目的に使用しないで下さい。

■日常のお手入れ

■屋上床面

- ・床仕上げ面は、目立つひび割れや浮きがないか点検して下さい。これらの現象が見られたら補修が必要です。
- ・床面の伸縮目地の充填材（シーリング材）は経年劣化により、ひび割れや剥離を生じることがあります。これらの現象が見られたら補修が必要です。
- ・伸縮目地部分に雑草が生えると、充填材の劣化を早め、防水層にも悪影響を与えますので、除去が必要です。

■ルーフトレンと樋

- ・ゴミが堆積したり、落葉が付着して詰まることがよくあります。一般の屋上だけでなく、塔屋の屋上も忘れずに点検清掃して下さい。

■パラペット回り

- ・磁器タイルやモルタルで仕上げた笠木は、目立つひび割れや浮きがないか点検して下さい。これらが剥離して落下する危険がありますので、異常が認められたら早期の補修が必要です。
- ・金属製の笠木は、変形や破損の他に、目地部分の充填材（シーリング材）にひび割れや破断がないか点検して下さい。シーリング材が切れて裏に水が回ると、金属の下地材の発錆や漏水の原因になります。

■手摺・タラップなどの金属部材

- ・鉄製の物は錆の有無を点検して下さい。錆が発生すると劣化を早めるため、補修が必要です。

1.〔屋根・屋上〕屋上陸屋根（露出工法）

この屋上は、防水層がそのまま見えて仕上げ兼用になっています。保守点検のとき以外は歩行を避けて下さい。

★ご注意事項

- 屋上には重量制限があります。当初の計画になかった重量物を設置したり、移動する場合は事前に保全担当者に相談して下さい。
- 屋上は非歩行を前提としています。点検などでやむを得ず屋上に出るときは、防水層を傷めないようにゴム底靴などを使用して下さい。
- 屋上には、防水層の下にある空気などの膨張で防水層が膨れることを防ぐため、脱気筒を設けていることがあります。硬い物をぶつけて破損しないようにして下さい。
- パラペットなどには外壁清掃用に丸環が付いています。使用の際には、安全性を考慮して2個以上の丸環をワイヤーで繋いで一緒に使って下さい。他の目的に使用しないで下さい。

■日常のお手入れ

■屋上床面

- ・防水層に膨れ、ひび割れ、剥がれなどがないか点検して下さい。これらは漏水につながるため早期の補修が必要です。
- ・直射日光などによる劣化の進みを遅らせるため、防水層の表面には保護塗装がしてあります。経年によってこの塗装も劣化してきますので補修が必要です。

■ルーフトレンと樋

- ・ゴミが堆積したり、落葉が付着して詰まることがよくあります。定期的に点検清掃を行い、ゴミや落葉を除去して下さい。
- ・一般の屋上だけでなく、塔屋の屋上も忘れずに点検清掃して下さい。

■パラペット回り

- ・磁器タイルやモルタルで仕上げた笠木は、目立つひび割れや浮きがないか点検して下さい。これらが剥離して落下する危険がありますので、異常が認められたら早期の補修が必要です。
- ・金属製の笠木は、変形や破損の他に、目地部分の充填材（シーリング材）にひび割れや破断がないか点検して下さい。シーリング材が切れて裏に水が回ると、金属の下地材の発錆や漏水の原因になります。

■タラップなど金属部材

- ・鉄製の部材は、錆の有無を点検して下さい。錆が発生すると劣化を早めるため、補修が必要です。

1.〔屋根・屋上〕葺き屋根（金属板）

この屋上は、鉄板、ステンレス板、銅板などで葺いてある勾配屋根です。

★ご注意事項

- この屋上は歩行すると滑落する危険や屋根面の変形が生じるおそれがありますので、点検は保全担当者に相談して下さい。

■日常のお手入れ

■屋根面

- ・金属板の葺き屋根は、変形・かみ合わせ部の緩み・腐食などが生じることがあります。点検の際にこれらの不具合が見られたら補修が必要です。
特に強風の際にめくれが生じたり、震動でずれが生じることがありますので、強い台風や地震の後には点検が必要です。積雪の後には軒樋破損の点検が必要です。
- ・金属の葺材は、部材のジョイント部や目地部分などにシーリング材が使われています。シーリング材は経年で劣化し、破断や剥離が生じます。漏水の原因になりますので、このような現象がみられたら補修が必要です。

■樋

- ・ゴミが堆積したり、落葉が付着して詰まることがあります。定期的に点検清掃を行い、ゴミや落葉を除去して下さい。

■タラップ等金属部材

- ・鉄製の部材は錆の有無を点検して下さい。錆が発生すると劣化を早めるため、補修が必要です。

■定期点検

項目	周期	点検項目
屋上葺き材	1年	変形、錆、剥がれ
シーリング材	1年	硬化、破断
樋	6ヶ月	ゴミ詰まり、腐食
タラップ等金属部材	1年	塗膜の剥がれ、腐食（錆）

1.〔屋根・屋上〕葺き屋根（瓦、スレート）

この屋根は、瓦・スレートなどで葺いてある勾配屋根です。

★ご注意事項

- この屋根は歩行すると滑落する危険や屋根面の変形が生じるおそれがありますので、点検は保全担当者に相談して下さい。

■日常のお手入れ

■屋根面

- ・瓦・スレートは、割れ・ずれ・剥がれなどが生じることがあります。点検の際にこれらの不具合がみられたら補修が必要です。
特に、強風の際にずれ・剥がれ・飛来物による割れが生じたり、震動でずれが生じることがあります。強い台風や地震の後には点検が必要です。積雪の後は軒樋破損の点検が必要です。

■樋

- ・ゴミが堆積したり、落葉が付着して詰まることがあります。定期的に点検清掃を行い、ゴミや落葉を除去して下さい。

■定期点検

項目	周期	点検項目
屋上葺き材	1年	変形、ずれ、剥がれ
樋	6ヶ月	ゴミ詰まり、腐食

2. [外 装] コンクリート打放し

コンクリートの地肌の趣をそのまま外装にしたものです。

■ 日常のお手入れ

- コンクリートは材料の性質上、経年により収縮します。このためひび割れが発生することがあります。目立つひび割れが見られたら補修が必要です。
- 錆汁や白い汚れ（エフロレッセンス）の発生は、建物の劣化を早めることになるため補修が必要です。
- 撥水剤が塗装してある場合、その効果は比較的短いため、早い時期に塗り替えが必要です。
- 伸縮目地や異種部材との取合い部にはシーリング材を充填しています。経年劣化により、ひび割れや剥離を生じることがあります。漏水の原因になることがありますので補修が必要です。

■ 定期点検

項 目	周期	点 検 項 目
コンクリート	5 年	ひび割れ、 錆汁による汚れ、エフロレッセンス
撥水剤塗装	2 年	変色、劣化
シーリング材	1 年	ひび割れ、剥がれ

2. [外装] 塗装（吹付け）仕上げ

コンクリートやモルタルの壁体の上に、耐水性・耐候性のある塗装を施したものです。

■日常のお手入れ

- 経年により塵芥の付着、藻やカビによる汚れ、日射などによる褪色やチョーキング（触れると白く汚れる現象）が生じます。見苦しいばかりでなく、防水性能が低下しますので塗り替えが必要です。
- 塗装材の劣化によって、塗膜の膨れや剥がれが生じたら補修が必要です。
- 塗装の下地となっているコンクリートやモルタルは材料の性質上、経年により収縮します。このためひび割れが発生することがあります。目立つひび割れやそれが原因で錆汁や白い汚れ（エフロレッセンス）が見られたら補修が必要です。

■定期点検

項目	周期	点検項目
塗装剤	2年	チョーキング、ひび割れ、剥がれ 錆汁による汚れ、エフロレッセンス
下地材	5年	ひび割れ、浮き

2. [外 装] タイル張り

タイルは、耐久性と美観に優れた材料で、壁体に接着材やモルタル等で貼り付けたものです。

■日常のお手入れ

- タイルは温度変化による伸縮や、地震・交通機関等による震動の繰り返しなど経年によって付着力が低下し、剥離することがあります。また下地のモルタルやコンクリートの経年収縮によってもひび割れや剥離が生じることがあります。剥離した場合、危険ですので定期点検と不具合い発見時の早期補修が必要です。
- 壁面に白い汚れ（エフロレッセンス）が発生することがあります。ひび割れや浮きが生じていることが予想されますので詳細な点検が必要です。
- タイルの伸縮目地にはシーリング材を充填しています。経年劣化によりシーリング材にひび割れや剥離が生じることがあります。漏水やタイルの剥離の原因となることがありますので補修が必要です。

■定期点検

項 目	周期	点 検 項 目
タイル及び下地材	5年	ひび割れ、浮き 錆汁による汚れ、エフロレッセンス
	10年	全面打診 告示第282号 建築基準法施行規則
シーリング材	1年	ひび割れ、剥がれ

2. [外 装] 石張り

外装に使われる石には花崗岩(御影石)、砂岩、大理石などがあります。石は耐久性と美観に優れた材料です。砂岩や大理石は吸水性が高いため汚れやすい性質があります。美観を長く保つため、定期的な清掃が必要です。

■日常のお手入れ

- 石は金物やモルタルで強固に固定してあります。経年でひび割れやずれが生じると不具合につながるため点検補修が必要です。
- 強い地震を受けた時は目地回りの異常を点検して下さい。異常が見られたら保全担当者に相談して下さい。
- 石に油などが付着すると取れないことがあります。付着したときは、すぐ拭き取って下さい。シミが残った場合は保全担当者に相談して下さい。
- 石の目地に充填されているシーリング材は経年劣化により、ひび割れや剥がれを生じます。止水効果が失われるため、補修が必要です。

■定期点検

項 目	周期	点 検 項 目
石	5年	ひび割れ、ずれ、汚れ
シーリング材	1年	ひび割れ、剥がれ

2. [外 装] カーテンウォール・金属パネル張り

カーテンウォール・金属パネルは、ステンレス・アルミニウム・鋼板及びガラスなどで構成された外装です。窓に関しては〔建具〕の項を参照して下さい。

■日常のお手入れ

- 鋼板製の場合は、錆の有無を点検して下さい。錆が発生してそのまま放置しますと劣化を早めることにもなりますので、補修が必要です。
- ステンレス・アルミニウム製の場合は、表面に塵埃や汚れが長時間付着すると腐食することがあります。定期的な清掃が必要です。
- 塗装された金属パネルは経年とともに日に焼け、変色し、色の濃いものは白っぽくなってきます。また、塗装材が劣化し、塗膜が剥がれたり、チョーキング（触れると白く汚れる現象）が生じます。著しい場合は補修が必要です。
- パネルジョイント部に充填されているシーリング材が経年の劣化により、ひび割れたり剥離しがちです。これは漏水の原因になりますので点検時異常がみられたら補修が必要です。

■定期点検

項 目	周期	点 検 項 目
金属パネル・枠	3年	チョーキング、腐食（錆）、変形
シーリング材	1年	ひび割れ、剥がれ
ガラス	1年	表面の汚れ、傷、ひび割れ

2. [外 装] P Cカーテンウォール（タイル打込み）

タイルを打込んだコンクリート製の板を工場で作製し、これを金物で躯体に取付けて外装を造っています。地震の際は板が動いて建物の変形に追従するしくみになっています。板のジョイント部分は外側に弾性シーリング材、内側にゴム製のパッキング（ガスケット）を詰めて止水しています。

■ 日常のお手入れ

- 壁面に白い汚れ（エフロレッセンス）が付くことがあります。タイル面にひび割れや浮きが生じている場合には発生しやすいので、詳細な点検が必要です。
- 経年劣化や地震等によってタイルや目地のシーリング材にひび割れや剥がれが生じることがありますので、点検時異常がみられたら補修が必要です。

■ 定期点検

項目	周期	点検項目
タイル	5年	ひび割れ、浮き、 錆汁による汚れ、エフロレッセンス
シーリング材	1年	ひび割れ、剥がれ

2. [外 装] P Cカーテンウォール（石打込み）

花崗岩の石板を打ち込んだコンクリート製の板を工場で製作し、これを金物で躯体に取り付けて外装を造っています。地震の際は板が動いて建物の変形に追随する仕組みになっています。板のジョイント部分は外側に弾性シーリング材、内側にゴム製のパッキング（ガスケット）を詰めて止水しています。

■日常のお手入れ

- 石に油などが付着すると取れないことがあります。付着したときは、すぐ拭き取って下さい。シミが残った場合は、保全担当者に相談して下さい。
- 経年劣化や地震等によって石にひび割れが、また目地のシーリング材にひび割れや剥がれが生じることがあります。点検時異常がみられたら補修が必要です。

■定期点検

項 目	周期	点 検 項 目
石	5 年	ひび割れ、汚れ
シーリング材	1 年	ひび割れ、剥がれ

2. [外 装] P Cカーテンウォール（塗装仕上げ）

塗装仕上げをしたコンクリート製の板を工場で製作し、これを金物で取付けて外装を造っています。地震の際は板が動いて建物の変形に追随する仕組みになっています。

板のジョイント部分は外側に弾性シーリング材、内側にゴム製のパッキング（ガスケット）を詰めて止水しています。

■ 日常のお手入れ

- 経年により塵埃の付着、藻やカビによる汚れ、日射による褐色やチョーキング（触れると白く汚れる現象）が生じます。見苦しいばかりでなく、塗装材の劣化によって塗膜の膨れや剥がれが生じますので塗り替えが必要です。
- 塗装の下地となっているコンクリートは材料の性質上、経年により収縮します。このためひび割れが発生することがあります。目立つひび割れやそれが原因で錆汁や白い汚れ（エフロレッセンス）が見られたら補修が必要です。
- 経年劣化や地震等によって、目地のシーリング材にひび割れや剥がれが生じることがあります。点検時に異常が見られたら補修が必要です。

■ 定期点検

項 目	周期	点 検 項 目
塗装材	2 年	チョーキング、ひび割れ、剥がれ 錆汁による汚れ、エフロレッセンス
下地材	5 年	ひび割れ
シーリング材	1 年	ひび割れ、剥がれ

2. [外 装] 金物類

外部に設置された屋上広告塔、外壁看板、屋外階段、手摺、テレビアンテナ支持金物等には金属材料（ステンレス・アルミニウム・鉄等）が多く使用されています。

■日常のお手入れ

- 鉄ばかりでなくステンレスやアルミニウムも経年で腐食することがあります。塵埃、鉄分、塩分の付着によって錆びやすくなります。特に海岸、工場地帯では頻繁な点検と補修が必要です。
- ステンレスやアルミニウム製の金物類は清掃が錆の発生防止に効果的です。
- 鉄製の金物類の塗装は経年により劣化します。褪色、チョーキング（触れると白く汚れる現象）、剥がれがみられたら補修が必要です。
- シーリング材は経年によりひび割れや剥離が生じることがあります。シーリング材が切れて裏に水が回ると金属の下地材の発錆や漏水の原因になります。定期的な点検と補修が必要です。

■定期点検

項 目	周 期	点 検 項 目
金物類	6ヶ月（海岸、工場地帯）	腐食（錆）
	1年（上記以上）	
塗装材	2年	チョーキング、ひび割れ、剥がれ
シーリング材	1年	ひび割れ、剥がれ

3. [建 具] 窓

窓枠にはアルミニウム等の金属材を使用しています。

★ご注意事項

- 窓の可動部は常に可動できる状態にしておいて下さい。特に防災用建具（避難窓、排煙窓）については法律で点検が義務づけられています。
- 強風の時は窓を閉めて下さい。風に煽られて脱落や故障の原因になることがあります。
- すべり出し窓、回転窓は開いた状態のときは必ずストッパーで固定して下さい。

■日常のお手入れ

- 金属製窓枠は塵埃などが長時間付着していると腐食することがあります。定期的な清掃が必要です。
- 建具金物は繰り返し動かしているため、摩耗したりビスが緩んだりします。定期的な点検調整が必要です。
- 外部窓回りには止水のためにシーリング材が使用されて、経年劣化によりひび割れや剥がれなどが生じ漏水の原因となることがあるため、定期的な点検補修が必要です。
- 窓回りには気密保持のため気密ゴムが使用されているものがあります。ゴムは経年により劣化しますので、定期的な点検補修が必要です。

■定期点検

項 目	周期	点 検 項 目
窓部材	2年	表面の汚れ、腐食（錆）
建具金物	1年	可動状態
気密ゴム	2年	ゴムの弾力性
シーリング材	3年（内部）	ひび割れ、剥がれ
	1年（外部）	
排煙窓	1年	建築基準法に定める建築設備定期検査項目
	6ヶ月	消防法に定める定期点検項目
避難窓	6ヶ月	消防法に定める定期点検項目

3. [建 具] 扉

スチール、アルミニウム、ステンレスなどの金属製や木製、強化ガラスを使用した扉があります。また、ドアクローザー、フロアヒンジなどで自動的に扉が閉まる装置がついているものもあります。

★ご注意事項

- 扉は常に可動できる状態にしておいて下さい。特に防災用、避難用の扉については法律上点検が義務づけられています。
- ドアクローザー、フロアヒンジはあらかじめ開閉具合が調整されているため、強い外力を加えたり、不自然な力を作用させないで下さい。
- 外部の扉は強風時には閉めて下さい。風に煽られて脱落や破損の原因になります。
- 強化ガラスドアはガラスに後から穴をあけたり、傷がつくとドア全体が破損します。

■日常のお手入れ

- 金属製部材は塵埃などが長時間付着していると腐食することがあります。定期的な清掃が必要です。
- 建具金物は繰り返し動かしているため、摩耗したりビスが緩んだりします。定期的な点検調整が必要です。
- ドアクローザー、フロアヒンジの開閉具合は長い間には狂いが生じます。調整ネジを回して再調整して下さい。
- 塗装した扉は経年とともに褪色・チョーキング（触れると白く汚れる現象）が現れます。状況により塗り替えが必要になります。
- 扉回りには気密保持のため、気密ゴムが使用されているものがあります。ゴムは経年により劣化しますので、定期的な点検補修が必要です。
- 外部扉回りには止水のためにシーリング材が使用されています。経年劣化によりひび割れや剥がれなどが生じ、漏水の原因となることがあるため、定期的な点検補修が必要です。

■定期点検

項 目	周期	点 検 項 目
枠部材	2年	塗膜の劣化、腐食（錆）
建物金具	1年	可動状態
気密ゴム	2年	ゴムの弾力性
シーリング材	3年（内部）	ひび割れ、剥がれ
	1年（外部）	
防災用、避難用の扉	6ヶ月	消防法に定める定期点検項目

3. [建 具] 自動扉

自動扉は床に取り付けたマットスイッチや、天井や壁などに取り付けたセンサー、扉自体に取り付けたタッチセンサーなどにより、自動的に開閉します。

★ご注意事項

- 夜間や休日には電源を切って鍵を掛けて下さい。なお鍵を掛けたまま電源を入れた場合、モーターが空転して故障の原因となりますので注意が必要です。
- マットスイッチ式の場合はマットに過大な重量を掛けしないで下さい。また、マット部分に水が溜まると故障します。マット下のゴミの除去を行って下さい。

■日常のお手入れ

- 扉下部のレールにはゴミが詰まらないように定期的に掃除が必要です。
- ステンレスやアルミニウム製の枠は表面に塵埃が長期間付着すると腐食することがありますので清掃が必要です。
- スチール製の枠は塗装が経年により劣化して錆が発生します。錆が出始めたら塗装の塗り替えが必要です。
- 扉には強化ガラスを使用しているものがあります。ガラス表面に傷がつくと突然割れることがあります。傷がついたら早期に交換が必要です。
- 外部枠回りには止水のためにシーリング材が使用されています。経年劣化によりひび割れや剥がれなどが生じ、漏水の原因となることがあるため、定期的な点検補修が必要です。
- 自動扉の部品は消耗品が多く、調整や交換など機械の手入れが必要です。点検整備のための保守契約は保全担当者に相談して下さい。

■定期点検

項 目	周期	点 検 項 目
自動扉部材	1 年	塗膜の劣化、腐食（錆）
開閉状況	1 年	作動状態
シーリング材	3 年（内部）	ひび割れ、剥がれ
	1 年（外部）	

3. [建 具] シャッター

シャッターは日常開閉するものと火災などの非常時にのみ作動する防災用シャッターがあります。

★ご注意事項

- 開閉機構や感知装置が確実に作動する状態にしておいて下さい。防災用シャッターは法律で点検が義務づけられています。
- シャッターの下には物を置かないで下さい。非常時に完全に締まらなると大きな災害につながります。
- スムーズに作動しない場合は、無理に動かさないで作動部の点検を行い、障害の原因を調べて保全担当者に相談して下さい。

■日常のお手入れ

- レールの錆やゴミを除去し、開閉がスムーズになるようにしておいて下さい。
- 鉄部では経年により塗膜の劣化が生じ、錆が発生することがあります。錆が出始めたら補修が必要です。
- 外部枠回りには止水などのためにシーリング材が使用されています。経年劣化によりひび割れや剥がれなどが生じ、漏水の原因となることがあるため、定期的な点検補修が必要です。
- 点検整備のための保守契約は保全担当者に相談して下さい。

■定期点検

項 目	周期	点 検 項 目
シャッター部材	1 年	塗膜の劣化、腐食（錆）
開閉状況	1 年	作動状態
シーリング材	3 年（内部）	ひび割れ、剥がれ
	1 年（外部）	
防災用シャッター	6 ヶ月	消防法に定める定期点検項目

3. [建 具] ガラス

ガラスは経年による劣化が少なく外装材として優れた材料ですが、衝撃や熱によって傷、割れなどが発生しやすいものもあります。

★ご注意事項

- 外部に面したガラスにポスター類をはったり、カーテン・ブラインドを密着させたり、塗装したりすると日射による熱でガラスが割れることがあるので避けて下さい。
- ガラス面に傷をつけないで下さい。特に熱線反射ガラスや強化ガラスは傷が原因で割れることがあります。
- 熱線反射ガラスは表面に反射膜が焼きつけられています。清掃の際は反射膜を損わない洗剤を使用して下さい。
- ガラスを交換する時は、交換前と同じ種類の同じ厚さのものにして下さい。異種のガラスと交換する場合は保全担当者に相談して下さい。

■日常のお手入れ

- ガラスの清掃には一般に水拭き程度とし、汚れがひどい場合は中性洗剤を使用します。
- ガラス回りには止水などのためにシーリング材が使用されています。経年劣化によりひび割れや剥がれなどが生じ、漏水の原因となることがあるため、定期的な点検補修が必要です。

■定期点検

項 目	周期	点 検 項 目
ガラス	1 年	表面の汚れ、傷、ひび割れ
シーリング材	1 年	ひび割れ、剥がれ

4. [内装] 内部床（タイルカーペット・じゅうたん）

タイルカーペットは500×500mmなどのサイズに裁断加工したカーペットをいいます。また、じゅうたん（カーペット）には手織りで高級な緞通、基布と毛足を同時に織り込んだウルトンカーペット、普及用のタフテッドカーペットがあります。

★ご注意事項

- 室の空調状態などによって、じゅうたんは静電気が発生し人体にショックを与えたり、コンピューターに影響することがあります。この場合は保全担当者に相談して下さい。
- 直接日光の当たる場所では床材が変色、褪色することがあります。直接日光を長時間当てないようして下さい。
- 二重床の場合で、重量物を設置したり移動するときは保全担当者に相談して下さい。

■日常のお手入れ

- 日常の清掃は、真空掃除機で繊維内部のほこりやゴミを吸い取って下さい。
- シミ汚れは、時間が経過すると除去が困難になりますので、ぬれタオル等ですみやかに拭き取って下さい。汚れがひどい場合は中性洗剤を溶かした水等で洗いますが、頻度はできるだけ抑えて下さい。
- シミ抜きに薬品を使うと変色することがありますので、保全担当者に相談して下さい。
- カーペットの合わせ部の毛足がほつれることがあります。その場合には補修または張り替えが必要です。タイルカーペットの場合、常時予備品をストックしておくとう便利です。

■定期点検

項目	周期	点検項目
タイルカーペット じゅうたん（カーペット）	2年	シミ汚れ、摩耗、ほつれ

4. [内装] 内部床（ビニールタイル・シート）

ビニール系合成樹脂材料で作られた床材でタイル状とシート状のものがあります。

★ご注意事項

- ビニール系床材は、ゴム製品・薬液などにより汚れて落ちなくなる場合があります。この現象は、材料により程度の差はありますが、すべてのビニール系床材に共通しています。椅子のキャスターはウレタンかナイロン製であれば床に汚れ跡がつきません。
- 重い什器などを引きずると、床材が傷付き、剥離などの原因となるため避けて下さい。
- 直射日光の当たる場所では、床材が変色、褪色することがあります。直射日光を長時間当てないようにして下さい。

■日常のお手入れ

- 日常の清掃は、真空掃除機で埃を取った後、硬く絞ったモップ・雑巾などで拭き取ります。ダストモップによる除塵は床に油を付着させるため使用しないで下さい。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤で拭き洗いして、洗剤が残らないよう完全に拭き取り、仕上げに樹脂ワックスを塗布して下さい。ワックスは滑らない種類のものをご使用下さい。
- 薬液を落とした場合は速やかにぬれた雑巾等で拭き取って下さい。

■定期点検

項目	周期	点検項目
ビニールタイル・シート	2年	摩耗、汚れ、浮き、剥がれ

4. [内 装] 内部床（石張り）

内部床石張りは、自然石（花崗岩、大理石）や人造石（人造大理石等）のブロックを敷き詰めたものであり、耐摩耗性と美観に優れた材料です。

★ご注意事項

- 重量物、硬い物を引きずってできた傷は、修理不能です。移動する場合は床を養生して下さい。
- 油性分はしみ込みやすく、シミは落ちにくいいため油をこぼさないようにして下さい。
- ワックス掛けは床が滑りやすく危険ですので避けて下さい。

■日常のお手入れ

- 日常の清掃は、乾いたきれいな布で乾拭き程度とし、油性のモップの使用は避けて下さい。
- 油、インクなどが付着して、シミが残った場合は、保全担当者に相談して下さい。
- 石の目地から裏面に水が浸入すると、目地の部分に白い汚れ（エフロレッセンス）が生じる場合があります。除去の方法については保全担当者に相談して下さい。

■定期点検

項 目	周期	点 検 項 目
石張り	2年	石の欠け、割れ、浮き、剥がれ

4. [内 装] 内部床（タイル張り）

床タイルには磁器質、炆器質のタイルが主に使用されます。

■ 日常のお手入れ

- 日常の清掃はモップや雑巾で拭き取る程度とし、汚れがひどい場合は、中性洗剤を用いて水拭きします。
- タイルの目地から裏面に水が浸入すると目地の部分に白い汚れ（エフロレッセンス）が生じる場合があります。その場合は希塩酸など濃度の薄い酸で拭き取ります。
- 目地のカビは洗剤や塩素系漂白剤で除去します。使用に当たり洗剤、漂白剤の使用注意事項を遵守して下さい。
- タイル下地のモルタルやコンクリートの経年収縮によって、ひび割れや浮きや剥離が生じる場合があります。保全担当者に相談して下さい。

■ 定期点検

項目	周期	点検項目
タイル張り	2年	タイルの欠け、ひび割れ、浮き、剥がれ

4.〔内 装〕内部床(木製床) モザイクパーケット、フローリングボード、フローリングブロック

木製床は板材または合板を加工した床材料です。形状によりモザイクパーケット、フローリングボード、フローリングブロックがあります。

★ご注意事項

- 吸水により膨張し、反りが発生する恐れがありますので、水をこぼした場合は速やかに拭き取って下さい。また濡れたまま放置しておくと跡が残ります。
- 床暖房が施されている場合はカーペットを敷かないで下さい。急激な乾燥で床に隙間ができたり、床鳴りを生じさせることがあります。
- 長時間直射日光を受けると材料の反り・褪色・目地の隙間の原因となりますので、直射日光を長時間当てないようにして下さい。
- 二重床の場合で、重量物を設置したり、移動するときは保全担当者に相談して下さい。

■日常のお手入れ

- 塗装されているものは定期的に木床用樹脂ワックスを掛け、塗装されていないものは定期的に木床用乳化ワックス・油性ワックス・フローアーオイルなどを掛け、清掃をして下さい。
- 洗浄が必要な場合や、鉄錆、シミの除去が必要な場合は、保全担当者に相談して下さい。

■定期点検

項 目	周期	点 検 項 目
木製床	2年	反り、床鳴り、浮き、剥がれ

4. [内 装] 内部床(合成樹脂塗床)

合成樹脂塗床で使用される樹脂は、エポキシ樹脂、ポリウレタン樹脂、ポリエステル樹脂があり、床の用途により適切な樹脂材が選定されています。

★ご注意事項

- 薬液を床にこぼした場合、直ちに水洗いして拭き取って下さい。
- 熱湯に弱いものもありますので、熱湯を直接、流さないで下さい。
- 重量のある硬いものを引きずると傷がついたり、割れたりしますので養生が必要です。

■日常のお手入れ

- 日常の清掃はモップや雑巾で拭き取る程度とし、汚れがひどい場合は中性洗剤を用いて水拭きします。
- 下地に達する傷がついたことが原因で下地に水が浸透し、その水分の蒸発により、ふくれ、剥がれが発生する場合があります。補修が必要となります。
- 下地のコンクリートやモルタルは経年により材料が収縮します。このためひび割れが生ずることがあります。下地にひび割れが生じると、塗装面にもひび割れが生じ、補修が必要となります。

■定期点検

項 目	周期	点 検 項 目
合成樹脂塗床	2年	ひび割れ、ふくれ、剥がれ
	1年	摩耗(通行量の多い床)

4. [内装] 内壁（塗り壁） プラスター塗り壁・砂壁・聚楽壁

石膏を主成分としたプラスター塗り壁、表面を砂付伏にした砂壁・聚楽壁などがあります。

★ご注意事項

- 塗り壁面を水拭きすることは避けて下さい。
- 下地がボード類の場合、壁面に掲示板等を取り付ける場合は保全担当者に相談して下さい。

■日常のお手入れ

- 日常の清掃は塵払い程度とします。
- 湿気をきらう材料なので、換気をして下さい。カビによる汚れが防げます。
- カビが発生した場合、市販のカビ除去剤には漂白剤が含まれたものもあり、変色、脱色しますので取扱いに当たっては保全担当者に相談して下さい。
- 塗り壁は経年に伴い、汚れ、ひび割れなどの劣化が生じます。また、接着力の低下により剥離が起こることがあります。その場合は補修が必要です。

■定期点検

項目	周期	点検項目
塗り壁	2年	ひび割れ、浮き、剥がれ

4. [内装] 内壁（石・タイル・レンガ）

石は大理石、御影石などが多く使われ、その仕上げの方法も多種にわたります。タイルは陶器質、炻器質ばかりでなく磁器質も使われます。

★ご注意事項

- 同一の模様、色調の材料入手は困難ですので傷、破損の恐れがある重量物移動の際は養生が必要です。
- 掲示板等を壁面に取り付ける場合は、保全担当者に相談して下さい。

■日常のお手入れ

- 塵埃が多孔質の石やレンガに付いたままにしておくと、除去が難しくなります。半年に1回程度清掃して下さい。
- 石に油などが付着してシミが残った場合、保全担当者に相談して下さい。
- タイル目地のカビは、洗剤や塩素系漂白剤で除去します。使用に当たり洗剤、漂白剤の使用注意事項を遵守して下さい。
- 強い地震を受けた時は目地廻りの異常を点検して下さい。異常が見られたら保全担当者に相談して下さい。

■定期点検

項目	周期	点検項目
石・タイル・レンガ	2年	汚れ、シミ、欠け、割れ、浮き、剥がれ

4.〔内装〕内壁（可動間仕切）

工場で製作された壁製品で、現地で比較的容易に組立てられる壁です。事務所等に多く使用されます。

★ご注意事項

- 間仕切壁を設置または移動する場合は、空調・電気・防災等の設備に影響することがあります。保全担当者に相談して下さい。

■日常のお手入れ

- 扉の開閉によって隣接するパネルにゆるみやがたつきが発生する場合があります。その場合は止め金物類を再調整して下さい。

■定期点検

項目	周期	点検項目
可動間仕切	2年	ゆるみ、がたつき、可動部の作動不良

4. [内装] 内壁・内部天井（塗装・吹付け）

塗料を刷毛塗りまたは吹付け等で仕上げる、一般的な仕上方法です。色、材質等、種類の多い材料です。

★ご注意事項

- 壁や天井面に掲示板等を取り付ける場合は保全担当者に相談して下さい。
- 石膏ボード張りの壁は局部的に衝撃を加えると陥没する場合があります。硬い物をぶつける可能性がある場合、養生が必要です。
- 天井裏へ入る必要が生じた場合は保全担当者に相談して下さい。

■日常のお手入れ

- 日常の清掃は、塵払い、乾拭き程度とし、汚れ除去にシンナーなどの溶剤は使用しないで下さい。
- 塗装・吹付け材は、種類が多く、耐用年数、メンテナンスの方法がそれぞれ異なります。汚れが著しいなど不具合が生じた場合、保全担当者を確認の上、塗り替えなど計画して下さい。
- 空調用の吹出し口、吸込み口周辺は空気中の埃の付着により汚れ易いので、こまめに清掃が必要です。

■定期点検

項目	周期	点検項目
塗装・吹付け	2年	汚れ、ひび割れ、浮き、剥がれ

4. [内装] 内壁・内部天井（布・ビニールクロス・紙布）

布は天然繊維、合成繊維の素材からなり織物独特の感触が特徴です。ビニールクロスは壁・天井の中でもっとも普及しているもので種類も多く、清掃がしやすい特徴があります。紙布が使用される場合もあります。

★ご注意事項

- ビニールクロスは、ヘアースプレー・脱臭スプレー・殺虫スプレーなどのスプレー類で変色する場合があります。
- 壁や天井面に掲示板等を取り付ける場合は保全担当者に相談して下さい。
- 石膏ボード張りの壁は局部的に衝撃を加えると陥没する場合があります。硬い物をぶつける可能性がある場合、養生が必要です。
- 天井裏へ入る必要が生じた場合は保全担当者に相談して下さい。
- 布・ビニールクロス・紙布共、直射日光を受けると褪色が早まります。直射日光を長時間当てないようにして下さい。

■日常のお手入れ

- 日常の清掃は布や紙布では塵払い、乾拭き程度とし、ビニールクロスで汚れがひどいときは中性洗剤で拭き取って下さい。
- 布や紙布の汚れ・シミの除去は保全担当者に相談して下さい。水分を受けると局部的に縮みが発生しますので、水拭きはしないで下さい。
- カビによる汚れやシミが発生した場合は、保全担当者に相談して下さい。
- 空調用の吹出口、吸込口周辺は空気中の埃の付着により汚れ易いので、こまめに清掃が必要です。

■定期点検

項目	周期	点検項目
布・ビニールクロス	2年	汚れ、シミ、変色、褪色、剥がれ

4.〔内装〕内壁・内部天井（化粧合板・化粧石膏ボード等）

ベニヤ板及び石膏ボードの表面を仕上げ加工したものを、それぞれ化粧合板、化粧石膏ボードといいます。ボードの表面がそのまま仕上材となっています。

★ご注意事項

- 壁や天井面に掲示板等を取り付ける場合は保全担当者に相談して下さい。
- 石膏ボード張りの壁は、局部的に衝撃を加えると陥没する場合があります。硬い物をぶつける可能性がある場合、養生が必要です。
- 天井裏へ入る必要が生じた場合は、保全担当者に相談して下さい。

■日常のお手入れ

- 日常の清掃は塵払い、乾拭きを行って下さい。
- 化粧合板や化粧石膏ボードの汚れは、水拭きで除去して下さい。シンナーなどの溶剤は使用しないで下さい。
- 空調用の吹出口、吸込口周辺は空気中の埃の付着により汚れ易いので、こまめに清掃が必要です。

■定期点検

項目	周期	点検項目
化粧合板・化粧石膏ボード	2年	汚れ、欠け、割れ、反り、剥がれ

取扱い・保全説明書<<設備編>>

目次

5. 電気設備

受変電設備（屋内キュービクル型）	P. 31
受変電設備（屋外キュービクル型）	P. 32
非常用発電設備	P. 33
蓄電池設備	P. 34
動力設備	P. 35
コンセント設備	P. 36
照明設備	P. 37
監視設備	P. 38

6. 給排水衛生設備

給水設備（重力式給水）	P. 39
給水設備（ポンプ圧送式給水）	P. 40
給湯設備（局所式）	P. 41
給湯設備（中央式）	P. 42
排水設備	P. 43
衛生器具設備	P. 44
ガス設備	P. 45

7. 空気調和設備

中央熱源方式の空気調和設備	P. 46
個別分散方式の空気調和設備	P. 47
換気設備	P. 48

8. 防災設備

警報設備（自動火災報知設備）	P. 49
消火設備（屋内消火栓設備）	P. 50
消火設備（スプリンクラー設備）	P. 51
消火設備（泡消火設備）	P. 52
消火設備（炭酸ガス消火設備）	P. 53
消火設備（消火器）	P. 54
避難設備（誘導灯設備）	P. 55
避難設備（非常照明設備）電池別置型	P. 56
避難設備（非常照明設備）電池内蔵型	P. 57
消防用設備（自然排煙設備）	P. 58
消防用設備（機械排煙設備）一般室	P. 59
消防用設備（機械排煙設備）	P. 60
避難階段の附室及び非常用エレベーターのロビー 避雷設備	P. 61

9. 昇降機設備

エレベーター	P. 62
エスカレーター	P. 63

5. [電気設備] 受変電設備（屋内キュービクル型）

屋内キュービクル型受変電設備は、変圧器、開閉器類、コンデンサ、安全保護装置を収納した電力供給の中核設備です。一般に電力会社からの電力引込点（π型キャビネット・引込開閉器）までは、電力会社の管理責任範囲となっています。

★ご注意事項

- 電気事業法が定める定期検査などの維持管理は、法的に責任を持つ電気主任技術者が自ら又は直接監督指導して実施します。電気主任技術者との保守契約は保全担当者に相談して下さい。
- 電気室は施錠し、関係者以外の立入を禁止して下さい。
- 電気主任技術者が年1回実施する定期検査の際は停電します。業務やOA機器、冷蔵庫等に影響があることがありますので、関係者に対して停電通知を事前に徹底する必要があります。

■日常のお手入れ

- 電気室内の温度が40℃以上になると機器類の劣化が進み、寿命が縮まるため、また室内を乾燥させておくためにも、常時換気装置を作動させておく必要があります。
- 電力会社の事情による停電時の対応については、電気主任技術者に連絡し対処して下さい。地震等の非常時の処置を含めて、電気主任技術者の指導を日常受けておく必要があります。

■定期点検・定期検査

内容	項目	周期	点検項目
電気事業法に定める定期検査	絶縁抵抗の測定	1年	<ul style="list-style-type: none"> ・変圧器の外観点検（油温、油量、油漏れ、異音、異臭、異常振動、過熱、変色、汚損、破損、腐食等） ・変圧器冷却ファンの外観点検（異音、汚損等） ・遮断器の外観点検（油温、油量、油漏れ、異音、異臭、過熱、変色、汚損、破損、腐食等） ・各計器の指示値 ・信号灯、表示灯の点灯 ・電力ヒューズの外観点検（過熱、変色、汚損、破損腐食等）
	保護継電器の作動試験	1年	
	外観点検	1年	
	端子部の増し締め	1年	
	清掃	1年	
	計器較正、シーケンス試験	3年	
	絶縁油の耐圧試験、酸化値測定	5年	
	変圧器、遮断器内部点検	5年	

5. [電気設備] 受変電設備（屋外キュービクル型）

屋外キュービクル型受変電設備は、変圧器、開閉器類、コンデンサ、安全保護装置を収納した電力供給の中核設備です。一般に電力会社からの電力引込点（π型キャビネット・引込開閉器）までは電力会社の管理責任範囲となっています。

★ご注意事項

- 電気事業法が定める定期検査などの維持管理は、法的に責任を持つ電気主任技術者が自ら又は直接監督指導して実施します。電気主任技術者との保守契約は保全担当者に相談して下さい。
- 屋外キュービクルは施錠し、関係者以外の立入を禁止して下さい。
- 電気主任技術者が年1回実施する定期検査の際は停電します。業務やOA機器、冷蔵庫等に影響があることがありますので、関係者に対して停電通知を事前に徹底する必要があります。

■日常のお手入れ

- キュービクル内の温度が異常に上昇（40℃以上）すると換気装置が作動し、キュービクル内の温度上昇を抑えます。夏季シーズンは定期的に作動状態を確認して下さい。
- 電力会社の事情による停電時の対応については、電気主任技術者に連絡し対処して下さい。地震等の非常時の処置を含めて、電気主任技術者の指導を日常受けておく必要があります。

■定期点検・定期検査

内容	項目	周期	点検項目
電気事業法に定める定期検査	絶縁抵抗の測定	1年	<ul style="list-style-type: none"> ・変圧器の外観点検（油温、油量、油漏れ、異音、異臭、異常振動、過熱、変色、汚損、破損、腐食等） ・変圧器冷却ファンの外観点検（異音、汚損等） ・遮断器の外観点検（油温、油量、油漏れ、異音、異臭、過熱、変色、汚損、破損、腐食等） ・各計器の指示値 ・信号灯、表示灯の点灯 ・電力ヒューズの外観点検（過熱、変色、汚損、破損腐食等）
	保護継電器の作動試験	1年	
	外観点検	1年	
	端子部の増し締め	1年	
	清掃	1年	
	計器較正、シーケンス試験	3年	
	絶縁油の耐圧試験、酸化値測定	5年	
変圧器、遮断器内部点検	5年		

5. [電気設備] 非常用発電機設備

非常用発電機設備は、停電した場合、自動的に起動して、防災機器や重要機器に電力を供給する交流電源設備です。エンジン、発電機、冷却器、起動盤等で構成されています。

★ご注意事項

- 自動起動盤の「自動／手動切替スイッチ」は、停電した場合自動的に起動するように、平常時は常に「自動」にしておいて下さい。
- 停電時、確実に起動させるために、月に1回以上試運転を行って下さい。

■日常のお手入れ

- 法的維持管理業務一覧表（別紙）を参照して、法で定められた定期的な点検及び検査を有資格者に実施させて下さい。その為の保守契約は保全担当者に相談して下さい。
- 機器異常時には監視装置に警報が表示されます。電気主任技術者の指導のもとで警報内容を確認し、保全担当者に相談して下さい。

■定期点検・定期検査

内容	項目	周期	点検項目
建築基準法に定める建築設備定期検査	外観点検及び機能点検※	1年	<ul style="list-style-type: none"> ・各計器の表示値 ・異音、異臭、異常振動、過熱、汚損、破損、腐食、漏油、漏水、漏気等 ・信号灯、表示灯の点灯 ・潤滑油、燃料油の油量 ・冷却水量、空気タンクの圧力 ・油、水、空気系統の弁類の開閉状態 ・試運転による各計器指示値
	建築設備定期検査報告	1年	
消防法に定める定期点検	外観点検及び機能点検	6ヶ月	<ul style="list-style-type: none"> ・油、水、空気系統の弁類の開閉状態 ・試運転による各計器指示値
	総合点検	1年	
	定期点検報告	1年又は3年毎	
電気事業法に定める定期検査	絶縁抵抗測定	1年	<ul style="list-style-type: none"> ・機関、圧縮機、排気弁、安全弁、警報装置の点検
	主要部分開放点検	1年	
	清掃	1年	
	外観点検	6ヶ月	
端子部の増し締め	1年		
分解点検	メーカー管理基準による	5年	

※消防法に定める定期点検を実施している場合は、消防法による点検記録で代用できる。

5. [電気設備] 蓄電池設備（鉛蓄電池）

蓄電池設備は、停電した場合、自動的に切替り防災機器に電力を供給する直流電源設備です。蓄電池、整流器、充電器等で構成されています。

★ご注意事項

- 蓄電池室は施錠し、関係者以外の立入を禁止して下さい。
- 蓄電池室の換気を十分に行い、火気は厳禁です。

■日常のお手入れ

- 法的維持管理業務一覧表（別紙）を参照して、法で定められた定期的な点検及び検査を有資格者に実施させて下さい。その為の保守契約は保全担当者に相談して下さい。
- 機器異常時には監視装置に警報が表示されます。電気主任技術者の指導のもとで警報内容を確認し、保全担当者に相談して下さい。

■定期点検・定期検査

内容	項目	周期	点検項目
建築基準法に定める建築設備定期検査	外観点検及び機能点検※	1年	<ul style="list-style-type: none"> ・充電、警報、負荷切替の動作 ・本体汚れ、パッキン等の劣化、電解液の漏れ、電極板の変形、充填材の剥離等の点検 ・浮動充電中の蓄電池総電圧 ・浮動充電中の全セルの電圧及び電解液比重、温度
	建築設備定期検査報告	1年	
消防法に定める定期点検	外観点検及び機能点検	6ヶ月	
	定期点検報告	1年又は3年毎	
	容量試験	5年	
電気事業法に定める定期検査	絶縁抵抗測定	1年	
	清掃	1年	
	端子部の増し締め	1年	

※消防法に定める定期点検を実施している場合は、消防法による点検記録で代用できる。

5. [電気設備] 動力設備（動力制御盤）

動力制御盤は、空調や衛生設備の動力機器に電力を供給し、発停や連動をさせる設備です。配線用遮断器、電磁接触器、補助リレー等で構成されています。

★ご注意事項

動力制御盤内のケーブル接続端子は経年でゆるむ場合があります、それが原因で電源ケーブルが過熱し、焼損するおそれがあります。定期的に接続端子の増締めを行なう必要があります。

■日常のお手入れ

- 動力制御盤内の機器に異常音、異常振動、異常過熱、異臭がないか確認し、異常のある場合は保全担当者に相談して下さい。
- 機器異常時には監視装置に警報が表示されます。電気主任技術者の指導のもとで警報内容を確認し、保全担当者に相談して下さい。

■定期点検・定期検査

内容	項目	周期	点検項目
電気事業法に定める定期検査	絶縁抵抗の測定	1年	・主回路、制御回路の絶縁抵抗測定
	シーケンス作動試験	1年	
	外観点検	1年	・各計器の指示 ・操作盤、制御盤内部の外観点検 (異臭、過熱、変色、汚損、ゆるみ等) ・信号灯、表示灯の点灯
	端子部の増し締め	1年	

5.〔電気設備〕コンセント設備

コンセント設備は、ご使用になりたい電気機器に電力を供給するための設備です。分電盤からの配線と配線器具で構成されています。

★ご注意事項

- タコ足配線は、接触不良、過負荷による過熱、焼損の原因となりますので、やめて下さい。
- コンセントが被水したり、湿気を帯びると危険ですので、コンセント付近での水の使用は避けて下さい。
- 長時間さしこんだプラグは、粉塵、湿気により、異物付着状態となり、漏電して過熱、焼損（トラッキング現象）する危険がありますので定期的に取り外して清掃して下さい。
- 長期間使用しない場合は、負荷機器の保護、漏電防止のためコンセントからプラグを抜いて下さい。

■ 日常のお手入れ

- コンセントへのプラグの差込が中途半端になったり、完全に差込んでも、すぐに緩んでしまうような場合は異常過熱の原因となりますので点検が必要です。
- コンセント設備が損傷した場合、あるいは移設や新設、または仕様変更が必要な場合は保全担当者に相談して下さい。

■ 定期点検・定期検査

内容	項目	周期	点検項目
電気事業法に定める 定期検査	絶縁抵抗の測定	1年	
	外観点検	1年	器具の変色、過熱、損傷、汚損等

5. [電気設備] 照明設備

照明設備は、灯具、安定器、ランプ等で構成されています。

★ご注意事項

- ランプの取付け、取外し、及び清掃をする場合は、感電を避けるため必ず電源を切ってから行って下さい。
- ランプに、異常な振動・衝撃を与えないで下さい。

■日常のお手入れ

■照明器具はランプの使用延べ時間や器具の汚れによって効率が低下します。定期的にランプの清掃や取替を行って下さい。ランプの交換の目安は次の通りです。

- ・蛍光灯 寿命…10,000 時間
- ・白熱灯 寿命…白熱……………1,000 時間
ボール電球……………2,000 時間
- ・ハロゲンランプ 寿命…1,500 時間
- ・水銀灯 寿命…12,000 時間

■器具の異常音、異常振動及び異常過熱のある場合は保全担当者に相談して下さい。

■定期点検・定期検査

内容	項目	周期	点検項目
電気事業法に定める 定期検査	絶縁抵抗の測定	1年	
	外観点検	1年	器具の変色、過熱、損傷、ゆるみ、汚損等
	清掃	1年	

5. [電気設備] 監視設備

監視設備は、設置された機器の状態監視、発停、制御を行う中枢設備です。コンピュータ、モニタ画面、プリンタ、リモートステーション等で構成されています。

★ご注意事項

- 監視装置の操作はメーカーの取扱い説明書の操作手順により行い、当該説明書に記載された操作方法以外の操作は一切行わないで下さい。
- 主装置及び周辺機器に異常な振動・衝撃を与えないで下さい。

■日常のお手入れ

- プリンタの用紙など消耗品の補給を忘れずに実施して下さい。
- 操作不能状態、誤動作、コンピュータ故障などの場合は、監視設備のメーカー並びに保全担当者に相談して下さい。
- 点検整備のための保守契約は保全担当者に相談して下さい。

■定期点検・定期検査

内 容	項 目	周 期
定 期 点 検	主装置機能確認	6ヶ月～1年
	リモートステーション各部電圧測定及び調整	6ヶ月～1年
	CPU及びI/Oモジュール動作確認	6ヶ月～1年
	プリンタ動作確認	6ヶ月～1年
	テストプログラムによる主装置チェック	6ヶ月～1年

6.〔給排水衛生設備〕給水設備（重力式給水）

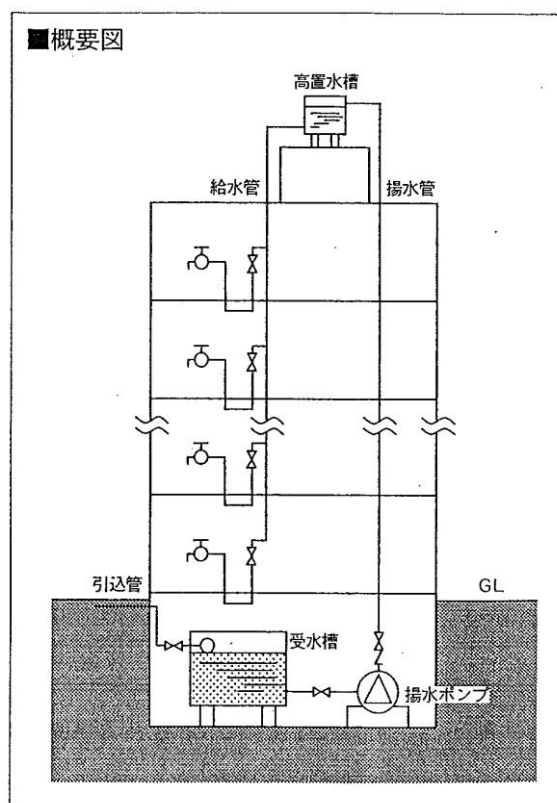
重力式給水設備は、高置水槽から、重力で各階に給水する設備です。受水槽、高置水槽、揚水ポンプ、配管等で構成されています。

★ご注意事項

- 受水槽や高置水槽のマンホール蓋は、常に施錠しておいて下さい。
- 長期間使用しない場合や、建物竣工当初、入居者がわずかで使用水量が少ない場合は、水質に問題が生じる可能性があります。保全担当者に相談して下さい。

■日常のお手入れ

- 法的維持管理業務一覧表（別紙）を参照して、法で定められた定期的な点検及び検査を有資格者に実施させて下さい。そのための保守契約は保全担当者に相談して下さい。
- 受水槽、高置水槽、揚水ポンプ、配管は次の項目を主に点検して下さい。
 - ・水槽本体や配管は腐食や漏水、結露をしていないか。
 - ・FM弁やボールタップは正常に作動するか。
 - ・ポンプ運転時の圧力や電流値は、正常な値か。
 - ・ポンプ運転時に異常音や異常振動はないか。
 - ・ポンプの消耗部品（グランドパッキン等）は定期的に交換しているか。
 - ・赤水は吐出しないか。
- 受水槽や高置水槽の水が極端に激減すると監視装置に警報が表示されます。又、ポンプのブレーカーが落ちた（トリップ）場合も同様です。警報内容を確認し、保全担当者に相談して下さい。
- 設備が経年劣化や地震等によって漏水した場合は、直ちに至近の弁を閉じて下さい。日常、弁の位置を確認しておくことが必要です。
- 水道使用量の記録を保存し、常にその実績を把握しておいて下さい。埋設配管等の漏水チェックに有効です。



6.〔給排水衛生設備〕給水設備（ポンプ圧送式給水）

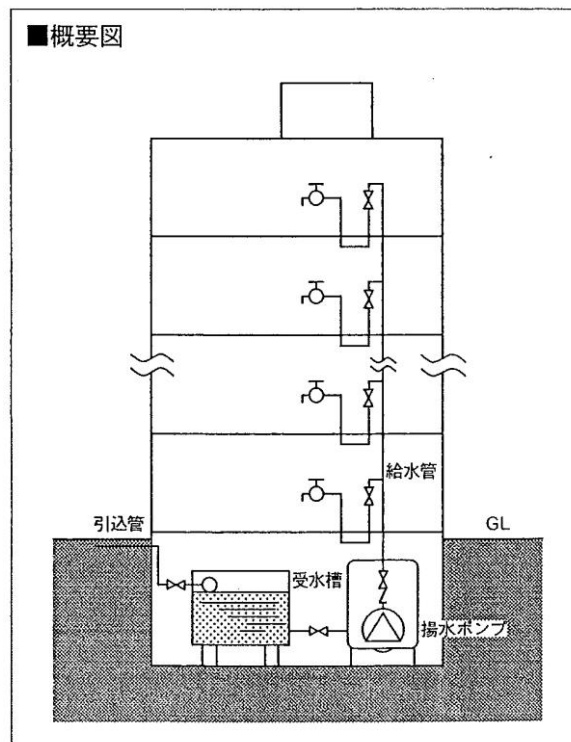
ポンプ圧送式給水設備は、受水槽から直に水を給水ポンプで各階に圧送し、給水する設備です。受水槽、給水ポンプ、配管等で構成されています。

★ご注意事項

- 受水槽のマンホール蓋は、常に施錠しておいて下さい。
- 長期間使用しない場合や、建物竣工当初、入居者がわずかで使用水量が少ない場合は、水質に問題が生じる可能性があります。保全担当者に相談して下さい。

■日常のお手入れ

- 法的維持管理業務一覧表（別紙）を参照して、法で定められた定期的な点検及び検査を有資格者を実施させて下さい。そのための保守契約は保全担当者に相談して下さい。
- 受水槽、給水ポンプ、配管は次の項目を主に点検して下さい。
 - ・水槽本体や配管は腐食や漏水、結露をしていないか。
 - ・FM弁やボールタップは正常に作動するか。
 - ・ポンプ運転時の圧力や電流値は正常な値か。
 - ・ポンプ運転時に異常音や異常振動はないか。
 - ・ポンプの消耗部品（グランドパッキン等）は定期的に交換しているか。
 - ・圧カスイッチな設定値どおりに作動しているか。
 - ・赤水は吐出しないか。
- 水槽内の水が極端に激減すると監視装置に警報が表示されます。又、ポンプのブレーカーが落ちた（トリップ）場合も同様です。警報内容を確認し、保全担当者に相談して下さい。
- 設備が経年劣化や地震等によって漏水した場合は、直ちに至近の弁を閉じて下さい。日常、弁の位置を確認しておく必要があります。
- 水道使用量の記録を保存し、常にその実績を把握しておいて下さい。埋設配管等の漏水チェックに有効です。



6.〔給排水衛生設備〕給湯設備（局所式）

局所式の給湯設備は、電気又はガスを熱源とする給湯器を必要な場所に設置して給湯する設備です。

★ご注意事項

- お湯で火傷しないように、給湯温度を確認してから使用して下さい。給湯温度は通常、極力低い温度（50～55℃）に設定します。
- 給湯時は、換気を十分に行って、湯気や燃焼ガスなどが滞留しないようにして下さい。

■日常のお手入れ

- 法的維持管理業務一覧表（別紙）を参照して、法で定められた定期的な点検及び検査を有資格者に実施させて下さい。そのための保守契約は保全担当者に相談して下さい。
- 給湯設備は次の項目を主に点検して下さい。
 - ・給湯温度は適温に設定されているか。
 - ・給湯器に配管は腐食や漏水をしていないか。
 - ・保温材は破損していないか。
 - ・オーバーフロー管や逃し弁から異常にお湯が溢れていないか。
- ガス漏れ感知器が異常を感知した場合等、ガス漏れの危険がある場合はガスの元栓を閉め、ガス会社に連絡して対処して下さい。日常、元栓の位置を確認しておく必要があります。

■定期点検・定期検査

内容	項目	周期	点検項目
建築基準法に定める 建築設備定期検査	外観点検及び機能点検 建築設備定期検査報告	1年	腐食、漏水、安全装置等
定期点検	機能点検	6ヶ月	逃し弁の動作
	外観点検	1ヵ月	腐食、漏水
	清掃	1年	給湯器内

6.〔給排水衛生設備〕給湯設備（中央式）

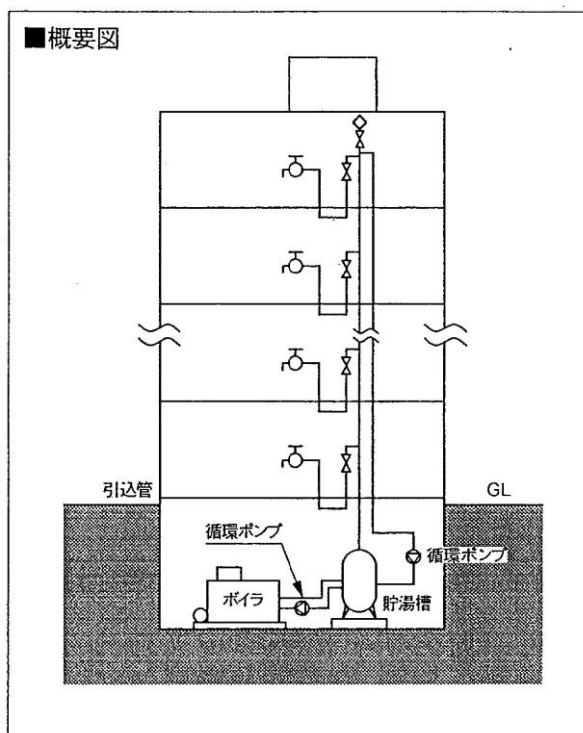
中央式の給湯設備は、ボイラーなどの熱源を1ヶ所に集中し、必要な場所まで配管で給湯する設備です。ボイラー、貯湯槽、ポンプ、配管等で構成されています。

★ご注意事項

- お湯で火傷をしないように、給湯温度を確認してから使用して下さい。給湯温度は通常、極力低い温度（50～55℃）に設定します。
- 防食装置の電源は、缶体に水（湯）が入っている場合は、必ず通電しておいて下さい。
- 給湯栓を増設したい場合は、保全担当者に相談して下さい。設計上のチェックが必要です。

■日常のお手入れ

- 法的維持管理業務一覧表（別紙）を参照して、法で定められた定期的な点検及び検査を有資格者に実施させて下さい。そのための保守契約は保全担当者に相談して下さい。
- ボイラー、貯湯槽、循環ポンプは次の項目を主に点検して下さい。
 - ・給湯温度は適温に設定されているか。
 - ・機器や配管は腐食や漏水をしていないか。
 - ・保温材は破損していないか。
 - ・ポンプ運転時の圧力や電流値は正常な値か。
 - ・ポンプ運転時に異常音や異常振動はないか。
 - ・ボイラーの安全弁や貯湯槽の溶解栓は異常作動していないか。
 - ・赤水は吐出しないか。
- ボイラーは低水位や異常圧力になった場合、監視装置に警報が表示されます。又、ボイラーやポンプのブレーカーが落ちた（トリップ）場合も同様です。警報内容を確認し保全担当者に相談して下さい。
- 地震が発生した場合、安全装置が作動してボイラーが停止することがあります。地震がおさまった後、ボイラーの運転状況を確認する必要があります。



6.〔給排水衛生設備〕排水設備

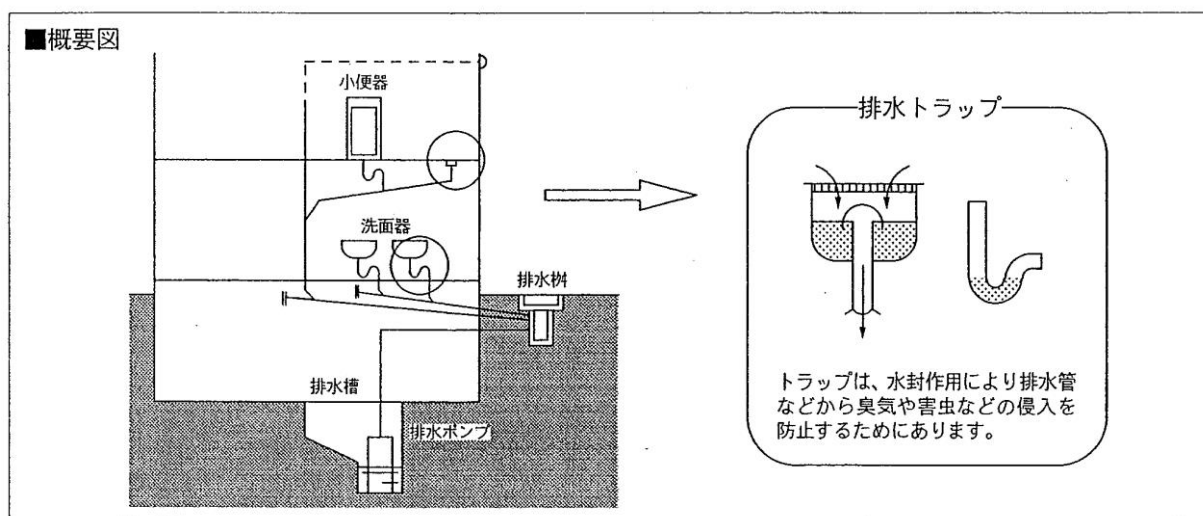
排水設備は建物内の排水を配管や排水ポンプを使って、公共下水道等に排出する設備です。汚水槽、雑排水槽、排水ポンプ、配管等で構成されています。

★ご注意事項

- 下水道法により排水の水質基準が定められていますので、特殊なものを排水する場合は保全担当者に相談して下さい。
- 高温の排水を多量に流すと、配管材料が変形する場合があります。水温を下げた後から排水して下さい。
- 衛生器具は長時間使用しないと、トラップ（図参照）の封水が切れて悪臭が発生します。封水を維持するため、定期的に水を流す必要があります。

■日常のお手入れ

- 法的維持管理業務一覧表（別紙）を参照して、法で定められた定期的な点検及び検査を有資格者に実施させて下さい。そのための保守契約は保全担当者に相談して下さい。
- 汚水槽、雑排水槽、排水ポンプ、配管は次の項目を主に点検して下さい。
 - ・ポンプや配管は腐食や漏水、結露をしていないか。
 - ・ポンプ運転時の圧力や電流値は正常な値か。
 - ・ポンプ運転時に異常音や異常振動はないか。
 - ・ポンプの消耗部品（グランドパッキン等）は定期的に交換しているか。
 - ・油、ゴミを集めるグリーストラップは掃除を実施しているか。
- 汚水槽、雑排水槽は水位が異常に上昇すると監視装置に警報が表示されます。又、ポンプのブレードが落ちた（トリップ）場合も同様です。警報内容を確認し、保全担当者に相談して下さい。



6.〔給排水衛生設備〕衛生器具設備

衛生器具には水栓、洗面器、便器、ユニットバス等があります。

★ご注意事項

■洗面器や便器は陶器製ですので、硬いものをぶつけないようにして下さい。

■日常のお手入れ

- 清掃用の洗剤は中性洗剤を使用して下さい。塩素系は配管の腐食につながります。
- FRP製のユニットバスやホーロー製の浴槽は、磨砂系の洗浄剤を継続使用すると表面の光沢が失われますので、液体の中性洗剤を使用して下さい。
- 漏水が発生した場合は、器具の止水栓を閉めて、保全担当者に相談して下さい。

■定期点検・定期検査

内容	項目	周期	点検項目
建築基準法に定める 建築設備定期検査	外観点検及び機能点検 建築設備定期検査報告	1年	衛生器具設備（器具トラップ等）
定期点検	外観点検 清掃	1ヵ月 毎日	破損、設置状態、水漏れ 衛生器具

6.〔給排水衛生設備〕ガス設備

ガス設備は、都市ガス又はLP ガスを供給する設備です。

★ご注意事項

- ガス器具使用時には、給排水を十分に行ってください。
- 長期間使用しない場合は、ガスの元栓を必ず閉めてください。

■日常のお手入れ

- ガス漏れ感知器が異常を感知した場合等、ガス漏れの危険がある場合はガスの元栓を閉めて、ガス会社に連絡して対処してください。日常、元栓の位置を確認しておく必要があります。
- ガス設備は通産省令によって定期的な漏洩検査をガス供給会社の実施するよう義務づけられています。

■定期点検・定期検査

内容	項目	周期	点検項目
法による定期点検	配管漏洩試験	3年	

7. [空調設備] 中央熱源方式の空気調和設備

中央熱源方式の空気調和設備は冷凍機やボイラーなどの熱源を1ヶ所に集中して設置し、建物の必要な箇所に熱源で得られたエネルギーを、水や空気を熱媒にして搬送する方式を言います。比較的規模の大きい建物で採用されています。

★ご注意事項

- 設備のシステムや運転操作が複雑なため、専門的な知識を持った管理者が必要です。お客様にこのような管理者がいない場合は、専門の管理会社と保守契約をして十分な管理を実施して下さい。
- 冷房と暖房シーズンの前後に設備システムの点検を実施してください。冷暖房の切替えが必要となります。また冷暖房を必要としない中間期も設備システムの点検が必要です。
- 部屋の間仕切りを変えたり、OA機器が増設されたりした場合は、冷暖房の性能が低下する場合があります。保全担当者に相談して下さい。

■日常のお手入れ

- 法的維持管理業務一覧表（別紙）を参照して、法で定められた定期的な点検及び検査を有資格者に実施させて下さい。そのための保守契約は保全担当者に相談して下さい。
- 空調機やファンコイルユニットには塵埃除去の目的でフィルターが設けられています。清掃または取替を定期的実施して冷暖房効果を良くして下さい。また、ドレンパン（露受け皿）の排水口に、埃が詰まると漏水事故が起きますので点検清掃を実施して下さい。
- 湿度を調節する加湿器が機内に取り付けてあるものは点検、清掃を実施して下さい。
- 冷水、温水、冷却水等の水質をスケールや錆から守り、良好な状態に保つ必要があります。水処理装置やストレーナーが設置されている場合はその維持管理を十分実施して下さい。
- 吹出口、吸込口は汚れやすいので定期的に清掃して下さい。吹出口、吸込口の前には物を置いて空気の流通を妨げることを無いうようにして下さい。
- アネモ型吹出口は冷房時、暖房時に応じて吹出口を調節する必要があります。

7. [空調設備] 個別分散方式の空気調和設備

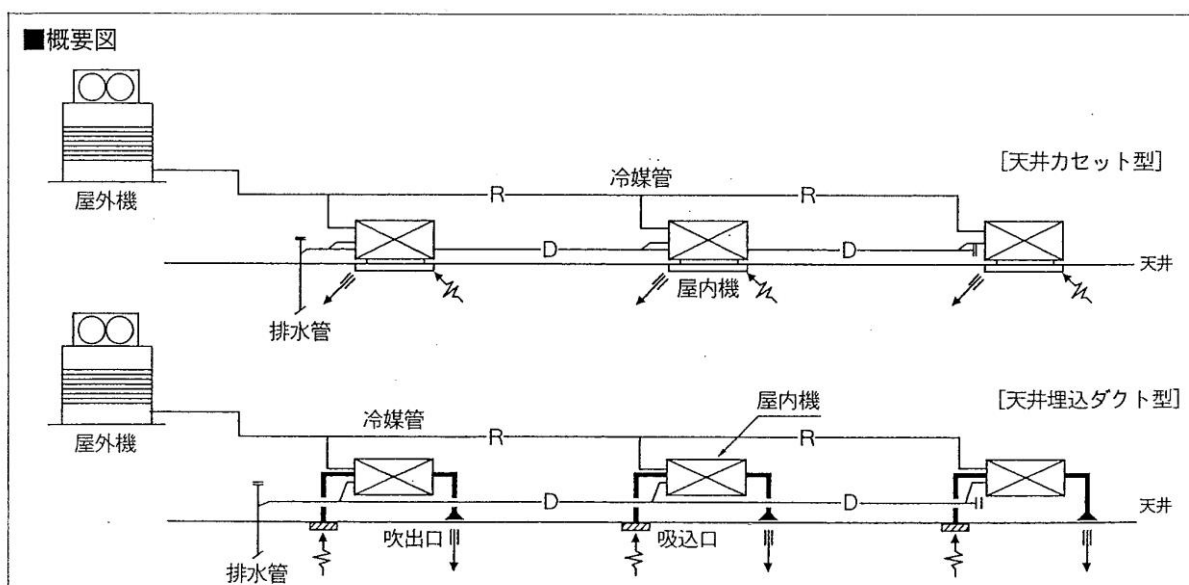
個別分散型空気調和設備は、空調機を部屋あるいは階毎に分散して設置する方式をいいます。主としてパッケージ型空調機（空冷ヒートポンプ空調機等）を用います。

★ご注意事項

- パッケージ型空調機の屋外機は大気と熱交換を行う装置で、空気の流通が悪い場合には停止してしまい、冷暖房の性能が低下する場合があります。屋外機の周辺に物を置いて、空気の流通を妨げたり、コイル部分が目詰まりした場合に起因しますので点検が必要です。
- 部屋の間仕切りを変えたり、OA機器が増設されたりした場合は、冷暖房の性能が低下する場合があります。保全担当者に相談して下さい。

■日常のお手入れ

- 法的維持管理業務一覧表（別紙）を参照して、法で定められた定期的な点検及び検査を有資格者に実施させて下さい。そのための保守契約は保全担当者に相談して下さい。
- パッケージ型空調機の室内機には塵埃除去の目的でフィルターが設けられています。清掃または取替を定期的実施して冷暖房効果を良くして下さい。また、ドレンパン（露受け皿）の排水口に、ほこりが詰まると溢水事故が起きますので点検清掃を実施して下さい。
- 湿度を調節する加湿器が機内に取り付けてあるものは点検、清掃を実施して下さい。
- 屋外機と室内機を結ぶ冷媒配管はその接続部から経年劣化で冷媒漏れを起こす場合がありますので定期的な点検が必要です。
- 吹出口、吸込口は汚れやすいので定期的に清掃して下さい。吹出口、吸込口の前には物を置いて空気の流通を妨げることを無いようにして下さい。



7. [空調設備] 換気設備

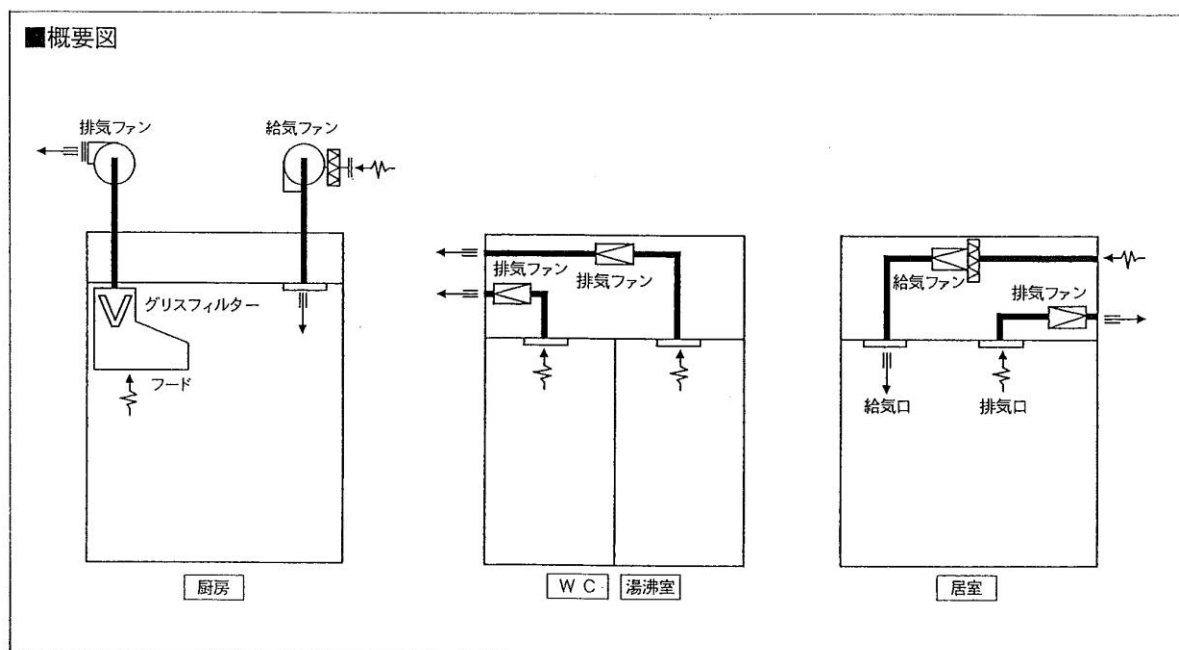
換気設備は室内を清浄な環境に維持する目的で新鮮な空気を供給するためと燃焼ガス、臭気などを排出するために設けられています。給気ファン、排気ファン、ダクトなどで構成されています。

★ご注意事項

- 厨房などガス器具を使用する時は、必ず換気を行って下さい。
- 厨房のグリスフィルターやダクトは、油分がたまり、埃が付着すると調理の火が燃え移って火災の原因にもなります。定期的に清掃して下さい。
- 居室部分や火気を使用する部屋は換気量が建築基準法で定められています。間仕切りの壁の設置などの計画がある場合は、保全担当者に相談して下さい。換気量のチェックが必要です。

■ 日常のお手入れ

- 法的維持管理業務一覧表（別紙）を参照して、法で定められた定期的な点検及び検査を有資格者に実施させて下さい。そのための保守契約は保全担当者に相談して下さい。
- 換気用の換気口、排気口及び給気用の除塵フィルターや厨房のグリスフィルターは定期的な清掃が必要です。
- 給気ファンや排気ファン並びに換気扇に異常音や異常振動がないか、定期点検を実施して下さい。
- 換気量が不足してきた場合は、フィルターの清掃をするとともにダンパーが閉まっていないか確認して下さい。



8. [防災設備] 警報設備（自動火災報知設備）

自動火災報知設備は、各所に設置された感知器により火災を早期に検知して報知する設備です。受信機、感知器、中継器、発信機で構成されています。

★ご注意事項

- 受信機付近に障害物を置かないで下さい。
- 受信機操作部の各スイッチは、常に定位置にしておいて下さい。
スイッチ注意灯（赤色）が点滅している場合は、各スイッチのいずれかが定位置にないためです。
- 間仕切りを変更する場合は、事前に保全担当者に相談して下さい。感知器の位置を検討する必要があります。

■日常のお手入れ

- 法的維持管理業務一覧表（別紙）を参照して、法で定められた定期的な点検及び検査を有資格者に実施させて下さい。そのための保守契約は保全担当者に相談して下さい。
- 受信機にシステム異常やバッテリー不良等の異常警報が出て、対応が不明の場合は保全担当者に相談して下さい。

■定期点検・定期検査

内容	項目	周期	点検項目
消防法に定める 定期検査	外観点検及び機能点検	6ヶ月	・ 予備電源、非常電源 端子電圧、切替 充電機能、接続状況 ・ 受診機及び中継器 スイッチ、ヒューズ、リレー表示灯の状況、 回路導通試験 ・ 感知器感度試験
	総合点検・配線総合点検	1年	・ 同時作動試験 ・ 総合作動試験 ・ 配線の総合試験
	定期点検報告	1年又は 3年毎	

8. [防災設備] 消火設備（屋内消火栓設備）

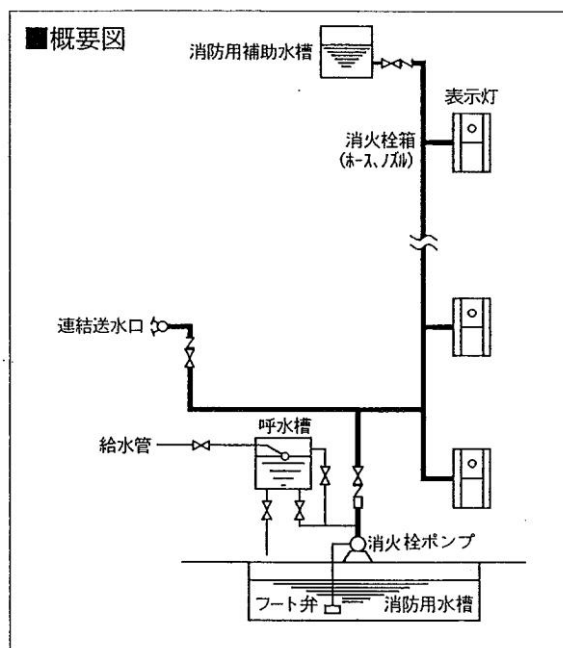
屋内消火栓設備は火災が発生した場合、消火栓箱内のノズルとホースを使って、初期消火活動を行うための設備です。消火栓箱のほか、ポンプ、配管などで構成されています。建物の規模によっては消防隊が火災時に使用する連結送水管設備（サイアミーズコネクション）が併設される場合があります。

★ご注意事項

- 所轄消防署に前もって届け出た防災管理者の指導の下に、設備の操作方法を日常訓練しておく必要があります。
- 火災時に操作の障害とならないように、消火栓箱や消火栓ポンプの周囲に物を置かないで下さい。

■ 日常のお手入れ

- 法的維持管理業務一覧表（別紙）を参照して、法で定められた定期的な点検及び検査を有資格者に実施させて下さい。そのための保守契約は保全担当者に相談して下さい。
- 消火栓箱の表示用の赤ランプが点灯しているか確認して下さい。
- 消防用水槽や消防用補助水槽等の水が極端に増減すると監視装置に警報が表示されます。又、ポンプのブレーカーが落ちた（トリップ）場合も同様です。警報内容を確認し、保全担当者に相談して下さい。



■ 定期点検・定期検査

内容	項目	周期	点検項目
消防法に定める 定期検査	外観点検及び機能点検	6ヶ月	規定水量 バルブの開閉位置 装置類の状態及び周囲状況 スイッチ、ヒューズ、表示灯の状況 ポンプ運転状況
	総合点検	1年	非常電源に切替えた状態でのポンプの運転、放水量、放水圧力等
	定期点検報告	1年又は3年毎	

8.〔防災設備〕消火設備（スプリンクラー設備）

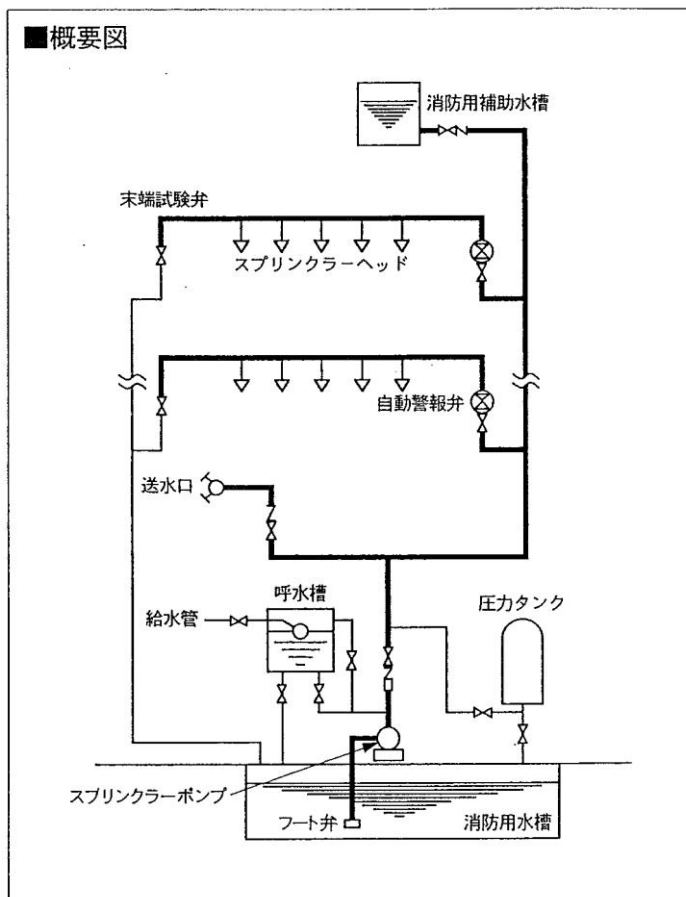
スプリンクラー設備は、火災時の熱を感知して自動的にスプリンクラーヘッドから水を噴射させ、消火を行う設備です。ポンプ、スプリンクラーヘッド、自動警報弁、配管などで構成されています。

★ご注意事項

- スプリンクラーヘッド付近には、散水の障害となる物を置かないで下さい。
- スプリンクラーヘッドに物を吊り下げたり、ぶついたりしないで下さい。破損させると水が噴射する被害となります。
- 間仕切りを変更する場合は、事前に保全担当者に相談して下さい。スプリンクラーヘッドの位置を検討する必要があります。

■日常のお手入れ

- 法的維持管理業務一覧表（別紙）を参照して、法で定められた定期的な点検及び検査を有資格者に実施させて下さい。そのための保守契約は保全担当者に相談して下さい。
- 消防用水槽や消防用補助水槽等の水が極端に増減すると監視装置に警報が表示されます。又、ポンプのブレーカーが落ちた（トリップ）場合も同様です。警報内容を確認し、保全担当者に相談して下さい。
- スプリンクラーヘッドに誤って物をぶついたりしてヘッドを破損させた場合は、放水区画の弁を閉めます。日常、弁の位置を確認しておくことが必要です。



8. [防災設備] 消火設備（泡消火設備）

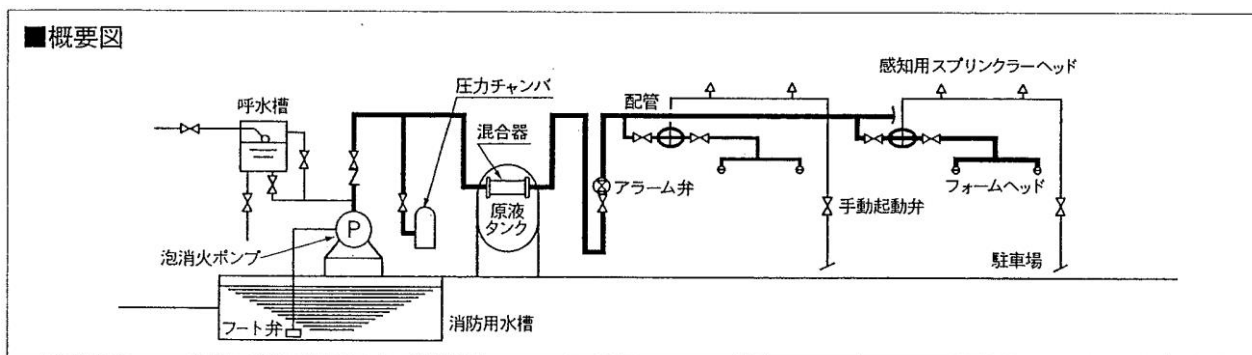
泡消火設備は、消火用の泡をフォームヘッドから自動的に噴射し、消火を行う設備です。駐車場等のガソリン火災に有効です。ポンプ、フォームヘッド、原液タンク、配管などで構成されています。

★ご注意事項

- フォームヘッド付近には、泡の噴射の障害となる物を置かないで下さい。
- フォームヘッドに物を吊り下げたり、ぶつかけたりしないで下さい。破損させると泡が噴射する被害となります。

■ 日常のお手入れ

- 法的維持管理業務一覧表（別紙）を参照して、法で定められた定期的な点検及び検査を有資格者に実施させて下さい。そのための保守契約は保全担当者に相談して下さい。
- 消防用水槽の水が極端に増減すると監視装置に警報が表示されます。又、ポンプのブレーカーが落ちた（トリップ）場合も同様です。警報内容を確認し、保全担当者に相談して下さい。
- 誤ってフォームヘッドに物をぶつかけたりしてヘッドを破損させた場合は、発泡区画の弁を閉めます。日常、発泡区画と弁の位置を確認しておく必要があります。



■ 定期点検・定期検査

内容	項目	周期	点検項目
消防法に定める定期点検	外観点検及び機能点検	6ヶ月	規定水量、バルブの開閉位置、装置類の状態及び周囲状況、スイッチ・ヒューズ・表示灯の状況、ポンプ運転状況 泡放出口の漏れ、変形、損傷の有無
	総合点検	1年	非常電源に切替えた状態でのポンプの運転、放水量、放水圧力等
	定期点検報告	1年又は3年毎	

8. [防災設備] 消火設備（炭酸ガス消火設備）

炭酸ガス消火設備は、電気室やコンピューター室のように水による消火活動が不適な場所に使用する消火設備です。炭酸ガス貯蔵容器、噴射ヘッド、配管などで構成されています。

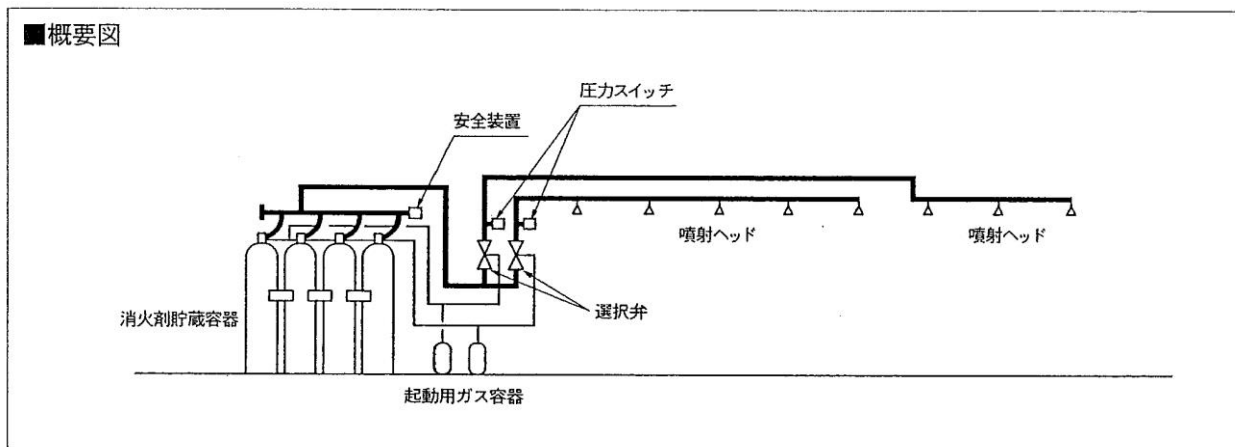
★ご注意事項

- 手動起動装置のボタンを押して炭酸ガスを噴射させますので、その付近に障害となる物を置かないで下さい。
- 試験等で炭酸ガスを噴射した場合、炭酸ガスが部屋に充満している間は窒息の危険があります。炭酸ガスを排気した後に入室して下さい。

■ 日常のお手入れ

- 法的維持管理業務一覧表（別紙）を参照して、法で定められた定期的な点検及び検査を有資格者に実施させて下さい。そのための保守契約は保全担当者に相談して下さい。

■ 概要図



■ 定期点検・定期検査

内容	項目	周期	点検項目
消防法に定める 定期点検	外観点検及び機能点検	6ヶ月	貯蔵容器、容器弁の状態 起動装置、噴射ヘッドの状態及び周辺状況 放出表示灯の状態 起動装置、警報装置の作動
	総合点検	1年	非常電源に切替えた状態での警報装置、遅延装置の作動及び開口部の自動閉鎖装置の作動
	定期点検報告	1年又は3年毎	

8. [防災設備] 消火設備（消火器）

消火器の消火剤は粉末、強化液、炭酸ガス、泡などがあります。火災に対する適用表示は、A: 普通火災、B: 油火災、C: 電気火災と規定されており、消火器に表示してあります。

★ご注意事項

- 所轄消防署に前もって届け出た防火管理者の指導の下に、設備の操作方法を日常訓練しておく必要があります。

■日常のお手入れ

- 法的維持管理業務一覧表（別紙）を参照して、法で定められた定期的な点検及び検査を有資格者に実施させて下さい。そのための保守契約は保全担当者に相談して下さい。
- 消火器が正規の設置位置にあるか、消火器周辺に障害物がないか確認し、適正でない場合は改善して下さい。

■定期点検・定期検査

内容	項目	周期	点検項目
消防法に定める 定期点検	外観点検	6ヶ月	設置位置 変形、損傷、腐食等の有無 封印、安全装置の有無
	機能点検	6ヶ月	放射及び分解により 内部部品の変形、損傷、腐食の有無、消火剤 の腐敗、固化の有無、作動部の操作性等 ・粉末：製造後3年経過から ・強化液：製造後3年経過から ・炭酸ガス：製造後3年経過から ・泡：製造後1年経過から
	定期点検報告	1年又は 3年毎	

8.〔防災設備〕避難設備（誘導灯設備）電池内蔵型

誘導灯設備は、火災の場合に停電しても自動的に非常点灯（停電後 20 分間）して、避難方向を明示する照明設備です。灯具、蓄電池、安定器、ランプで構成されています。

★ご注意事項

- 誘導灯は、停電時に確実に点灯する必要があるため、定期的に点検し確認して下さい。
- 誘導灯回路の電源は切らないで下さい。
- 器具の異常音、異常振動あるいは異常過熱のある場合は、保全担当者に相談して下さい。

■日常のお手入れ

- 法的維持管理業務一覧表（別紙）を参照して、法で定められた定期的な点検及び検査を有資格者に実施させて下さい。そのための保守契約は保全担当者に相談して下さい。

■定期点検・定期検査

内容	項目	周期	点検項目
消防法に定める 定期点検	外観点検及び機能点検	6ヶ月	器具の点検（変形、汚損、損傷及び表示面の障害物の有無）
	総合点検	1年	
	定期点検報告	1年又は 3年毎	
機能確認のための点検	点灯確認	3ヶ月	モニターランプ、非常点灯

8. [防災設備] 避難設備（非常照明設備） 電池別置型

非常照明設備は、停電した場合に避難を円滑に行えるようにするため、自動的に非常点灯（停電後 30 分間）する照明設備です。灯具、安定器、ランプ、蓄電池等で構成されています。

★ご注意事項

- 非常照明器具は、停電時に確実に点灯する必要があるため、定期的に点検し確認して下さい。
- 非常照明用蓄電池設備の取扱いは、「蓄電池設備」を参考にして下さい。
- 器具の異常音、異常振動あるいは異常過熱に気づいた場合は、保全担当者に相談して下さい。

■日常のお手入れ

- 法的維持管理業務一覧表（別紙）を参照して、法で定められた定期的な点検及び検査を有資格者に実施させて下さい。そのための保守契約は保全担当者に相談して下さい。

■定期点検・定期検査

内容	項目	周期	点検項目
建築基準法に定める 建築設備定期検査	外観点検及び機能点検	1年	器具の点検（変形、汚損、損傷等の有無） 点灯
	照度測定	1年	
	建築設備定期検査報告	1年	

8.〔防災設備〕避難設備（非常照明設備）電池内蔵型

非常照明設備は、停電した場合に避難を円滑に行えるようにするため、自動的に非常点灯（停電後 30 分間）する照明設備です。灯具、安定器、ランプ、蓄電池等で構成されています。

★ご注意事項

- 非常照明器具は、停電時に確実に点灯する必要があるため、定期的に点検し確認して下さい。
- 非常照明回路の電源は切らないで下さい。
- 器具の異常音、異常振動あるいは異常過熱に気づいた場合は、保全担当者に相談して下さい。

■日常のお手入れ

- 法的維持管理業務一覧表（別紙）を参照して、法で定められた定期的な点検及び検査を有資格者に実施させて下さい。そのための保守契約は保全担当者に相談して下さい。

■定期点検・定期検査

内容	項目	周期	点検項目
建築基準法に定める 建築設備定期検査	外観点検及び機能点検	1年	器具の点検（変形、汚損、損傷等の有無）
	照度測定	1年	
	建築設備定期検査報告	1年	
機能確認の ための点検	点灯確認	3ヶ月	モニターランプ 非常点灯の切替及び点灯時間

8.〔防災設備〕消防用設備（自然排煙設備）

自然排煙設備は、火災時に避難を安全に行えるようにするため、発生する煙を排煙口（排煙窓）から排出する設備です。手動開放装置と排煙口（排煙窓）で構成されています。

★ご注意事項

- 手動開放装置や排煙口（排煙窓）の付近には、排煙活動の障害となる物を置かないで下さい。
- 間仕切りを変更する場合は、事前に保全担当者に相談して下さい。設計上のチェックが必要です。

■日常のお手入れ

- 法的維持管理業務一覧表（別紙）を参照して、法で定められた定期的な点検及び検査を有資格者に実施させて下さい。そのための保守契約は保全担当者に相談して下さい。
- 火災時は、手動開放装置のスイッチを押して排煙口（排煙窓）を開放しますので、日常はその作動確認を定期的に行って下さい。

■定期点検・定期検査

内容	項目	周期	点検項目
建築基準法に定める 建築設備定期検査	外観点検及び機能点検※ 建築設備定期検査報告	1年	排煙口（排煙窓）の損傷等の有無 手動開放装置の作動状態
消防法に定める 定期点検	外観点検及び機能点検	6ヶ月	
	総合点検	1年	
	定期点検報告	1年又は3年毎	

※消防法に定める定期点検を実施している場合は、消防法による点検記録で代用できる。

8. [防災設備] 消防用設備（機械排煙設備）一般室

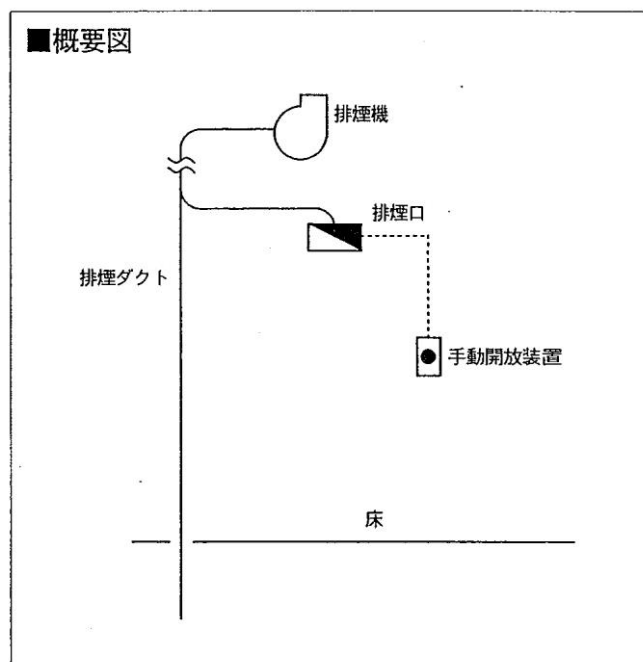
機械排煙設備（一般室）は、火災時に避難を安全に行えるようにするため、発生する煙を排煙機を作動させて排煙口から排出する設備です。手動開放装置と排煙機、排煙口、ダクトなどで構成されています。

★ご注意事項

- 手動開放装置や排煙口の付近には、排煙活動の障害となる物を置かないで下さい。
- 間仕切りを変更する場合は、事前に保全担当者に相談して下さい。設計上のチェックが必要です。

■日常のお手入れ

- 法的維持管理業務一覧表（別紙）を参照して、法で定められた定期的な点検及び検査を有資格者に実施して下さい。そのための保守契約は保全担当者に相談して下さい。
- 火災時は、手動開放装置のスイッチを押して排煙口を開放し、同時に排煙機を作動させます。日常はその作動確認を定期的に行って下さい。



■定期点検・定期検査

内容	項目	周期	点検項目
建築基準法に定める 建築設備定期検査	外観点検及び機能点検※ 建築設備定期検査報告	1年	排煙口の曲がり、損傷等の有無 手動開放装置の作動状態
	外観点検及び機能点検	6ヶ月	排煙機の運転状態、絶縁抵抗値測定
消防法に定める 定期点検	総合点検	1年	非常電源装置との連動
	定期点検報告	1年又は3年毎	感知器との連動

※消防法に定める定期点検を実施している場合は、消防法による点検記録で代用できる。

8. [防災設備] 消防用設備（機械排煙設備） 避難階段の附室及び非常用エレベータのロビー

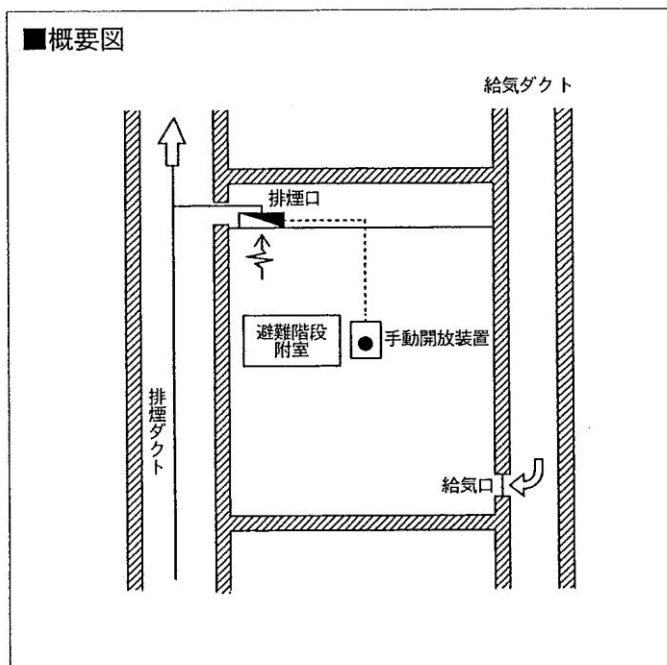
機械排煙設備（避難階段の附室及び非常用エレベータのロビー）は、火災時に避難を安全に行えるようにするため、発生する煙を排煙機を動作させて排煙口から排出する設備です。手動開放装置、排煙機、排煙口、ダクトなどで構成されています。

★ご注意事項

■手動開放装置や排煙口及び給気口の付近には、排煙活動の障害となる物を置かないで下さい。

■日常のお手入れ

- 法的維持管理業務一覧表（別紙）を参照して、法で定められた定期的な点検及び検査を有資格者に実施させて下さい。そのための保守契約は保全担当者に相談して下さい。
- 火災時は、手動開放装置のスイッチを押して排煙口を開放し、同時に排煙機を動作させます。日常はその動作確認を定期的に行って下さい。



■定期点検・定期検査

内容	項目	周期	点検項目
建築基準法に定める 建築設備定期検査	外観点検及び機能点検※ 建築設備定期検査報告	1年	排煙口の曲がり、損傷等の有無 手動開放装置の作動状態
	外観点検及び機能点検	6ヶ月	排煙機の運転状態、絶縁抵抗値測定
消防法に定める 定期点検	総合点検	1年	非常電源装置との連動
	定期点検報告	1年又は3年毎	感知器との連動

※消防法に定める定期点検を実施している場合は、消防法による点検記録で代用できる。

8.〔防災設備〕 避雷針設備

避雷針設備は、建物を雷撃から保護する設備です。突針、支持管、避雷導線、接地極等で構成されています。

■日常のお手入れ

■突針、支持管、避雷導線、支持金具の破損、腐食の有無、接地線の接続状態を定期的に点検する必要があります。

■定期点検・定期検査

内 容	項 目	周期	点 検 項 目
定 期 点 検	外観点検	1年	突針、支持管の取付状態（緩み、脱落、破損、損傷、腐食の有無等）
	接地抵抗測定	1年	

9.〔昇降機設備〕エレベーター

エレベーターは使用目的により、一般乗用、人荷用、荷物用、非常用（火災時に消防隊使用）、自動車用、寝台用があります。

★ご注意事項

- エレベーターの取扱については、運行管理者を定め、管理して下さい。
- 定員、定格積載荷重を厳守して下さい。
- 火災時、地震時の避難には、エレベーターを使用しないで下さい。
- エレベーター機械室は施錠し、関係者以外の出入りを禁止して下さい。
- 火災や地震又は故障で乗客が閉じ込められた場合は、直ちに専門会社又は保全担当者に連絡をして下さい。

■日常のお手入れ

- 法的維持管理業務一覧表（別紙）を参照して、法で定められた定期的な点検及び検査を有資格者に実施させて下さい。そのための保守契約は保全担当者に相談して下さい。
- 各階の乗り場の敷居溝、及びかご敷居を清掃して下さい。

■定期点検・定期検査

内 容	項 目	周 期	点 検 項 目
建築基準法に定める 定 期 検 査	機械室関係機器の点検	1年	制御盤・巻上機等
	出入口関係機器の点検	1年	各階インジケータ等
	乗かご関係機器の点検	1年	非常止め装置、ドア開閉機構等
	昇降路関係機器の点検	1年	レール・ロープ・緩衝装置等
定 期 点 検	定期巡回整備、清掃	1ヶ月	三方枠、カゴ内装等

9.〔昇降機設備〕 エスカレーター

標準型と車椅子対応型があります。

★ご注意事項

- エスカレーターの取扱については、運行管理者を定め、管理して下さい。
- 運転中、異常音の有無を確かめて下さい。異常に気付いた場合、運転を中止し、専門会社又は保全担当者に連絡して下さい。
- 事故が発生した場合は、上下階の乗降口に設けてある非常停止ボタンを直ちに押して下さい。電磁ブレーキが作動し緊急停止します。直ちに専門会社又は保全担当者に連絡して下さい。

■日常のお手入れ

- 法的維持管理業務一覧表（別紙）を参照して、法で定められた定期的な点検及び検査を有資格者に実施させて下さい。そのための保守契約は保全担当者に相談して下さい。
- 乗降口は掃除機を用い、移動手すりは乾拭きにより掃除をします。必ず運転を停止してから行って下さい。

■定期点検・定期検査

内 容	項 目	周 期	点 検 項 目
建築基準法に定める 定 期 検 査	機械室関係機器の点検	1 年	制御盤・電動機、安全装置等
	上下乗場及び踏段関係の 点 検	1 年	チェーン、ハンドレール、安全装置等
定 期 点 検	定期巡回整備、清掃	1 ヶ月	上下機械室、トラス内

カビ対策について

雨の多い季節は、湿気の増加などにより家の中はカビの宝庫です。これからは“梅雨の季節”であるとともに、“カビの季節”でもあるということです。あなたの住まいは大丈夫ですか？？雨季でも快適に過ごせるようにカビ対策を怠らないようにしましょう！

■水を使うところ

栄養源になるものを取り除き、水分を断ち切ることが大切です。

カビの発生しやすい浴室では、まずお湯で壁に付いた石けんカスを洗い流して、そのあとに冷水をかけて温度を下げることで、発生を防ぐことができます。

さらにタオルで水分をふき取ってから換気扇を回せば万全です！

■水を使わないところ

水がないからカビが生えないと思いがちですが、空気が必要な水分を運んでくるのです。部屋全体は、エアコンの除湿機能を使って湿気を取り除いてしまいましょう。

押し入れは、スノコを縦横に敷いて風の通り道を作って、湿気を追い払います。雨の日は、外の湿気が部屋の中に入り込んでしまいますので、窓を開けて換気するのは逆効果になります！

■意外と知らない予防法

換 気

換気のためには窓を開けて、空気の流れをよくすることが大切ですが、空気の入口になる窓は全開にしないで少しだけ開けるほうが、空気の流れが速くなって効率よく換気できます。

水 槽 や 観葉植物

熱帯魚、金魚などの水槽や観葉植物を置くと室内の湿度が上がってしまいます。できればリビングなどの居室ではなく、風通しの良い玄関などに置く方がよいでしょう。

エアコン の 掃 除

湿気対策と思ってエアコンや除湿器を使うのはいいのですが、これもフィルターの掃除をきちんとしておかないと、中で増殖したカビの胞子を部屋にまき散らすことになってしまいます。

こんなことになったら大変！フィルターは一ヶ月に一回以上は掃除をしましょう。

エアコンを運転する前には窓を開け送風運転をして胞子を飛ばすこと、スイッチを切る前も送風運転してエアコン内をよく乾燥させるのも忘れずに！

洗濯物

洗濯物を室内に干すと、一説には室内の湿度がなんと 10%以上増えるとも言われています！

梅雨ときには、換気扇をまわしながら浴室に干すのがよいでしょう。

■カビが生えたらどのようにして取り除けばいいの？

風呂場など水をかけて洗える場所は、カビ取り剤を使用します。多くの成分は、「次亜塩素酸ナトリウム」で殺菌・漂白作用があります。一般に漂白剤として使われているものです。皮膚についたり、吸込んだりしないように注意して下さい。作業の時は、必ず換気扇を回し、窓を開け、肌を露出しない服装で行いましょう！

水で洗い流せないところは、布に消毒用アルコールを染み込ませて拭き取ります。この場合もアルコールは引火性がありますので、換気等に注意してください！

ステンレスサッシについて

ステンレスは鉄やアルミニウムに比べてはるかに耐食性に優れていますが、絶対に錆びない金属ではありません。塩分や鉄分の付着、硫黄酸化物（自動車・工場等の燃焼排ガス、温泉蒸気、火山灰等）の影響により「錆び」が発生することが十分考えられます。

またステンレスサッシの出入口や窓には、その機能を十分に発揮させるための付属品が取り付けられています。これらはその機能が長期にわたって果たせるよう、耐久性のある構造になっていますが、想定外の力が加わると製品の破損や故障を引き起こすこととなります。このような問題を起こさないためにこの冊子を良くお読みになり、ステンレスサッシをいつまでも美しく保ち、末長くその機能を発揮させるためにお役立てください。

ステンレスのお手入れ

- ステンレス表面は1週間に1回を目安に清掃し、付着した汚れを拭き取ってください。清掃方法は、通常は水拭き後カラ拭き、手垢等は中性洗剤か市販のステンレス専用清掃剤を用いて拭き取ってください。
- 以下の地域では錆が発生しやすくなりますので、よりこまめな清掃が必要です。
 - i 海岸付近で塩分の飛来が多いところ
 - ii 鉄道路線や鉄工所の近辺で鉄粉の飛来が多いところ
 - iii 火山灰の降ることがあるところ
- 台風時にはかなり内陸部まで海塩粒子が飛来することがありますので、台風後はできるだけ早い時期に清掃するよう心がけてください。
- タイルや石材の清掃用薬剤はステンレス表面を痛めますので、付着しないよう十分な注意が必要です。万一付着した場合はすみやかに水洗除去してください。

ステンレスサッシの取り扱いについて

- 可動部分については衝撃を与えたり限界以上の無理な力を加えないようにしてください。
- フロアヒンジの内部に水がたまりますと錆の発生の原因になります。流水による床の清掃は避けてください。万一、水を流される場合は、フロアヒンジに水が掛からないようご注意ください。
- 強風時にはドアが煽られて壁などにぶつかり破損するおそれがあります。できるだけ施錠されることをお勧めします。
- 万一、オイル漏れ等の不具合が見つかった場合は分解等をせず、弊社にお知らせください。

フロアヒンジ



ドアクローザー



メーカー保証期間について

各設備機器にはメーカーが定めた保証期間があります。設備の種類や、部位、また各メーカーにより保証期間は様々です。定められた期間内であり、かつ使用上の誤りや不当な修理や改造、落下、災害等の原因でなければ無償での修理となります。問い合わせにつきましては、各メーカーごとに相談窓口が設けられていますので、ご連絡をお願い致します。必ずメーカー保証書は大切に保管をお願いします。紛失した場合、保証を受けられない可能性もあります。

① 空調・換気設備（参考）

分類	内容	ダイキン	東芝	パナソニック
ルームエアコン	本体	1年	1年	1年
	冷媒系統	5年	5年	5年
空気清浄機	クリエール	1年	1年	1年
	本体	1年	1年	1年
	冷媒系統	3年	3年	1年
エコキュート	本体	1年	2年	1年
	ヒートポンプ冷媒系統	3年	3年	3年
	タンク缶体	5年	5年	5年
赤外線ヒーター	本体	1年	1年	1年
	発熱体部分	3年	3年	1年
業務用エアコン		1年	3年	1年
ビル用マルチエアコン		1年	1年	1年
スポットエアコン		1年	1年	1年
業務用空気清浄機		1年	1年	1年
業務用換気設備		1年	1年	1年

② 衛生設備（参考）

分類	内容	TOTO	LIXIL
トイレ	便座部	1年	2年
	便器部	2年	2年
	便器部防水機能	5年	2年
	ウォシュレット本体	1年	2年
ユニットバス	電気製品	1年	1年
	製品本体、水栓金具	2年	2年
	防水機能、浴槽貯水性能	5年	5年
システムキッチン	機器類	1年	1年
	水栓金具	2年	2年
	製品本体	5年	2年
洗面化粧台	電気製品	1年	2年
	製品本体、水栓金具	2年	2年

③ 照明設備（参考）

内容	東芝	パナソニック	大光電気
一般照明本体	1年	1年	3年
LEDシーリング	5年	3年	3年
LEDペンダント	5年	3年	3年
LED電球	5年	5年	-
電源装置・安定器	3年	3年	3年

瑕疵検査記録書	文書番号	TY-18-G1
	主管部署	設計室

検査日	年 月 日	立 会 者		
		建 築 主	東条設計	施 工 者
完了予定	年 月 日	⑩		
確認日	年 月 日			

設計番号		工事名		
No.	室名又は カ 所	検 査 事 項 及 び 要 望 事 項	チェック	
			1	2
1			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

*チェックについては東条設計にて行います。

検 査 最 終 確 認		
社 長	技術管理室	担 当
/	/	/

*検査最終確認押印後は、ISO室へ提出する。

空調機切替動作確認報告書	文書番号	TY-18-G2
	主管部署	設計室

施主名

年 月 日

○ ○ ○建設会社

印

○ ○ ○設備会社

印

○ ○ ○工事における、（ 夏季 ・ 冬季 ） 空調切替動作確認を行いましたのでご報告致します。

（資料別添）